



令和3年度(2021年)  
公益社団法人東京都看護協会

# Annual Report

年次報告

令和3年度(2021年)  
年次報告



公益社団法人  
東京都看護協会  
TOKYO NURSING ASSOCIATION

〒160-0023 東京都新宿区西新宿四丁目2番19号  
電話番号(代表): 03-6300-0730  
<https://www.tna.or.jp/>



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

公益社団法人東京都看護協会

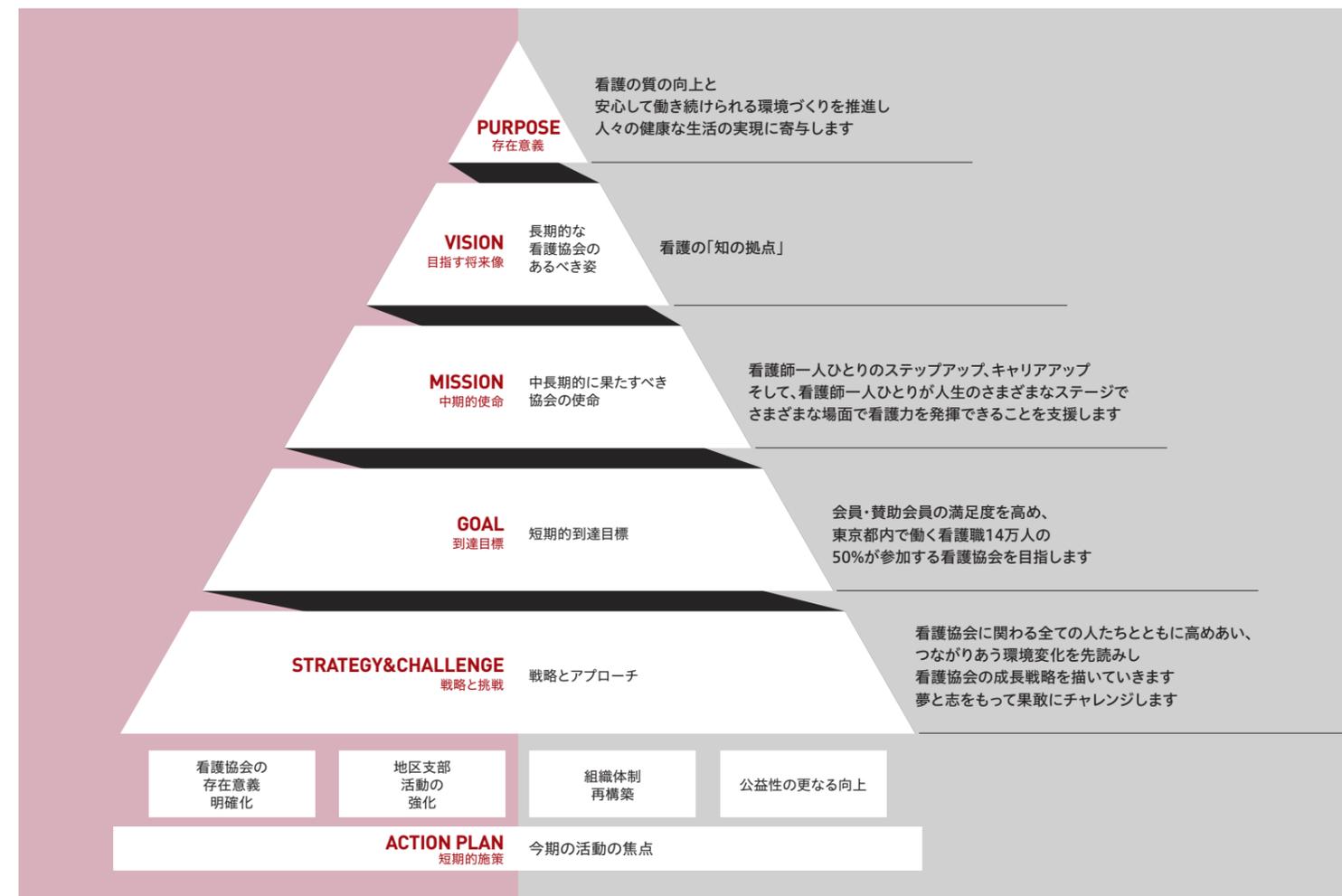
## CONTENTS

公益社団法人東京都看護協会の基本理念	3	令和3年度事業報告 教育部	26
		[ROUND TABLE 03] 教育部 対談	28
令和3年度 [2021] 活動指針	4		
トップメッセージ	6		
		令和3年度事業報告 事業部	32
Topics 2021		[ROUND TABLE 04] 事業部・訪問看護ステーション 座談会	34
[ROUND TABLE 01] 東京ワクチンチーム 座談会	8		
		令和3年度事業報告 東京都ナースプラザ	38
		[ROUND TABLE 05] 東京都ナースプラザ 座談会	40
新型コロナウイルス感染症対策支援事業	12	東京都受託事業報告	44
決算報告ハイライト	16	委員会活動報告	46
寄附金受取実績	18	地区支部活動報告	50
令和3年度事業報告 危機管理室	20		
[ROUND TABLE 02] 危機管理室 座談会	23		
			
会員の状況	52	東京都及び関係団体の役員・委員等の就任状況	66
東京都予算に対する要望活動	54	会議等出席一覧	68
理事会報告	56	委員会名簿	74
役員紹介	58	東京都看護協会代議員及び予備代議員	76
退任あいさつ	62	東京都看護協会の公益目的事業	78
功績顕彰	63	組織図	80
名誉会員/令和3年度 東京都看護協会長賞受賞者/各賞受賞者		事務局組織図	81
協会へのご支援 令和3年度 寄附者・賛助会員御芳名	64	協会概要/アクセス	82
外部団体共催及び後援学会等	65		

## 公益社団法人東京都看護協会の基本理念

私たちは  
看護の専門家として主体的に行動します  
社会の仕組みづくりの変革者として活動します  
人々の健康とQOLの向上に貢献します

【概念図】 看護の「知の拠点」として貢献するために



### 公益社団法人東京都看護協会のシンボルマーク

「命と向き合うあなたを支えたい。」という看護職の思いを二つの人をモチーフとした形を組み合わせることによって表現しています。サポートする、ネットワークを創るというイメージを体現するとともに、看護の頭文字Kにも見えるようデザインしています。

# PURPOSE(存在意義) 実現に向けて

これから東京都看護協会が社会の中で果たすべき役割は何か、何を目指していくのかをPURPOSE(パーパス)=存在意義として決めました。このPURPOSEを事業展開の根幹に置いて、社会課題と向き合いながら持続的な成長を遂げるために、戦略的に取り組んでいます。

## 「底力と対応力」を身につける 研修の提供

- 顧客にひたすら集中する
- “失敗は間違いとは違う”根拠なく恐れず、新しいサービスのひらめきを行動に移す
- 誰かの行動を待つのではなく、スピード感を持って取り組む
- 好奇心を持ち、失敗や経験から学ぶ

## 看護職の安心・安全を支える

- 看護協会は、新型コロナ対策や災害支援などの緊急時には看護職の安心と安全の礎となっている
- 支援内容・支援のスピード・支援体制を整備し、「看護の知の拠点」として信頼される存在となることを目指す
- 「看護の知の拠点」である看護協会の会館の整備・整頓を通して、看護職が利用しやすくなる看護協会を目指す

## 地域住民と医療・看護・介護職に 「学び」「育み」「つむぐ」を届ける

- 看護職と多職種間の連携強化を意識した研修やイベントを企画・実施する
- 地域住民と看護職をつなぎ、健康な生活や幸せを育み命をつなげていく

## 「人間力」が高い チームを目指す

- コミュニケーション力
- リーダーシップ
- 状況判断と適応力

「前へ」  
困難や難題に直面しても、かわすことなくためらわず「前へ」進め

## 利用者と地域の看護職等の望みを 叶えるステーション

【訪問看護事業】  
地域の特徴に合わせた質の高い看護・リハビリの提供  
【居宅介護支援事業】  
使いやすく信頼され、地域に選ばれる

## 看護職充足への寄与と係間の連携

- 看護職の質・量確保に欠くことのできない事業所として認知されることを目指す
- 看護職と求人施設のトータルサポートを継続して実施する
- 令和3年度は、看護職確保の成果を示すこと、コロナ禍においても事業を推進すること、係内・係間の連携を促進することの3点に重点を置いて事業運営を行う



## Top Message

# Tokyo Nursing Association

平素より東京都看護協会の事業運営に格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対応に尽力されている看護職の皆さまに心より敬意を表し、御礼申し上げます。また、看護職をご支援くださる皆さま方に衷心より感謝いたします。

今日、世界を取り巻く情勢は大きく変化しており、特に新型コロナウイルス感染症の感染拡大が経済活動の低迷や社会構造変革に大きな影響を与えました。医療機関が直面した課題の解消に向けて医療提供体制の再構築が必要であり、「感染症との共存」を見据えた中長期的な目線での体制整備が急務となっております。

こうした中、看護職は質の高い医療サービスの提供者として、今後ますます幅広い役割を担っていくことが期待されています。当協会は、専門職としての資質向上や人材確保、キャリア形成を支援するさまざまな事業を積極的に進めてまいります。

コロナ禍が収束し都民の健康と安寧な生活が戻り、会員の皆さまとともに活動を推進できるよう尽力してまいります。

今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年6月

公益社団法人 東京都看護協会

会長 **山元 忠子**



※会長の山元は令和4年6月任期満了退任



尾崎 治夫  
会長

山元 恵子  
会長

井上 恵司  
会長

貞松 直喜  
常務理事

ROUND  
TABLE  
01

## 東京ワクチンチーム 座談会

# 東京の医療の力が結集して難局を切り拓く ワクチン接種は大きな第一歩

公益社団法人  
東京都医師会  
尾崎 治夫 会長

公益社団法人  
東京都歯科医師会  
井上 恵司 会長

公益社団法人  
東京都薬剤師会  
貞松 直喜 常務理事

公益社団法人  
東京都看護協会  
山元 恵子 会長

2021年6月、新型コロナウイルス感染防止対策の出口戦略として、東京都医師会、東京都歯科医師会、東京都薬剤師会、東京都看護協会の四師会で構成される「東京ワクチンチーム (TVT)」を設置。主に、中小企業で働く方々を対象にした職域接種を四師会協働で実施しました。東京商工会議所で実施された「中小企業を対象にした新型コロナウイルスワクチン共同接種」では、7～9月の期間内に約1.8万人（合計約3.6万回）のワクチン接種を大きな事故なくやり遂げました。その「東京ワクチンチーム」の活動について振り返ります。



これからの時代、専門職が一人ががんばるのではなく、  
協力し合うことが重要  
今回の取り組みをきっかけに、さらに協力し合う体制を作りたい

——公益社団法人東京都医師会 尾崎 治夫 会長

### 中小企業で働く方々へ 一刻も早くワクチンを届けるために設立された 東京ワクチンチーム

**山元：**皆さま、本日はお忙しい中、ありがとうございます。尾崎会長、改めて今回の東京ワクチンチーム設立の経緯についてお話しいただけますか。

**尾崎：**きっかけは2021年、東京商工会議所の三村会頭から、都内の多くの中小企業でワクチン接種が遅れているという相談をいただいたことです。2021年4月から歯科医師の先生もワクチン接種が可能になりましたし、取り扱いが難しいワクチンの管理も薬剤師の方々がいてくだされば安心です。さらに、看護師の皆さんにも力をお借りして、チームで取り組んではどうかと考えました。

**山元：**歯科医師の方にとっては、初めてのご経験だったのではないのでしょうか。

**井上：**そうですね。通常、歯科の治療ではワクチンのように筋肉注射を打つことはありません。そのため、今回のワクチン接種にあたっては、歯科医師会会員のうち約600名がこちら（東京都看護協会）で講義や実技研修を受けました。特例的ではありましたが、いい経験となりありがたかったです。

**山元：**研修の担当者からは、皆さんが積極的に参加してくださって取り組みやすかったと聞いています。東京都薬剤師会ではいかがでしたか。

**貞松：**薬剤師には医療法上ワクチン接種はできないまでも、薬剤師として何かできることはないかと模索していたときに尾崎会長にお声がけいただいたので、すぐに永田（東京都薬剤師会会長）が「ぜひ参加したい」とお返事しました。私たちは薬の専門家として、接種する方にも患者さんにも不安を与えずにワクチン接種をできるようにすることを最大の目標に掲げて取り組みました。国から届いた扱いづらいシリンジを替えてもらうための交渉や、ワクチンを保管する冷蔵、冷凍庫の問題など課題はいろいろありましたが、なんとか無事に乗り越えられたのではないかと考えています。

**山元：**ありがとうございます。本当にいろいろなことがありましたね。

私たち看護師は臨床で診療の補助業務として注射を実施する機会は比較的多くあります。日本ではワクチン接種という皮下注射が一般的ですが、今回の新型コロナウイルスのワクチン接種は筋肉注射の手技が適用され、注射を打つ部位は上腕の三角筋の中央位置、刺入部の皮膚はつまみ上げないなど、新しい学びがありました。歯科医師の方とも看護師がペアを組み、問診担当と打ち手になり、お互い協力し合ってスムーズに実施していました。

また、薬剤師の方がワクチンをしっかり管理してくださることで接種に専念することができ、看護職として接種前のアレルギーの確認や接種後の観察、安全配慮等の役割を十分に発揮することができました。

### ウイズコロナ、アフターコロナの 医療のあり方を考える

**山元：**東京ワクチンチームが接種した人数は、第1・2回目が18,797人、3回目が6,500人、合計で約25,000人に上ります。このように不特定多数を対象とした接種会場であっても大きなトラブルもなく進められたのは、東京都医師会や東京商工会議所の方々が丁寧に準備を進めてくださったことも大きいと思っています。

ワクチン接種に限らず、今後、四師会で取り組めそうなことがあればぜひご提案ください。

**尾崎：**特にいま、問題だと感じていることは、コロナ禍をきっかけにデイサービスなど高齢者が集まる場所や機会が激減したことで、自宅に閉じこもりフレイル（心と体の働きが弱くなってきた状態）になる人が増えていることです。健康な歯でなければ嚥下能力が落ち、認知症にもつながりますし、自分で薬を正しく飲めなくなっている患者さんには薬剤師さんの助けが必要で、もちろん、訪問看護など看護師の方々の働きも重要です。

これからの時代はそれぞれの専門職が単独でがんばるのではなく、協力し合わなければ一人ひとりの状態に合わせた適切な支援を継続的に行うことはできないと感じます。

**山元：**本当にそうですね。今回、宿泊療養施設を設置した



一人ひとりの患者さんに寄り添い支えるためには  
多職種との連携がとて重要になる

——— 公益社団法人東京都歯科医師会 井上 恵司 会長

際に、口腔ケアがしっかりできる人がいないという声が上がりました。超高齢社会に向かっているいまの時代、改めて口腔ケアの大切さについて考えさせられました。

**井上**：各地区の歯科医師会では訪問診療も行っているので、すでに機材は揃っています。ぜひ必要な場所に出向いて行って、オーラルフレイル予防などに取り組みたいですね。

**貞松**：私たちはコロナ以降、非対面でのやりとりがノーマルになってきた中で、患者さんとの接し方や、医師や看護師の方々との情報交換について考えています。

これまでは治療への服薬指導等がメインでしたが、これからは包括ケア、治癒後の健康サポートが大切なのではないでしょうか。特に新型コロナウイルスは、副作用などまだまだ何が起こるかわかりません。今後も連携を取りながら、さまざまな形で患者さんのケアに取り組めたらいいですね。

**山元**：コロナ禍では、家族と面会できないまま亡くなっていく患者さんもたくさんいらっしゃいました。私はある患者家族に言われた「もう1年半も会っていません。私は母が亡くならないと会えないのですか」という言葉が胸に刺さりました。

そのため、オンライン面会支援事業を実施しました。タブレット端末を活用した面会をどこの病院でもできるように、希望する施設に端末を無償配布しました。ハード面だけで

なく、面会のルールづくりや人員確保、他部門との連携等のシステム化や運用面についても提案しました。特に、都内の200床未満の小規模病院では、院内のインフラや通信環境が整っていない、人手が確保できないという課題が挙がっています。対面での面会が制限される中でも心が通い合える面会を実現させるために、アフターコロナに向けては、ご家族にも配慮した対策が必要だと感じています。

**尾崎**：いまは抗原検査の精度も上がっていますから、面会をはじめあらゆる場面でもっと活用するよう広めていきたいですね。

日本で新型コロナウイルス感染症に罹患して亡くなった方は約3万人。決して少ない数字ではありませんが、人口で換算すると欧米では20～30万人、日本の約10倍も亡くなっている。そう考えると、改めて日本は高齢者の方を守るためにがんばったと思います。

**山元**：本当に、医療従事者一人ひとりががんばってききました。東京都看護協会では、クラスター発生により働く看護師がいなくなってしまった都内の病院へ職員が緊急支援に行きました。また、日本看護協会から要請を受け、北海道、大阪府、宮城県、沖縄県に職員を派遣し、北海道知事から感謝状をいただくなど、コロナ支援では幅広い活動を実施しました。

また、米国のように全国民をカバーする公的保険制度がない国では治療を受けることすらできずに亡くなっている方がたくさんいらっしゃることを考えると、改めて日本の社会保険制度を守っていかなければならないとも思いました。今後日本がどのように進んでいくべきかを考えるきっかけにもなりました。

薬剤師会では、今回のような緊急事態



四師会の連携を通じて、国民の皆さんの健康を守るため  
情報共有をしながら活動していきたい

——— 公益社団法人東京都薬剤師会 貞松 直喜 常務理事



の活動計画など、どのように計画されていますか。

**貞松**：国のしっかりとの方針のもとに治療薬が開発され、その薬が正しく、適切に、そしてタイムリーに患者さんの手元に届けられるようになることが理想だと思います。

今回もさまざまな薬が開発されたものの、なかなか必要な人に届けることはできなかった。かかりつけのお医者さんや薬局で、普段のお薬と同じような流れで適切に届けられるようになるといいですね。

もう一つ、いつ都市直下型地震が起こるかわからないと言われていた昨今、四師会でチームを組んで災害対策などを行うことも必要ではないでしょうか。

**尾崎**：震災以外に地球温暖化による豪雨などの自然災害も増えています。JMAT（日本医師会災害医療チーム）など既存のチームと一緒に、みんなで活動できるようにしていきたいですね。

**山元**：東京都看護協会では災害時の避難所支援などで活動する「災害支援ナース」を養成しています。日本看護協会の災害時支援ネットワークシステムに基づき、広域支援対応の要請があれば全国の都道府県看護協会が災害支援ナースを派遣する制度もあります。こうした活動に参加していただける看護職をさらに増やしていくことが使命と考えています。

超高齢社会を支えるためにも、  
四師会の連携は必要不可欠

**山元**：最後に、これからの活動の抱負についてひと言ずついただけますか。

**井上**：高齢化など時代の変化によって、治療のあり方も「治す」ことから「支える」ことへと変化しています。先ほどのお話にあった訪問診療なども含めて、一人ひとりの患者さんに寄り添い支えるためには多職種との連携がとて重要になります。

今回のことをきっかけに、関係を深め、これからどのようなことができるか一緒に考えていけたらと思います。

**貞松**：行政によって医政と業務が大きく分けられているため、これまで薬剤師には情報がなかなか下りてこないということが多くありました。今後は四師会の連携を通じて、国民の皆さんの健康を守るために、情報共有をしながら活動をしていきたいと思っています。

**尾崎**：往々にして物事は、一人ががんばって排他的に行うよりも、チームを組んで協力し合う方がうまくいくものです。高齢化が進み、医療や介護を必要とする人がどんどん増える中で、こうして協力し合うことはとても重要です。

今回の東京ワクチンチームをきっかけに、医療関係者が協力し合う体制を作ることができたらいいですね。

**山元**：2017年には四師会の連携によって受動喫煙防止対策を進めることができましたし、コロナ対策においても四師会による動きは大きな効果があったと言えるでしょう。これからも各職能団体の長を活かして協働し、東京都民の健康増進や安全対策に貢献できるよう、四師会が結束して継続的に活動していきましょう。

本日はいろいろなお話を聞かせていただき、ありがとうございました。

コロナ対策においても四師会の協働は大きな効果があった  
今後も四師会が結束し継続的に活動していきたい

——— 公益社団法人東京都看護協会 山元 恵子 会長



## 令和3年度支援概要

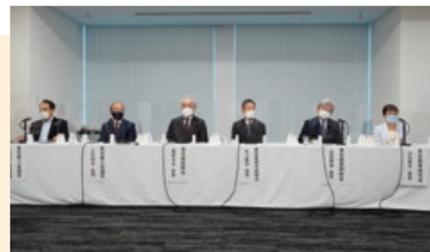
令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染者数が高止まりの傾向が続き、医療提供体制はひっ迫した状況が続きました。当協会では看護従事者への支援のみならず、関係機関などと連携しながら積極的に支援活動を実施しました。

これらの取り組みにより、東京都内におけるワクチン接種の円滑な推進や新規感染者数拡大地域への広域支援など、感染拡大防止に寄与することができました。



### 主なプロジェクト紹介

- **新型コロナウイルスワクチン接種**
  - ・ 東京ワクチンチーム (TVT) 参画
  - ・ 東京商工会議所ワクチン共同接種に看護師派遣
  - ・ 東京ドーム3区合同ワクチン接種への協力
  - ・ 潜在看護師の就業支援
  - ・ 新型コロナワクチン接種業務に携わる潜在看護師へワクチン接種実施
  - ・ 新型コロナワクチン接種のための手技セミナー「安全なワクチン接種実技講習」
  - ・ 潜在看護師向け新型コロナワクチン集団接種のための筋肉注射手技セミナー
  - ・ ワクチン接種を担う歯科医師向けの実技研修
- **新型コロナウイルス感染症対応看護職等を支援するためのPCR無償検査事業**
  - ・ 看護学生及び教員へのPCR無償検査キット提供
- **新型コロナウイルス流行下における東京都内看護職のメンタルヘルス実態調査**
- **東京都内における新型コロナウイルス感染症対応に関する保健活動の実態調査**
- **新型コロナウイルス感染症に関連した施設支援**
- **感染対策マネージャー養成研修**
- **オンライン面会支援事業**
- **妊産婦への支援**
- **研修開催時における抗原検査キットの無償配布及び検査実施**

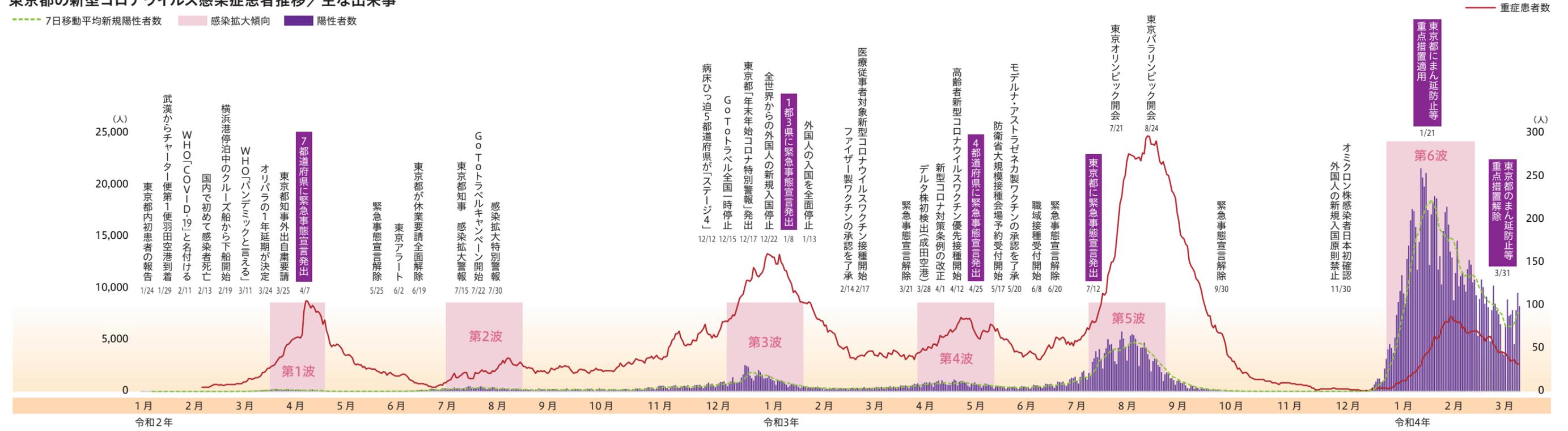


### 主な実績紹介

- **東京ワクチンチーム**  
東京商工会議所ワクチン共同接種  
ワクチン接種実績  
7～9月 実績 約1.8万人 (合計約3.6万回)  
令和4年2～4月 実績 約6,500人 (約6,500回)  
看護師派遣  
7～9月 実績 580名派遣
- **新型コロナウイルス感染症対応看護職等を支援するためのPCR無償検査事業**  
キット配布数 合計 11,442キット  
内訳) 看護師養成学校 10,892キット 学校数 37校  
潜在看護師等への配布 550キット
- **新型コロナワクチン接種業務に携わる潜在看護師へのワクチン接種**  
協力病院による巡回診療としてのワクチン接種会場開設  
ワクチン接種回数 1クール目 480回 2クール目 404回 合計884回
- **潜在看護師向け安全なワクチン接種 実技講習**  
4～5月 45回開催 合計1,022名受講
- **ワクチン接種を担う歯科医師向けの実技研修**  
6～7月 8回開催 合計815名受講
- **新型コロナウイルス感染症見舞金支給者数 115名**



東京都の新型コロナウイルス感染症患者推移／主な出来事



公益社団法人東京都看護協会 新型コロナウイルス感染症対策支援事業 令和2年度(2020年)～令和3年度(2021年)

**医療用物資 無償提供** (提供物資: N95マスク、グローブ、ガウン、防護服、フェイスシールド、パルスオキシメーター、非接触型体温計、オンライン面会用タブレット、経口補水液等)

5月	6月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	7月	2月	3月
147件	61件	65件	19件	226件	1件	90件	309件	383件	178件	185件	12件	1件	54件

**看護職員 応援派遣調整**

- 都内: 東京都内クラスター発生病院への感染管理支援
- 都内: 東京都内中小規模病院感染症対策支援
- 都内: 東京都内宿泊施設支援・臨時医療施設支援
- 北海道: 広域応援派遣 [北海道・大阪]
- 大阪: 広域応援派遣 [仙台・大阪]
- 沖縄: 広域応援派遣 [沖縄]

**教育・研修 情報提供 自治体支援**

- 4/21～9/29 最新情報オンライン配信 (全23回 48タイトル)
- 10月～12月 感染対策マネージャー養成研修
- 1月～3月 感染対策アドバイザー養成研修
- 9月～11月 感染対策マネージャー養成研修
- 都内医療機関ヒアリング
- 11月～3月 障害者支援施設向け研修
- 飛沫体験 VR シミュレーションソフト開発
- 妊娠・分娩・産後ケアに係る看護職・看護管理者の情報交換会
- 都内医療機関アンケート実施
- 12月 トレーサー一班研修
- 妊産婦・親子向け感染対策動画
- 4月～6月 トレーサー一班研修
- 助産師向け PPE 着脱法研修会
- 東京都内事業所 (屋形船、飲食店業界団体、エステ、専門学校、ブライダル施設) 等 感染拡大防止 アドバイザー派遣
- 新宿区保健所支援
- 9月～ペット同伴者等の療養施設支援

**ワクチンチーム**

- 潜在看護師ワクチン接種: 5/30, 6/6, 6/20, 6/27
- 2月 東京都ワクチンチーム
- 7月～9月 東京ワクチンチーム (TVT) 東京商工会議所ワクチン共同接種 2月～4月
- 2月 ワクチンセミナー
- 4月～7月 潜在看護師向けワクチン接種実技セミナー
- 3月 ワクチン接種実技セミナー
- 6月 歯科医師向けワクチン接種実技セミナー

**看護職支援**

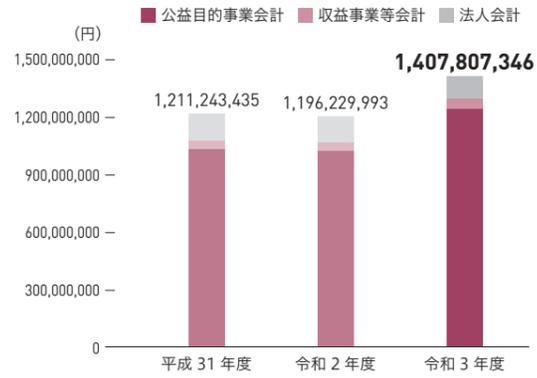
- 新型コロナウイルス感染症対策相談・メンタルヘルスサポート
- 看護職感染見舞金制度開始
- メンタルヘルス支援調査研究
- 保健所調査研究報告書
- 看護職・看護学生・看護教員 PCR 無償検査事業
- 研修時無償抗原検査実施
- オンライン面会支援事業

**看護人材確保**

- 3月/5万人 (全国) 復職依頼メール
- 7月 支援者への一斉メール
- 10月/1万人 支援協力依頼メール
- 5/21～12/4 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種人材確保業務 就業準備金給付申請書発行
- 東京都ナースプラザ 東京都ナースバンク eナースセンター 看護人材確保/就業状況確認
- 東京都ナースプラザ 東京都ナースバンク eナースセンター 新型コロナウイルス感染症特化求人

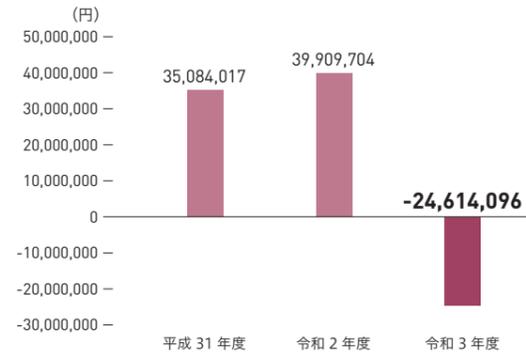
経常収益の推移

1,407,807,346円



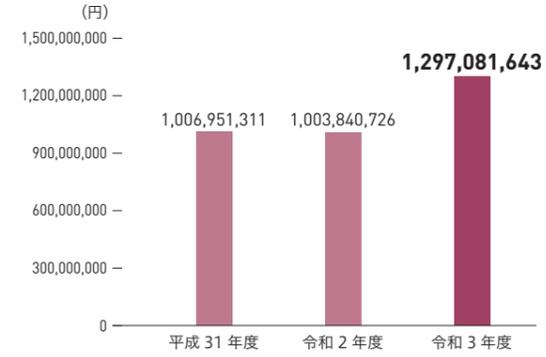
経常増減額の推移

-24,614,096円



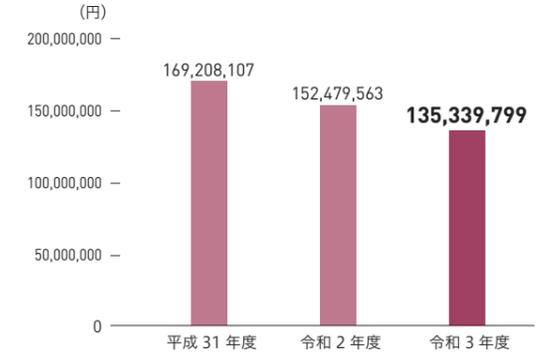
事業費の推移

1,297,081,643円



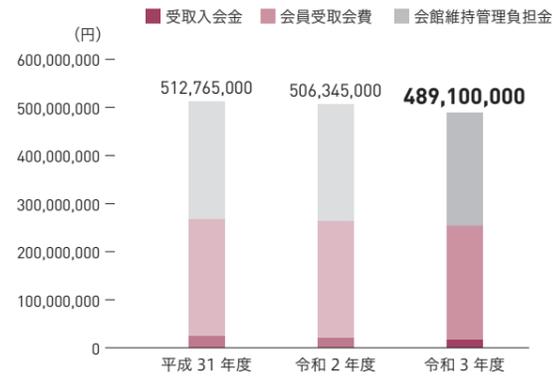
管理費の推移

135,339,799円



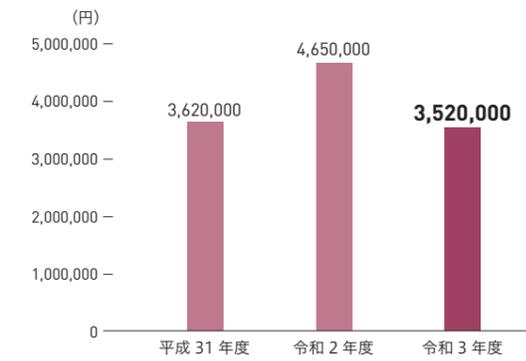
受取会費等の推移

489,100,000円



賛助会員受取会費の推移

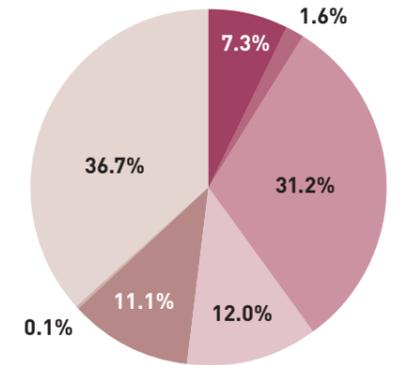
3,520,000円



公益目的事業会計の事業費の内訳(定款事業別)

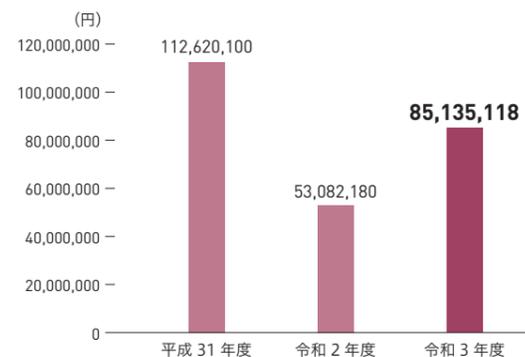
1,247,080,872円

- 看護職の資質の向上に関する事業 90,930,096円
- 看護業務の開発・改善及び情報の提供に関する事業 19,973,816円
- 看護職の人材確保と定着推進に関する事業 389,245,048円
- 在宅ケアの推進と支援に関する事業 150,151,447円
- 地域住民の保健福祉に関する事業 138,159,487円
- その他この法人の目的を達成するために必要な事業 793,836円
- 公益共通 457,827,142円



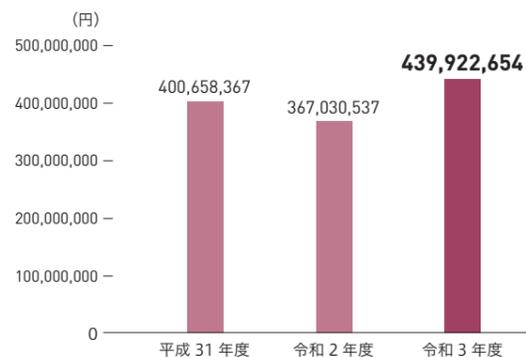
研修等事業収益の推移

85,135,118円



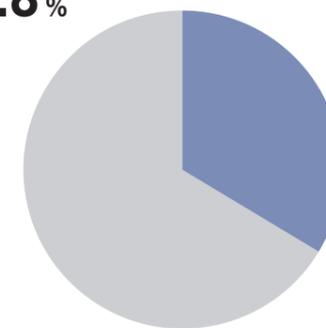
受託収益の推移(東京都等受託事業)

439,922,654円



入会率

33.8%



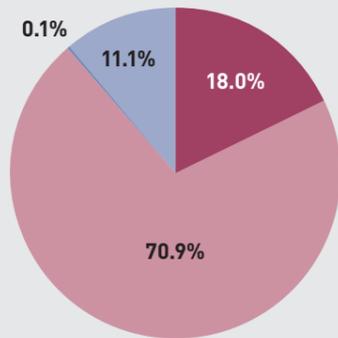
東京都の看護職就業者数\* 140,898名

職業	人数
東京都看護協会会員数	47,596名
保健師	454名
助産師	2,246名
看護師	44,395名
准看護師	501名

\*就業者数は令和2年12月31日現在の「東京都における看護師等業務従事者届集計報告」による。

寄附を財源とした事業

公益社団法人東京都看護協会受取寄附金



分類	件数	金額 (円)
● 一般寄附金個人	38	6,351,000
● 一般寄附金法人	28	24,972,163
<b>一般寄附金計</b>	<b>66</b>	<b>31,323,163</b>
● 使途指定寄附金個人	2	20,000
● 使途指定寄附金法人	6	3,895,790
<b>使途指定寄附金計</b>	<b>8</b>	<b>3,915,790</b>

合計 74 **35,238,953**円

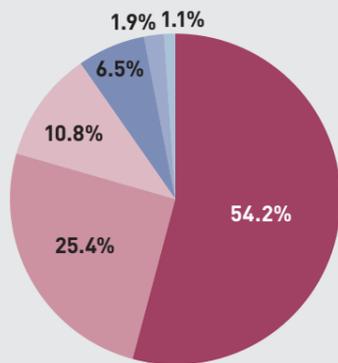
+

2年度寄附残額 (使途指定寄附金) **79,835,258**円

||

**115,074,211**円

使途



分類	金額 (円)
● 新型コロナウイルス感染症対応看護職等を支援するためのPCR無償検査事業	62,351,461
● オンライン面会支援事業	29,249,908
● 医療物資無償提供関連費用	12,485,000
● 感染症対策飛沫シミュレーションVR開発	7,535,000
● 新型コロナウイルス感染症対応県外応援派遣費用	2,135,339
● 新型コロナウイルス流行下における看護職のメンタルヘルスに関する実態調査研究	1,321,199

合計 **115,077,907**円

※寄附受領額は全額を費消し、支出超過は3,696円でした。

繰越金を財源とした事業

令和2年度繰越金 (剰余金)

**21,774,751**円

使途

項目	金額 (円)
新型コロナウイルス感染症対応臨時採用職員人件費 (協会負担のみ)	9,689,337
感染対策マネージャー養成研修等研修事業	7,785,978
新型コロナウイルス感染症対応医療物資無償提供関連費用支援助物資発送・保管費用	3,565,172
東京都内施設及び保健所等新型コロナウイルス感染症対策派遣事業	139,702
ワクチンセミナー	2,072,140
潜在看護師ワクチン接種事業	2,228,326
新型コロナウイルス職域接種「東京ワクチンチーム」事業	1,094,543
東京都宿泊療養施設への看護職出向派遣事業	669,660
墨田区臨時医療施設への看護職(スーパーバイザー)の派遣事業	-45,678
その他(新型コロナウイルス感染症対策プロジェクト会議等)	847,909

合計 **28,047,089**円

※新型コロナウイルス感染症対応関連事業の拡大により、令和2年度の繰越金は全額を費消。さらに、社会情勢に鑑みて、ワクチン接種、宿泊療養施設への看護職派遣など、臨時的緊急的対応により繰越金を超過して支出しました。

寄附物品無償提供

**247**件

サージカルマスク <b>750</b> 枚	N95マスク <b>250</b> 枚	ガウン <b>350</b> 枚	防護服 <b>40</b> 枚	クールベスト <b>300</b> 枚
プラスチック手袋 <b>203,800</b> 双	ニトリル手袋 <b>672,100</b> 双	タブレット端末 <b>185</b> 台	パルスオキシメーター <b>185</b> 個	非接触型体温計 <b>185</b> 個
				経口補水液 <b>360</b> ケース

# 危機管理室



危機管理室長  
仙道 かほる

## 令和3年度の振り返り

新型コロナウイルス感染症は令和3年度も感染拡大を続け、医療提供体制は危機的な状況が続いていました。危機管理室は令和2年度に引き続き東京都内医療機関をはじめ福祉施設への支援、看護職員の広域派遣調整、感染拡大防止策の最新情報発信、看護職への相談対応などを実施しました。これに加え令和3年度においては、国を挙げたワクチン接種への取り組みに協力し、協会が参画した「東京ワクチンチーム (TVT)」における支援を一手に担い、協会全体の動きを統括し、ワクチン接種に必要な看護職確保や看護師派遣、ワクチンセミナーを開催するなど、感染症対策を最優先としてさまざまな事業に取り組んでまいりました。

災害支援関連では、「東京都看護協会災害支援要綱」第4版を発行しました。災害時支援ネットワークシステムや様式を見直し刷新しました。

また、オンライン面会支援事業は、新型コロナウイルス感染症対応の影響が続いている面会制限により患者へ及ぼす影響を鑑み、看護職の立場から現場を支援する目的で実施しました。この取り組みをきっかけに、患者、家族にとっての「面会」の意義、効果、を通して看護の目的、目標を考え直すきっかけになることを期待しています。

令和4年度も引き続き機動力を発揮して、感染症や災害支援などの緊急時に看護職や都民の皆さまの安心と安全の礎となるよう活動してまいります。

## 事業概要

- BCPの策定、運用及び実施に関すること
- 防災対策に関すること
- 災害備品の管理に関すること
- 会館の維持管理、修繕に関すること
- 新型コロナウイルスに関すること
- 前各項に掲げるもののほか、危機管理室が所掌することが必要な業務に関すること



## 主な取り組み

### 1 新型コロナウイルス感染症対策

- ・新型コロナウイルスワクチン接種促進
- ・医療施設・宿泊療養施設への看護師派遣
- ・新型コロナワクチン接種業務に携わる潜在看護師へワクチン接種を実施
- ・東京商工会議所ワクチン共同接種に看護師派遣
- ・ワクチン接種を担う歯科医師向けの実技研修実施
- ・東京都内外のクラスター発生施設への看護職員応援派遣調整
- ・感染管理認定看護師及び看護管理者による訪問指導及びアドバイス
- ・精神看護専門看護師によるメンタルサポート
- ・オンライン研修及びウェブサイトでの最新情報配信
- ・東京都内医療機関等医療従事者新型コロナウイルス検査陽性者発生状況調査

### 2 感染対策指導者養成研修

新型コロナウイルス感染症発症の中心である東京都内において、即戦力として活躍できる人材を養成する。

### 3 災害支援ナース事業

- ・災害支援ナースの登録・更新
- ・災害時の派遣
- ・災害支援ナース更新研修
- ・災害支援ナース派遣調整訓練

## 令和4年度主な事業計画

- 医療安全管理者養成研修
- 災害支援ナース事業
- 新型コロナウイルス感染症対策
  - ・東京都感染対策リーダー養成研修事業（東京都受託事業）
  - ・障害者支援施設等の感染防止対策のための専門的相談・支援事業（東京都受託事業）
- 防災対策の整備
- 施設の貸与事業
- 建物維持管理



## ■ 新型コロナウイルス感染症対応実績

### 1 新型コロナウイルス感染症「応援派遣ナース」

#### 4月 宮城県

4月5日～16日 仙台市立病院 4名

#### 5月 大阪府

5月3日～11日、9日～17日 大阪府  
宿泊療養施設支援 2名

5月3日～21日 大阪コロナ重症センター 1名

#### 令和4年1月 沖縄県

沖縄県の宿泊療養施設への職員派遣調整

1月16日～29日 2名

1月30日～2月12日 2名

2月13日～26日 1名

### 2 ワクチンセミナー

#### 新型コロナワクチン実技セミナー

「安全なワクチン接種 実技講習」 対象：潜在看護師

4月6日～28日 計21回開催 修了者 405名

5月5日～15日 計19回開催 修了者 531名

5月26日 町立八丈病院・三宅村中央診療所 修了者 12名

5月27日 三宅村中央診療所 修了者 4名

5月27日 日本看護協会、日本看護連盟

計3回開催 修了者 70名

#### 歯科医師向け「ワクチン接種 実技講習」

(e-ラーニング修了者)

6月 3日 127名

6月 4日 54名

6月23日 147名

6月28日 148名

7月12日 87名

7月13日 70名

7月19日 106名

7月20日 76名

計 815名

### 3 東京ワクチンチーム (TVT)

東京ワクチンチームにおける東京商工会議所のワクチン接種  
看護師業務の統括業務を実施

・ワクチン接種実務、職員派遣及び非常勤職員の採用・派遣・  
マニュアル作成、連絡調整 など

7月8日～ 看護師1日8名派遣

8月9日～ 看護師1日10名派遣

3か月合計580名派遣

9月30日終了 約1.8万人へ約3.6万回接種

### 4 施設支援

4月 クリニック 1件

7月 有料老人ホーム 1件

9月 病院 1件

有料老人ホーム 1件

児童養護施設 1件

10月 特別養護老人ホーム 1件

11月 障害者福祉センター 1件

特別養護老人ホーム 1件

1月 通所授産施設 1件

障害者支援施設 1件

### 5 自治体支援

8月 新宿区保健所

自宅療養者への電話での健康観察 18日間

2月 墨田区臨時医療施設に関わるスーパーバイザー委託

(令和4年2月16日～3月31日)



危機管理室  
菊地 美貴  
係長

渡邊 千香子  
専務理事

危機管理室  
仙道 かほる  
室長

感染対策委員会  
感染管理認定看護師  
浅野 恵子  
委員

## 危機管理室 座談会

# 危機管理はこれからの最重要課題 時代の要請に応えるためにやるべきこと

東京都看護協会の会館施設が西新宿に移転した平成31年に新設された危機管理室。災害支援ナースの養成や、都内医療機関への感染対策の実施、東京都内外の医療提供体制確保などを目的に活動を行っています。また、令和2年4月1日に「新型コロナウイルス感染症対策プロジェクトチーム」を立ち上げ、危機管理室が中心となってさまざまな活動を行ってきました。

### ワクチン接種支援や、感染対策に強い看護師の育成に力を注いだ1年

**渡邊**：まずは危機管理室室長の仙道さんから、令和3年度の危機管理室の活動についてお話いただけます。

**仙道**：前年度から引き続き、令和3年度も新型コロナウイ

ルス関連の活動がメインでした。

ワクチン接種が始まり、ワクチンに関するセミナーや手技に関する研修を実施し、東京都医師会、東京都歯科医師会、東京都薬剤師会、東京都看護協会の四師会による「東京ワクチンチーム」設置を受け、ワクチン接種会場へ看護師を派遣したほか、院内クラスターが発生した施設へ

部門新設後、新型コロナウイルス感染症が発生  
危機管理室があったからこそ迅速な対応ができた

——— 渡邊 千香子 専務理事



の人的な支援も行ってきました。中でも感染対策に強い看護師を養成する「感染対策指導者養成研修」に力を入れてきました。

**渡邊**：東京都看護協会が実施してきた「感染対策指導者養成研修」の概要についても教えていただけますか。

**仙道**：「感染対策指導者養成研修」は、200床未満の中小規模施設の多くで、認定看護師が在籍していないため感染対策に困っているという声を受け、1人でも多くの看護師に感染対策の基礎を学んでもらうことを目的に令和2年度から始めた研修です。

現場ですぐに役立つということで大変好評であったことと、まだまだ感染状況が落ち着いていなかったこともあり、令和3年度も引き続き実施しました。定員100名のところ500名超の応募をいただき、定員を200名に増やして実施したという経緯があります。

**浅野**：令和3年度の研修については、刻一刻と変化するさまざまな状況を受けてオンデマンド用の研修動画を撮り直したり、新しい情報を加えたり、内容をアップデートしてプログラムを構成しました。研修前にはオンラインでキックオフセミナーを行い、受講者の皆さんの状況を伺う機会を持ったのも前回と違う点です。研修はオンデマンドで行い、最後にまとめとしてZoom（ビデオ会議システム）を活用してグループワークを行いました。

**渡邊**：感染拡大が最も広がった第5波のタイミングと重なり、大変でしたね。事務局として参加された菊地さんはいかがでしたか。

**菊地**：現場で働く看護師さんはネット環境もさまざまで、Zoomの操作に不慣れな方も多く、事前にZoom研修を行ってグループワークに備えていただきました。研修開始当初、事務局側は出席確認に手間取ったり、受講者さん側

はインターネット環境が不安定でログアウトしてしまったりということもありましたが、個々にサポートしながら研修を進めていきました。

皆さん初めてのオンライン研修で緊張していましたが、慣れてくるとグループワークなどに積極的に参加されました。

### 令和4年度は東京都との受託事業として 感染対策のリーダーを養成

**渡邊**：受講者の皆さんの反応はいかがでしたか。

**仙道**：今回、皆さんが働いている施設の感染対策を話し合うプログラムを企画したのですが、ほかの施設の取り組みを聞きながら、自分が働く施設で活かせることはないか考える機会になり、意見交換することができてよかったという声を多くいただきました。

**浅野**：そうですね。これから職場で感染対策の指導者としての役割を担う決意をされる方も多かったように感じます。修了後のアンケートにも「普段からきちんと感染対策や予防策をすることの大切さを学んだ」と書かれていて、私たちが意図したことが伝わってよかったと思いました。

**渡邊**：オンライン研修は苦勞も多かったと聞いていますが、非対面でも他施設の方と意見交換ができる場になってよかったですね。次年度も研修は開催されるのでしょうか。

**仙道**：この研修は受講者からの評価も高く、日本看護協会や他の協会からも注目されており、継続して実施したいという思いはありました。ただ、これまでは、多くの方々からのご寄附を活用して受講料を徴収せずに研修を実施することができたのですが、財源の問題などもあり、今後は有料

常に緊張の毎日だったが  
さまざまな支援を通して、求められていることが明確になった

——— 危機管理室 仙道 かほる 室長



受講対象が広がることで  
他職種で感染対応ができるようになる

——— 危機管理室 菊地 美貴 係長



研修に変更にするかなど、さまざまな議論や検討を重ねました。

当協会より東京都に研修継続の必要性などについて要望書を提出し、令和4年度は東京都の受託事業として研修が実施できることになりました。もちろん受講料は不要です。

**渡邊**：危機管理室のメンバー一人ひとりが、さまざまな努力をしながら研修を実施してきたことも評価されたのではないのでしょうか。今後、受託事業になることで変化することはありますか。

**菊地**：現在、東京都の担当者と詳細を検討している段階ではありますが、名称を「感染対策リーダー養成研修」と変更し、これまでの内容を踏襲しつつ、30時間前後の研修時間で感染対策の基本について学ぶことが決まりました。また、これまでは看護師のみが対象でしたが、今後は都内の医療機関に勤務する医療従事者に範囲を広げることで、薬剤師や臨床検査技師など多職種の方の受講が可能になります。

### 危機管理室が実施した研修が、 看護師の新たな道を切り拓ききっかけに

**渡邊**：最後に、令和3年度を振り返ってひと言ずつお願いします。

**仙道**：私はいつクラスター発生や緊急支援を要請されるか……と電話が鳴るたびにドキドキしていました。県外派遣など迅速に対応しなければならないことも多く、常に緊張していた1年でしたが、ようやく落ち着いてきてホッとしています。

**菊地**：今回、ワクチン接種をきっかけに潜在看護師の方が東京都看護協会にアクセスしていただき、さらに他の研修に興味を持って参加して下さった方もいました。改めて危機管理室が企画した研修が、コロナ禍という大変な状況の中で看護師さんたちのモチベーションを上げるきっかけになっていることを実感しています。

オンラインでの研修実施についてはまだまだ課題もあるので、企画はもちろん受講者の方へのサポートなど、これからもさまざまな工夫をしていきたいと思っています。

**浅野**：私にとっては、感染対策指導者養成研修の企画に携われたことが最も大きな出来事でした。実際にクラスターが発生した施設へ支援に行った際、基本的な感染対策を十分に理解していない看護師が意外に多いことを改めて実感し、この状況をなんとかしたいという思いが原動力にもなっていました。

受講者の中には、研修修了後にさらに学びたいと認定看護師の養成学校を受験された方が複数名いると聞いて、改めて当協会ですばらしい研修を実施することができ、誇りに思います。最後に研修の実施報告書を作成し、形に残せたこともうれしかったですね。

**渡邊**：今回のワクチン接種では「自分でお役に立てることがあれば」と手を挙げてくださる方が本当にたくさんいて驚きました。困難なことも多くありましたが、危機管理室では現場を支援する立場として、各施設にどんな問題があり、どんな支援が必要なのか、外部アドバイザーと連携をしながら役割を発揮できたのではないかと思います。

令和4年度も引き続き、機動力をもって活動していきたいと思っています。皆さん、本当にありがとうございました。

感染管理認定看護師として  
基本的な感染対策の重要性を実感した

——— 感染対策委員会 浅野 恵子 委員



# 教育部



常務理事  
大橋 純江

## 令和3年度の振り返り

新型コロナウイルス感染症はこれまでの価値観や事業継続の変革を迫り、社会全体がウイズコロナにおいて事業戦略とオペレーションの再構築を余儀なくされています。教育部でも感染状況に応じて迅速柔軟に対応し、計画した教育研修を中止することなく、教育部主催研修は183研修5,824名に受講いただきました。

研修開催方法ではハイブリッド開催や全リモート開催など、安全確保に加え場所にとらわれずに遂行可能なオペレーションを構築しました。このような取り組みにより、認定看護管理者教育課程ファーストレベルでは令和2年度延期開催分を含め3回開催、230名の受講が実現しました。学会もライブ配信及びアーカイブ配信にて開催し、看護学生看護研究学会は1,700名超、看護研究学会は70を超える演題応募と363名の参加をいただきました。

教育部は看護職が新たな医療ニーズに対応する能力を身につけ、看護実践能力を向上するための支援に取り組む部門としての重責を担っています。常に使命感とプライドを持って会員サービスに徹することをさらに強化できた年となりました。

一つひとつの研修を商品と捉え、会員の皆さまが求めるニーズを把握し、魅力ある企画をもって看護職の皆さまの課題解決につながる研修と、新たな価値提供ができる研修の実施に尽力してまいります。



## 令和3年度研修等実績

	研修開催数	定員	（単位：日、名）	
			応募者数	受講者数
教育部主催研修	183	8,926	6,790	5,824
実務実践	101	4,561	3,400	2,730
職能委員会	11	706	288	213
地区支部	21	1,170	929	834
認定看護管理者	5	290	303	279
受託事業	6	1,763	1,693	1,624
外国語	39	436	177	144
委員会主催研修	3	240	168	156
人材確保/定着事業	2	490	397	106
受託事業研修	9	1,067	982	797
地域住民/委員会	17	1,210	595	529
総計	214	11,933	8,932	7,412

## 令和4年度主な事業計画

### 主な研修実施計画

- **実務実践研修**
  - ・感染管理に必要な基礎知識
  - ・認知症高齢者の看護実践に必要な知識
- **認定看護管理者研修**  
**認定看護管理者教育課程**
  - ・ファーストレベル
  - ・セカンドレベル
  - ・サードレベル
- **マネジメント研修**
  - ・コンピテンシー・モデルを用いて
    - 自己成長と他者育成のヒントを学ぶ-
  - ・e-ラーニングによるマネジメント研修
- **普及啓発**
  - ・看護師国家試験対策講座
- **学会開催**
  - ・看護学生看護研究学会
  - ・看護研究学会



## 事業概要

### 1 継続教育の実施

- ・看護実践能力の向上に関する研修
- ・実務実践マネジメント能力向上に関する研修
- ・看護教育実践能力向上に関する研修

### 2 継続教育における職能の専門性向上

### 3 学会開催

- ・看護学生看護研究学会
- ・看護研究学会

### 4 看護研究

- ・看護研究活動支援
- ・看護研究倫理審査
- ・東京都看護協会学会誌発行

### 5 医療安全推進

- ・医療事故調査制度支援団体としての活動
- ・医療安全相談窓口紹介
- ・医療安全関連情報提供

※常務理事の大橋は令和4年6月任期満了退任



教育部 対談

## 未来の看護部組織の変革と文化 組織に、個人に、必要なイノベーションとは

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、医療現場に大きな影響をもたらしました。全国的な医療のひっ迫や混乱に疲弊し、離職した看護師も少なくありません。今回は、「未来の看護部組織の変革と文化」をテーマに、大きく4つの社会変化に対応した看護部組織の過去、現在、未来の変革と文化について、国家公務員共済組合虎の門病院の副院長・看護部長をつとめる若本恵子氏と当協会常務理事大橋純江が語り合います。



大橋 純江 常務理事

国家公務員共済組合虎の門病院  
若本 恵子 副院長・看護部長

### 医師と看護師は上下関係ではなく “パートナー”

**大橋**：医療現場にとっては、激動の2年が経過したわけですが、看護の組織にとっても攻めの組織改革が重要と考えます。今回は「病院における看護部門の組織構造の特徴」「社会の変化が病院組織に与えた影響」「実効性の高い変革」「イノベーションを生み出す革新的組織文化」という4つの論点でお話を伺いたいと思います。

早速、1つ目の論点ですが、現在の日本の看護のあり方

は医師や多職種と看護師との利害関係など、病院の組織構造が大きな課題になっています。虎の門病院さんの組織構造の特徴について教えていただけますか。

**若本**：私は新卒で当院に入職して以来、30年以上働いているのですが、職場にはとても恵まれていると思います。当院では医師と看護師は“パートナー”です。看護師は医師の指示のもと、診療の補助を行いますがあくまでも対等であって、上下関係ではありません。実施者責任は看護師にある。そういう考え方が文化として根付いています。

**大橋**：いわゆる医師を頂点としたパターナリズムの病院が

### 関係性を変化させたいと思うなら 自分たちから動くことが大切

——— 国家公務員共済組合虎の門病院 若本 恵子 副院長・看護部長



多い中で、素晴らしい文化ですね。

**若本**：はい。「チーム医療」という言葉がない時代から、当院では看護師もカンファレンスに参加し、患者さんの治療方針について意見交換をするのが当たり前でした。最近になって日本全体の医療機関の間で、こうした機運が高まっているのを感じます。

**大橋**：そうですね。ただ、中小規模の病院ではまだまだ医師の方が上位であるという考え方が主流のように思いますが、関係性を変えることは難しいのでしょうか。

**若本**：一方的な力関係が成立しているように感じていたり、やりにくさを感じたりしているときは、相手にも問題はあると思いますが、それを甘んじて受けしまい、異を唱えることができない側にも問題があると私は考えています。関係性を変化させたいと思うなら、相手に求める前に自分たちから動くことが大切だと思っています。

**大橋**：まさしくその通りですね。看護師が誇りを持って働ける現場であってほしいと思います。

**若本**：看護師に限らず、薬剤師や検査技師、事務職員など、どの職種が欠けても病院は機能しませんから、それぞれが相手に対して「自分にできない仕事を担ってくれるプロフェッショナル」という感覚、考え方が職場全体にあると、自然と相手を尊重する気持ちが育まれますよね。

**大橋**：ベースとして上下関係を意識しないフラットな組織構造があり、その文化が継承されているのは素晴らしいですね。

**若本**：患者さんにとっては、看護も診療の一部です。長い病院運営の中で、かつての先輩看護師たちがつくってこられた姿勢や実績が「価値」として認められ、いまの私たちの立ち位置や役割に対する共通認識につながっているのだと思います。

**大橋**：では、2つ目の論点「社会の変化が病院組織に与えた影響」について。厚生労働省が進める地域医療構想、医療計画では、団塊の世代が75歳を迎える2025年に向け、医療の機能に見合った、より良質な医療を提供するために医療圏ごとの病床数の整理が求められています。2019年には全国の病院のうち、424病院に再編検討が必要として病院名が公表されました。この件で、虎の門病院さんでは何か動きはありましたか。

**若本**：公表された中に意外な病院が含まれていて、驚きました。

日本は病床数が多いと言われていますが、中間施設がほとんどないため、少し前までは病院が幅広い病期の患者さんを受け入れるしかありませんでした。いまでもこそ介護施設などさまざまな中間施設が増えているものの、日本特有の文化として、お金を払って他人のケアを受けることに抵抗を感じる人がまだまだ多くいます。

日本の介護保険制度は本当に素晴らしい制度ですが、今後の方向性について多角的な視点で議論せず、目先のことで判断すると10年、20年先に大きなつげを支払われることになると思います。

### 時代のニーズに合わせ 質の高い医療を提供し続ける

**大橋**：社会のニーズの視点で言えば、虎の門病院さんはコロナ禍においてどんな点で苦勞されましたか。

**若本**：新型コロナウイルス感染症の診療と、通常の診療との両立が最も大変でした。コロナが流行したからといってほかの疾患がなくなるわけでも、減るわけでもありません。

ただ、「医学への精進と貢献、病者への献身と奉仕を旨とし、その時代時代になしうる最良の医療を提供すること」が当院の基本理念であり、「時代時代になしうる」という点で考えたときに、コロナの治療が求められるのであれば、指定感染症病院ではなかったとしても要請に応えるというのが私たちのあり方です。一方で、社会のニーズに合わせてながらもこれまでの質を保った医療をするために、さまざまな調整が必要でした。

**大橋**：マスクをはじめ医療材料がひっ迫し、これが日本の現状で限界なのかと疑う状況の中で、通常の外来と発熱外来を分ける専用病棟をつくるなど、感染対策に関連する変更も多く、大変だったのではないのでしょうか。看護師の皆さんはどんな風に対応されていましたか。

**若本**：サーモセンサーがなかった2020年4月頃は、看護師100人体制で毎日2,000～3,000人の患者さんを一入



環境の変化に対応するためにはフレキシブルな創造性や勇気が必要  
それを受け止め支える組織があるからこそ前進できる

——— 大橋 純江 常務理事

ひとり問診、検温してから受け付けていました。また、専用病棟では感染リスクを少しでも抑えるため、すべての専属協力会社を入れず、清掃や配膳、シーツ交換まで看護師が行っていました。

新しく専用病棟をつくる際は、私自身もミーティングに参加し、理由や目的、期待していることなどを直接話し、看護師から意見を聞く場を設けました。決して十分な回数ではなかったと思いますが、方針に沿って働いてくれている看護師たちに、根拠を理解して取り組んでもらうためには、直接の対話が必要だと考えました。

**大橋：**それは大変でしたね。確かに、トップマネージャーから直接メッセージを伝えるのは、理解を浸透させる上で一番の近道だと思います。

**若本：**特に今回はこれまでに例のない新興感染症であり、既存の手法だけでは今後の対応について判断できません。ですから、患者さんと接してケアに携わる看護師と直接話をする必要があると思いました。

### 自ら動き、発信できる看護師の育成が重要

**大橋：**次に「実効性の高い変革」について。私は、現在の看護職の基礎教育は近未来的に危機だと感じています。カリキュラムの増加に伴い実習時間は約半分に減らされています。これからも進歩し続ける医療に対応できる能力の高い看護師を育てるために、看護基礎教育の4年制化を推進すべきだと考えています。このことは、看護職の医療職としての位置づけも含めて社会的に評価されることにつながっていくのではないかと考えています。

**若本：**養成課程の違いを実践力の差として指標に出せないと説得力はありませんね。個人的には、医療安全の観点からエビデンスが出せるのではと考えています。

医師が指示を出す際、緊急時以外は必ず実施するタイミングとのタイムラグが生じるため、指示されたことを実行する際に患者さんの容体が変わっている場合もあるわけです。その際に、指示通りに実施することが適切なか臨床推論に基づき再度確認するなどの判断ができる看護師と、

指示だったからと闇雲に実行してしまう看護師とでは、安全面で大きな違いがあるのではないのでしょうか。

**大橋：**そうですね。学んだ年数による能力の違いは、臨床推論や看護師自身の気づきにつながることもあるかもしれませんが。

**若本：**日本では超高齢社会に加え、2040年には生産人口の急激な減少が問題視されています。限られた医療者で今後割合の増加が予想されるcommon diseaseに対応するには、ナース・プラクティショナー（仮称）のように+αのライセンスを持った人々を配置することで、有機的な連携のもとに医療が提供できるようになり、医師への業務集中が回避できるようになるのではと思っています。

**大橋：**確かに、看護師にジャッジを任せられる機会も増えていきますね。患者の一番近くにいる看護師が専門性を発揮することで、チーム医療の中心的役割を担い多職種と協働していくことが大切ですね。

組織としては、間違いではない、果敢に攻めた結果としての失敗を許容することも重要だと思うのですが、虎の門病院さんではどう対応されていますか。

**若本：**私の運営方針は「発信する看護部」です。常に受け身で何もせず、失敗もせずより、失敗したとしても自ら考え、発信することに価値を置いているので、行動に対してはきちんと評価をします。さらに疑問があれば私自身への問題提起してもらいたいと思っています。昨年、病院全体で「恐れのない組織化プロジェクト」として、誰もが発言でき、誰もが人に助けを求められる組織風土の醸成に取り組んでいるところです。

**大橋：**攻めの戦略ですね。環境の変化に対応するためにはフレキシブルな創造性や勇気が必要ですが、それを受け止め、支えてくれる組織構造があるからこそ、前進することができるのではというね。

### トップマネージャーに求められるのは 一貫性と概念化能力

**大橋：**最後に、「イノベーションを生み出す革新的組織文



化」についてです。私は常々、看護師が誇りを持って働くことができる組織づくりが重要だと考えているのですが、若本さんはどんな考えをお持ちですか。

**若本：**組織が求める看護師像をはっきりさせることが大事だと思っています。

私は毎年、年度初めに組織が求めていることを伝える場を設けています。病院ごとにさまざまな理想の看護観があり、何に価値を置くかは個人の選択です。しかし、組織側がカラーを出し、求めていることを言語化しなければ、スタッフは選ぶことができません。

**大橋：**確かに。トップマネージャーが方針や求める水準を直接伝えることで、看護師は何を選ぶかに加え、自身も自分に足りないことを自覚したり、これから何を学ぶか目標を立てたりすることができますよね。

今回、さまざまなお話を伺う中で、また、私自身も強く認識していることは、新人のときにどのような組織で育てられるかが重要であるということです。初めに入った組織で学んだ知識や看護職としてのプライドと品性は、転職したとしても崩れることはないでしょう。若本さんが看護師を育成する上で大切にされていることはありますか。

**若本：**私が考える職員育成のキーワードは「倫理観」と「自律性」です。倫理観とは、特別なときにだけ発揮するものではなく、日々の仕事を真面目に行う誠実さが基盤です。スタッフにはよく「普段の仕事が大事なんだ」ということを伝えています。

自律性は、先ほど申し上げた「発信する看護部」につながりますが、自分で考え、かつ、考えるにとどめず行動してくださいと伝えています。倫理観も自律性も、年数が経たなければ育たないということはありません。経験年数にかかわらず、そのときにできる全力を出し、考え行動する人を求めており、そういった人材を育てるための教育プログラムを用意

しています。

**大橋：**いまのお話を伺って、倫理観こそが看護師の品性なのではないかとひとつの結論が出たような気がします。

いずれは若本さんも、次の世代にトップマネージャーのバトンを渡して組織を引き継ぐわけですが、実効性の高い変革を推進できる組織をつくるためには何が重要だと考えますか。

**若本：**ひと言でいうと「概念化」できる人材ではないでしょうか。自分の感情や期待、主観を排除して冷静な判断をするためには、客観的な視点を持ち現象を概念化することが重要だと思います。逆に、経験値や感覚だけに頼ると根拠が不足したり一貫性がなくなったりすることでスタッフが振り回され、不安定になってしまいます。

**大橋：**通常の臨床の現場においても、全体を捉えて概念化できる人、そして概念化から論理的な思考に移し替えて課題を解決する力があるユニットは強いですね。これから実効性の高い変革を行っていくためには、概念化や論理的思考力、スタッフを守る力を持つ人材を育成することが大切なことがよくわかりました。

最後にひと言、お願いします。

**若本：**看護師には謙遜しすぎる傾向の人が多い印象があるのですが、誤解を恐れずに言うと、それは自分を守っているのではと感じるんですね。「自分にはできない」という言葉には、できなかったときに「無理だとわかっていました」という言い訳が含まれているようにも思います。何があっても最後まで責任を取って、その部門を率いていく覚悟を持つ、この「覚悟」が重要だと思います。

**大橋：**もうひとつ、人として「誠実」であることも大切な要素と付け加えさせてください。

本日は社会のニーズに対応し続けるための看護、そしてこれからの看護の組織のあり方について多くのご意見を伺うことができました。ありがとうございました。

# 事業部



常務理事  
佐川 きよみ

## 令和3年度の振り返り

令和3年度事業部の運営につきましては、本来事業の実施に加え、新型コロナウイルス感染症感染対策に関する新たな事業を実施いたしました。

プレファミリー講座、看護フェスタ、東京都受託事業などをオンラインで開催することにより円滑に運営することができました。今後も感染状況に応じてオンラインを併用しながら、利用者さまのニーズに沿った内容を実施していきます。

新たな事業については、新型コロナワクチン接種が開始されたことにより、各分野の看護職から要望を受け、新型コロナワクチン接種に関する研修会をWebライブで2回開催しました。行政、産業保健、教育、地域などで働く多くの看護職が参加し、好評でした。

さらに、新型コロナウイルスに感染した妊婦の入院先が見つからず、自宅で出産した赤ちゃんが亡くなったことを受け、職能団体として早急に実態把握と対応検討が必要と判断し「コロナ禍において妊娠、分娩、産後ケアに係る看護職は何をすべきか」というテーマで地域の看護職を対象とした情報交換会を開催しました。

訪問看護ステーション事業については、独居の方の在宅看取りなど、利用者さまのニーズに応じてきました。教育ステーションでは、研修をWebライブで開催し、多くの方の参加をいただきました。

令和3年度は、訪問看護ステーションの機能強化に向け「東京都看護協会立訪問看護ステーションの機能強化に係る検討委員会」を立ち上げ、検討を行いました。東京都看護協会立だからこそできる事業転換に向け6つの基本方針のもとに、現在サテライトとなっている城北事業所1か所に設置場所及び機能を統合することとしました。

令和4年8月1日から、東京都看護協会立城北看護ステーションを新たに立上げ、さらに地域に密着した在宅支援、訪問看護を実現させていきます。

## 事業概要

- 地域住民の健康支援
- 地域包括ケアシステム構築の推進
- 次世代育成事業
- 訪問看護・居宅介護支援事業



## 主な取り組み

- プレファミリー講座
- すくすく広場
- 出前事業
- 都民健康講座
- 看護フェスタ
- 感染症予防対策事業
- 高齢者・福祉関連施設の看護の充実とネットワークづくり
- 准看護師交流及び情報提供

## 令和4年度主な事業計画

- 妊産婦支援
  - ・ 地域の助産師への支援
  - ・ 東京都助産師定着促進事業（東京都受託事業）
- 次世代育成事業
  - ・ プレファミリー講座
  - ・ すくすく広場
- 保健所支援
  - ・ 東京都会計年度任用職員（トレーサー班）育成研修（東京都受託事業）
  - ・ 新宿区保健所への支援（積極的疫学調査等）
- 在宅ケアの推進と支援に関する事業
  - ・ 入退院時連携強化研修事業（東京都受託事業）
  - ・ 訪問看護人材確保事業（東京都受託事業）
- 看護業務の開発改善
  - ・ 准看護師交流会・研修会・進学説明会の開催
- 看護職の専門性向上
  - ・ 東京都看護職等キャリアアップ支援事業（東京都受託事業）
- 地域住民健康支援
  - ・ 看護フェスタ（Web開催）
  - ・ 都民健康講座

ROUND TABLE  
04

事業部・訪問看護ステーション 座談会

訪問看護ステーションの意義  
利用者を第一に考えたケアのあり方

東京都看護協会の事業部は、事業係と訪問看護ステーションを所管しています。訪問看護ステーションでは、訪問看護だけでなく、訪問リハビリや居宅介護支援事業なども行っています。今回は、訪問看護ステーションで働く看護師、理学療法士、介護支援専門員（ケアマネジャー）、それぞれの視点から訪問看護ステーション事業の現状や将来の方向性などについて語り合います。



平澤 可愛  
介護支援専門員  
(ケアマネジャー)

千駄木訪問看護ステーション及び  
城北事業所  
竹内 里絵子  
所長/看護師

築瀬 孝之  
理学療法士

家崎 芳恵  
事業部長

(司会進行)  
佐川 きよみ  
常務理事

千駄木訪問看護ステーション  
倉重 真美子  
所長代理/看護師

在宅医療を支えるため、都内でもいち早く  
「訪問看護ステーション」を設立

佐川：まず、東京都看護協会が訪問看護ステーションを運営することになったきっかけやこれまでの経過について、家崎事業部長にお話しいただけます。

家崎：「千駄木訪問看護ステーション」は、1995年に東京都看護協会立の訪問看護ステーションとして開設された事業所です。2年後には練馬区に「城北訪問看護ステーション」も開設し、介護保険制度が始まる前から在宅療養者へ看護の提供を行っていました。その後、2000年の介護保険制度の創設を受けて居宅介護支援事業所を開設し、在宅医療のマネジメントと訪問看護の提供を行う事業所として、地域に根差したサービスを提供してきました。

2017年には2か所の訪問看護ステーションを統合し、城北事業所をサテライトに「機能強化型訪問看護ステーション」として新たなスタートを切りました。また、2018年からは東京都から訪問看護教育ステーションとして指定を受けました。

佐川：現在、千駄木訪問看護ステーションと城北事業所では看護師、理学療法士、介護支援専門員（ケアマネジャー）と3つの専門職と一緒に仕事をしています。令和3年度の業務の状況や訪問看護ステーションの仕事の魅力、やりがいについてそれぞれお聞かせいただけますか。

竹内：訪問看護の主な仕事は、病気や障害のある利用者さまのご自宅を訪問して医療的なケアを提供することで、利用者さまが自分らしく生きていけるようにサポートすることです。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大で休まざるを得ないスタッフも多く、慌ただしい1年でしたが、大きな事故もなく、なんとか安全に運営することができました。

私が思うこの仕事の魅力は、時間をかけて少しずつ関係を築いたり、サポートしたりとじっくり時間をかけて関わることが学べる場だと思っています。

倉重：以前、病院で働いていた頃は「病気を治す」ことを第一に考えていました。訪問看護の仕事が始めてからは、利用者さまがご自宅でどれだけ安全に、安楽に過ごせる

か、考え方を根本的に変える必要がありました。

初めは大変でしたが、だからこそ自分から利用者さまと深く関わりを持ち、一人ひとりのバックグラウンドや生活環境を見ながら、利用者さまと一緒にサービスの内容を調整していく過程にやりがいを感じています。

築瀬：私は理学療法士として一昨年からステーションで働いています。通常、病院ではベッドの上でのリハビリがメインですが、在宅の場合、一軒家やマンションなど、それぞれのお家やシチュエーションに合わせたリハビリを行う必要があります。

令和3年度は新型コロナウイルスの影響で、お散歩に行けなくなってしまった方がいたり、私たちがウイルスを持ち込むのではと不安を抱える方もいらっしゃいました。

病気やケガをされたことでできなくなった動作が、リハビリによって取り戻せたときの利用者さまのうれしそうな表情を見ると、この仕事をしていて本当によかったと思います。

平澤：ケアマネジャーは月に一度、利用者さまのご自宅に伺い、活用されているサービスの見直しや調整、ご本人の

お気持ちを伺うのが主な役割です。コロナ禍においては、皆さまの生活がどんな風に変化したか、気を付けながらお話を伺うことを意識していました。ご家族と暮らしている方の場合、ご本人だけでなく、ご家族も含めて無理なく自宅で過ごしていただけるよう、心がけています。病院を退院した後、元の生活を取り戻す過程をお手伝いできるのは訪問看護ステーションに併設しているケアマネジャーならではのやりがいだと思います。

佐川：皆さんが、利用者さまはもちろん、ご家族全員が幸せになれるようなサービスを提供されていることがよくわかりました。

続いて、城北事業所が担っている「東京都訪問看護教育ステーション」の役割について教えてください。

「訪問看護教育ステーション」として  
これからの訪問看護を担う人材を育成

家崎：東京都訪問看護教育ステーションは、地域包括ケア



家崎 芳恵 事業部長

の中心的な役割を担う訪問看護師の確保、育成、定着を支援するために2013年から行われている東京都の事業です。

主な役割は、訪問看護に興味を持っている看護師が一步を踏み出せるように導くこと、また、現場で働く訪問看護師や管理者の相談に乗り、一緒に考えること。そして、多職種での勉強会などを通じて、サービスの質の向上や理解促進等、訪問看護の全体的な底上げを図ることが挙げられます。

**佐川：**城北事業所では、具体的にどのような活動をされているのでしょうか。

**竹内：**訪問看護に興味がある看護師を受け入れ、訪問看護の現場を見ていただく「同行訪問」や研修を行っています。また、ヘルパー、ケアマネジャー、地域の病院の看護師など、多職種の方と一緒に定期的に勉強会を開いています。令和3年度はビデオ会議システムも活用しながら、感染症や統合失調症、認知症などのテーマで勉強会を行いました。

**佐川：**教育ステーションとして活動してよかった点について教えてくださいませんか。

**倉重：**訪問看護の仕事をしていると、リハビリや精神障害のことなど、経験や知識のない分野について相談を受けることがあります。教育ステーションでこうしたテーマの研修会があると参加しやすく、とてもありがたいです。これからは開催する側ですので、皆さんのニーズを聞きながら、研修会を開きたいと思っています。

**築瀬：**オンライン研修会でホストを務めた際、終了後のアンケートを読んで改めて皆さんに学びたいというニーズがあることがわかりました。

理学療法士は通常、リハビリを必要としない利用者さまに関わる機会がほとんどありません。事業所では相談の電



千駄木訪問看護ステーション及び城北事業所 竹内 里絵子 所長／看護師

話を受けることも多く、勉強会で関わり方を学んでよかったなと思います。

**竹内：**今年度からは介護医療連携の取り組みも始まりますので、ヘルパーさんと看護師が相互に研修することでお互いの理解を深め、対等に意見交換ができるようになればと思っています。

**佐川：**高齢化が進行する中、団塊の世代が75歳以上となる2025年以降は、国民の医療や看護、介護の需要がさらに増加すると見込まれています。地域包括ケアシステムの構築や、在宅医療を支えるために多職種連携の期待が高まっている中で、取り組んでいること、やってみたいことについて教えてください。

**竹内：**老老介護や一人暮らしの高齢者が増える中で、多職種で生活を支えることの大切さを痛感しています。また、病院のかかり方も変わっていくのではないのでしょうか。症状のコントロールのために入院し、また家に帰るというような。病院との連携も重要で、退院前のカンファレンスにこれから在宅医療に関わる多職種スタッフが入ったり、ICTを活用しながら情報共有することが必要になるのではないかと思います。

**倉重：**これだけ高齢者が増加すると、これまでどおりでやっていたらサービスが行き渡らないのではないかと感じることがあります。病気であっても家で過ごしたい人たちの思いをかなえるために、インパクトのある発想の転換が必要だと思っています。

**平澤：**ケアマネジャーは「地域包括ケアシステム」と呼ばれる前から、利用者さまのご友人や地域の方など、情報を集めながら支えることに取り組んできました。これからも地域の力を活用しながら、地域とのつながりを断ち切らないようにしていきたいですね。



千駄木訪問看護ステーション 倉重 真美子 所長代理／看護師

## 東京都看護協会立ならではの訪問看護ステーションのあり方を考える

**佐川：**東京都看護協会では、訪問看護ステーションの機能強化に向け、令和4年1月「東京都看護協会立訪問看護ステーションの機能強化に係る検討委員会」を立ち上げ、検討を重ねてまいりました。

この検討会で話し合ったことと結果について、家崎事業部長から報告していただけますか。

**家崎：**検討会では日本訪問看護財団、東京都訪問看護ステーション協会など外部委員の方にも参加いただき、これまでの経過や現状分析を行いました。都内で多くの訪問看護ステーションが立ち上がっている中、東京都看護協会立の訪問看護ステーションだからこそできる事業への転換が必要だと考え、6つの基本方針を策定しました（下記表を参照）。

これまで以上に広い視野で地域に関わり、地域とともに作り上げる在宅支援、訪問看護を実現させていきたいと思っています。

**佐川：**今後、訪問看護ステーションは大きく変化します。公益社団法人東京都看護協会立の訪問看護ステーションとしてやってみたいことを皆さんにお伺いします。

**竹内：**一人ひとりの看護師がイキイキと安心して働ける場所であること。キャリアアップや育児との両立など、看護師が持っている夢を実現できるステーションにしたいですね。ほかのステーションのお手本になれるような活動なども検討していきたいです。

**倉重：**地域包括ケアシステムを構築するためには、多職種

が連携しやすい仕組みを作ることも大切です。協会がリーダーシップを取りながら、情報共有しやすいシステムやツールが作れたらいいなと、例えば医療業界のファクス好きなど、セキュリティの観点からも変えたいと思います。

**平澤：**すでに職員からは認知症カフェを開きたいとか、地域の外国人の方に向けて外国語で相談に乗る機会を作りたいなどの声が上がっています。職員のスキルを活かした事業を通じて、私たちも楽しく地域に貢献できないか考えているところです。

**佐川：**ありがとうございます。最後に、訪問看護ステーションで働く専門職としてこれからどんなことに取り組んでいきたいか、抱負をお聞かせください。

**竹内：**新規の利用者さまを獲得しながらも、スタッフが働きやすい環境の両立、訪問看護と教育ステーションとの両立など「両立」をテーマに取り組みたいです。

**倉重：**新しいことにチャレンジしたいという気持ちがある一方で、ひとりでは何もできません。スタッフの結束を強め、意見を交換しながら、みんなで東京都看護協会だからこそできること、新しいことに取り組んでいけたら。

**築瀬：**看護師の方が現場で困らないよう、作業療法士の方を増やして、リハビリ部門を確立させたいですね。

**平澤：**ケアマネジャーは横のつながりが少ないので、お互いに情報交換し合う機会を作ったり、看護師の方と連携を取る上で架け橋になればいいと思っています。

**佐川：**今後、訪問看護ステーションに対する期待はますます大きくなり、皆さんの活動の幅も広がると思います。

**一同：**新しいステーションで協会立ならではの事業に取り組んでいきましょう！

### 6つの基本方針

1. 城北事業所に設置場所及び機能を統合し、規模のメリットを活かした安定的なステーション運営を行う。
2. 経営基盤の強化を図るため、機能強化型訪問看護ステーションIの算定を目指す。
3. 東京都訪問看護教育ステーションとしての機能を今後も十全に発揮し、地域包括ケアシステムを支える訪問看護師の育成に貢献する。

4. 協会立訪問看護教育ステーションの強みを明確にし、地域における存在意義を高めるとともに、「知の拠点」としての魅力を積極的にPRしていく。
5. 地域自治体、医療機関、地域包括支援センターや地域住民との協働、多職種連携を進め、地域に必要とされるステーションとしての地位を確立する。
6. 職員がその力を十分に発揮できるよう、キャリアアップを支援する仕組みや働きやすい職場環境を整える。

※千駄木訪問看護ステーションと城北事務所は統合し、令和4年8月1日、東京都看護協会立城北看護ステーション開設



平澤 可愛 介護支援専門員（ケアマネジャー）



築瀬 孝之 理学療法士

東京都受託事業

# 東京都ナースプラザ



東京都ナースプラザ所長  
佐藤 浩子

東京都は、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、医療施設等に従事する看護職員を確保するため、「東京都ナースプラザ」を設置しています。公益社団法人東京都看護協会は運営を受託して、離職中の看護職の再就職相談やあっせん、再就職に役立つ研修、看護についての普及啓発活動を行っています。

## 事業概要

東京都内で看護業務に従事する看護職員の質・量を確保する。

### ● 就業の促進

- ・ ナースバンク事業
- ・ 看護職員地域確保支援事業
- ・ 看護師等再就業支援事業

### ● 定着の促進

- ・ 研修事業
- ・ 看護職員定着促進支援事業
- ・ プラチナナース就業継続支援事業

### ● 普及啓発の推進

- ・ 普及啓発事業

## 令和3年度の振り返り

令和3年度はコロナ禍だからこそ必要な看護職確保に、前向きに取り組んだ1年でした。

研修事業は、感染状況を鑑みて研修開催方法をオンラインにするか対面にするか四半期ごとに決定し、早めに情報提供しました。プラザの中で研修係が一番オンラインを駆使し、職員のスキルが向上しました。トピックスとしては、コロナ禍で実習経験が少ないまま臨床デビューした看護職のフォローのために、追加研修を開催したことです。

地域確保支援事業では、復職支援研修を再構築した初めての年でした。感染拡大の波に押され、研修参加者が少なかったことは残念でしたが、新しい取り組みをスタートしたことでさまざまな学びがありました。定着促進支援事業も同様で、アウトリーチ支援に参加いただいた施設は予定より少なかった一方で、地域で学びを共有して連携を図るネットワーク研修の開催を支援した際には、思った以上に多くの方にオンラインで参加いただきました。普及啓発事業では、「一日看護体験学習」を再開しました。さまざまな制約でコロナ禍以前の規模には至りませんでしたが、ご協力いただいた施設には本当に感謝の思いがたえません。ナースバンク事業では、コロナ支援登録した看護職を中心にコロナ特化求人の情報を積極的に提供し、多くの方をご紹介できました。また、ワクチン研修の開催や準備金申請の協力を通して潜在看護職に働きかけ、国民のワクチン接種推進に寄与することもできました。

新規ではプラチナナース就業継続支援事業が始まり、セミナーなどは計画どおりに開催できました。事業は始まったばかりで、まだまだ周知が必要と実感しています。1月からは看護師等再就業支援事業が追加され、今後は就業・定着奨励金を活用して、さらに看護職確保につなげていきます。

“アフターコロナ”も“ウイズコロナ”もまだ不透明で一進一退もあります。看護職への期待は高まっており、看護職確保に向けて今後も事業を進めてまいります。



## 主な取り組み

### ● ナースバンク事業

- ・ 求人求職相談の充実による就業促進
- ・ 多様な働き方を支援する取組の推進

### ● 研修事業

- ・ 就業意欲を高める研修の充実
- ・ 定着促進への研修科目・内容の充実

### ● 普及啓発事業

- ・ 一日看護体験学習実施
- ・ 「やっぱり看護が好き」情報誌発行

### ● 看護職員地域確保支援事業

- ・ 復職支援研修
- ・ 「病院体験コース」「施設体験コース」

### ● 看護職員定着促進支援事業

- ・ アウトリーチ型支援（中小病院巡回訪問）の実施
- ・ アウトリーチ研修・ネットワーク研修の開催支援

### ● プラチナナース就業継続支援事業

- ・ プラチナナース就業促進に関するセミナー・職場体験会・就職相談会の開催

### ● 看護師等再就業支援事業

- ・ 東京都ナースプラザからの情報発信強化
- ・ 就業・定着奨励金支給事業

## 令和4年度主な事業計画

### ● ナースバンク事業

### ● 研修事業

### ● 普及啓発事業

### ● 看護職員地域確保対策事業

### ● 看護職員定着促進支援事業

### ● プラチナナース就業継続支援事業

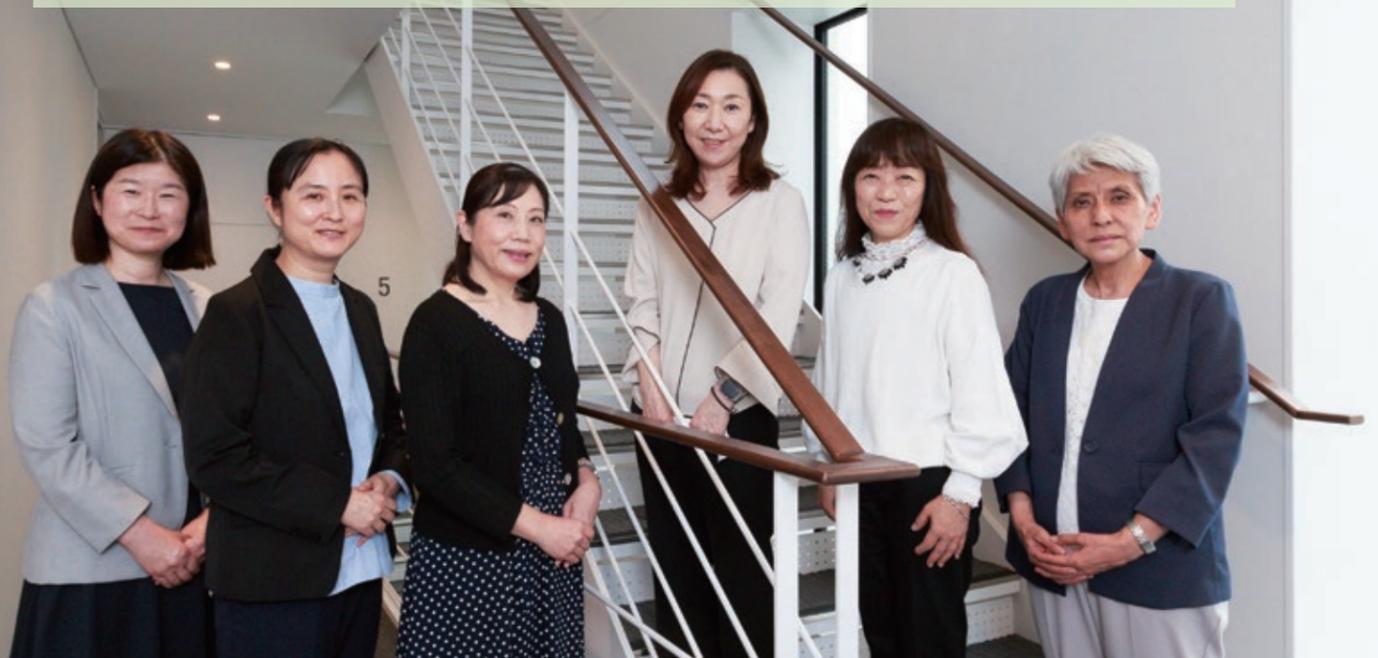
### ● 看護師等再就業支援事業



東京都ナースプラザ 座談会

## 看護職には無限の魅力ややりがいがある より多くの方に伝えることで、未来につなげる

東京都ナースプラザでは、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づく看護職の確保・定着に関する各種事業を東京都から受託し、各係が連携して取り組んでいます。看護職の就労支援をはじめ看護人材確保や看護の魅力伝える普及啓発活動など、多くの事業を展開しています。コロナ禍2年目となった令和3年度は、前年度以上に各係がさまざまな工夫を凝らしながら事業に取り組んできました。今回は令和3年度の取り組みを振り返るとともに、今後の事業展開についても意見を交わしました。

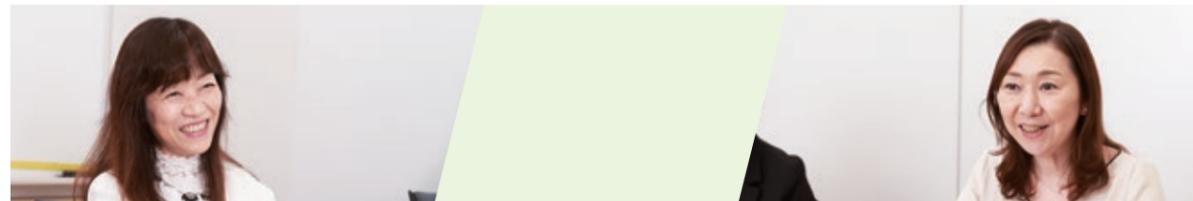


滝口 珠子 研修係長      中村 智子 プラチナナース支援係長      秋山 恭子 庶務係長      ナースバンク 増山 有希 係長      東京都ナースプラザ 佐藤 浩子 所長      看護師等確保対策事業係 浅野 京子 協力員

### コロナ対応に追われながらも 看護職確保のために奔走した1年

佐藤：まず、各係が令和3年度に事業を進めるにあたって工夫した点などをお話いただき、成果やそこから見えてきた課題があれば教えてください。

秋山：庶務係では、就業中の看護職と看護職を目指す人を対象に、2つの事業を担当しています。広報・広告事業では、年に2回発行している情報誌「やっぱり看護が好き」を通して看護職の再就職を応援すると同時に、東京都ナースプラザの知名度アップを目指しています。また、看護職を目指す中学2年生から高校生、社会人を



東京都ナースプラザ 佐藤 浩子 所長

ナースバンク 増山 有希 係長

対象に、都内の病院などの協力を得て、毎年5月と夏休みに一日看護体験学習を開催しています。

令和3年度は、公式Facebookページでの情報発信を強化するため新たに8月からSNS広告を開始したことで、閲覧数も増加し、年度末には前年比265%増となる565件の「いいね!」を獲得することができました。

令和2年度に中止になった一日看護体験学習は、感染対策を取り入れながら開催することができ、オンラインによる体験など新しい取り組みが生まれるきっかけにもなりました。

今後の課題については、SNSの普及に伴い、新しい広報への取り組み方を模索していきたいと考えています。

滝口：研修係では、離職中の看護職の再就労支援、都内中小規模施設に勤務する看護職の資質向上、定着促進に向けた研修を開催し、すべて無料で受講できます。

令和3年度は58科目124回の研修のうち46科目100回をオンラインで開催しました。対面が望ましいものについては感染対策を行いながら対面で実施し、すべての研修を中止せずに開催することができました。こうした変更については四半期ごとにホームページで案内し、計画的に受講してもらえよう工夫しました。

全体の研修への応募者数は延べ人数で6,234名、受講者数は3,819名になり、少しずつコロナ禍以前の状況に戻ってきたように思います。

中村：昨年度から新たに始まった「プラチナナース就業継続支援事業」。「プラチナナース」とは定年退職前後の看護職を指す言葉と定義して、看護職が定年後もキャリアを継続できるように支援する事業です。

令和3年度は、ナースセミナーと職場体験会、就職相談会、施設管理者向けのセミナーを実施しました。コロナ禍の影響もあり、参加状況は狙い通りとはいきませんでした。主に50代の現役看護職が受講し手応えを感じています。終了後アンケートでは、受講者の9割が定年後の就業継続の意欲が高まったと回答し、施設管理者の9割がプラチナナースを雇用したいと回答しています。気持ちの面では、働く側の看護職も、雇用する施設管理者も非常に意欲的ですが、一方でプラチナナースの加齢による身体的な変

化に配慮した職場環境づくりなどを、意識して行われているところはまだまだ少ない印象を受けました。

看護職一人ひとりが、自分自身にできることや、これから何をしたいかを定年前の早い段階から考え、明確にするとともに、施設管理者もプラチナナースを雇用する上での職場環境づくりに向けた意識改革が今後の課題だと思っています。

増山：ナースバンクでは令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い宿泊療養施設や保健所など求人施設への看護職確保を重点課題として取り組んだ1年でした。特に、ワクチン接種業務への人員確保は国全体の課題となり、国の補助金事業である就業準備金交付が始まり、看護職にとって、また看護職の就業斡旋を行うナースバンクにとって大きな動きがあった1年でした。

令和2年4月からコロナ支援者登録を開始したところ、令和3年12月の登録者数は最も多い5,218名に上りました。同時にeナースセンターの求職者数は令和3年11月には8,567名となり、令和3年度の就業把握数は3,240名と前年度の1.6倍になっています。

国の補助金事業である就業準備金はワクチン接種業務への就業及びコロナ支援者に交付されるものでしたが、申請書の配布数は東京都だけで5,947件となりました。6,000名を超える看護職が就職活動を開始し、顕在化したことは大きな成果だったと考えています。

ほかにもワクチン接種の人員確保のために、7月から11月の間に6回のワクチン接種研修を実施し、972名が受講しました。実際にナースバンクを利用したワクチン接種業務の求人は約130件、紹介者は2,477名です。令和3年度は感染拡大、看護職不足による医療のひっ迫、ワクチン接種業務の人員確保、就業準備金等、看護職には怒涛の1年になったと思います。

新型コロナウイルス感染症拡大がきっかけとなり、復職された看護職の就業継続がアフターコロナの課題だと考えています。

浅野：確保係では、看護職の復職支援、定着促進支援事業を行っています。まずアウトリーチ支援として、支援施設を就業協力員が訪問し、資質向上や人材育成、組織づくり、



秋山 恭子 庶務係長



滝口 珠子 研修係長



看護師等確保対策事業係 浅野 京子 協力員



中村 智子 プラチナナース支援係長

チーム力の向上、勤務環境の改善等に向けて相談支援などを行っています。昨年度は11施設に支援を行いました。支援施設の看護管理職に、支援の満足度についてアンケートを行ったところ87.5%の方から「満足」「概ね満足」という肯定的な評価をいただきました。その活動の中で、支援施設が主役となって地域の医療機関に働きかけるネットワーク研修の開催を支援しました。情報を共有することで解決策の理解促進や環境改善の意識向上を進め、多くの方にご参加いただきました。

また、離職した看護職員が身近な地域で復職支援研修や再就職支援相談などを受けられる仕組みを整備することで潜在看護職の就業意欲を喚起し、再就業の促進を図る看護職員地域確保支援事業も実施しています。新型コロナウイルスの感染拡大によって中止になった研修もありましたが、支援施設の協力で研修日程を追加したり、技術演習ができることをPRしたり、研修生増加に向けて取り組みました。

最終的に、病院体験コースは受講者63名のうち31名、施設体験コースは受講者11名のうち4名が就業されました。

### 東京都の補正予算を受け 新たな事業がスタート

佐藤：コロナ禍も2年目に入り、さまざまな困難に直面することもあったと思いますが、感想や心に残っていることはありますか。

秋山：一日看護体験学習は実施する方向で、コロナ対策をとりながら安全に開催できるように準備を進めました。5月はなんとか実施できたものの、その後の感染拡大を受けて中止になってしまった施設もありました。そんな中でもなんとか未来のナースを育てるため協力していただいた施設の皆さまには感謝しておりますし、少しでも実施できたことはよかったと思っています。

滝口：抗体カクテル療法が始まってからは、静脈注射に関する研修への応募が急増し、再就業への関心が高まったのではと感じています。病院実習を含む研修では、大変な状

況下でもなんとか受け入れようと病院が調整してくださり、多くのご協力をいただき、本当に感謝の1年でした。

中村：プラチナナースは50代以上の方が対象ということもあり、オンラインが苦手な方も多いのではと、ナースセミナーはすべて会場とWebの両方で実施したのですが、時間とともに皆さんだんだん慣れてくださって、Webでの参加率も増えました。一方で、感染が拡大した時期には、職場が忙しい、家族が感染したなどの理由で欠席される方が増え、現役の看護職の方に参加してもらい難しさも感じました。

増山：感染拡大により、さまざまなイベントが中止になる中、ふれあいナースバンク就職相談会はひとりでも多くの看護職を就業につなげるため開催を継続しました。来場者の予約制やオンライン出展の導入、待機ゾーンではソーシャルディスタンスの保持、映像による案内、相談時間の短縮など感染防止対策を駆使して開催しました。残念ながら外出制限もあり、参加者は減少しましたが、感染状況を見ながら安心して気軽に参加できる工夫を次年度の課題にしたいと思っています。

浅野：確保係でも、復職支援研修で筋肉注射や静脈注射の技術演習を実施していることをホームページなどでPRし、大きな反響がありました。

佐藤：コロナ禍で大きな影響を受けながらも、看護職確保に努めてきた1年でした。その中で、東京都の補正予算が生まれ、令和4年1月から再就業支援事業が追加されました。秋山さん、新規事業について教えてください。

秋山：東京都から受託した「看護職員再就業支援事業」は、看護需要の高まりを踏まえ、潜在看護職の復職を応援する新規事業です。その1つ、「情報発信強化事業」ではライフサイクルに合わせたナースプラザ事業の紹介パンフレットの作成や、eナースセンター登録者への「就業意向調査アンケート」を実施しました。また、「就業・定着奨励金事業」では、所定の研修受講後に再就業した方で、支給要件を満たした方に就業後6か月で5万円、2年間従事した場合で15万円の奨励金が支給されます。再就業支援事業の取り組みには、今後ますます事業間での連携強化が必要であり、念頭に置いて事業に取り組んでいきたいと

思います。

佐藤：東京都ナースプラザの役割がまた1つ増えたことになりますね。さらに令和4年度は新人看護職員研修についても見直しがありました。

滝口：はい。近年、新型コロナウイルス感染症の影響で新人看護職員が十分な実習をする機会がなく、看護実践能力の習得に課題があるとされています。この現状を支援したいという思いから、令和4年度新人看護職員研修は従来の3日間から7日間に拡大しました。そのうち3日間は病院で実習を行います。看護職へのシャドーイングにより、多重課題への対応や、患者や他職種とのコミュニケーションの場を観察してもらい、自身にどう活かせるかを考えていただきたいと思っています。さらに今年は、酸素療法の基本や感染症肺炎の看護など、コロナ関連の基礎研修も追加しました。利便性を考えコロナの状況にかかわらずオンラインで受講できる研修も計画しています。

### 令和4年秋には再就業応援フェアを企画 さらなる看護職確保と支援を目指して

佐藤：令和4年度の事業が始まり、すでにいろいろな動きがありますが、目標や抱負などがあれば教えてください。

中村：プラチナナース就業継続支援事業の現在の課題は、参加者を増やすことです。昨年、初めて実施して、就業中の看護職の方には、看護の知識・スキル取得といった情報は届きやすいけれど、「定年後の働き方」に関しては、そうした支援事業があること自体もまだあまり知られておらず、情報が伝わりにくく感じました。今後はインターネットを活用した広報活動や、病院や施設へ直接出向いて事業を紹介するなど、事業の浸透、認知拡大を目指したいと思います。

増山：ナースバンクとしてはやはり、アフターコロナの対応として復職した看護職の就業のきっかけづくりに力を入れていきたいです。

求職者と求人施設のコミュニケーションイベントである本来のふれあいナースバンクに戻し、参加者には多くの情

報を収集して就業の契機にしていきたいと思っています。

また、各自治体で行う就職相談会への協力や、ハローワークでの出張相談など、顔の見える相談会を実施できればと思っています。

浅野：確保係も、復職者支援研修の受講者を増やすべく、ホームページの改定やFacebookなどSNSを活用した広報活動に力を入れたいと思っています。また、アウトリーチ支援では継続して支援病院の定期訪問を行いながら、ひとりでも多くの看護職が定着して勤務できるよう、支援していけたらと思います。

佐藤：最後に、11月に再就業応援フェアとして「看護のお仕事応援フェア」の開催を予定しています。内容について、簡単に教えてください。

増山：まさに、看護職のお仕事を東京都ナースプラザが応援します。

今回のイベントでは、ふれあいナースバンク就職相談会58施設にプラチナナースの就職相談会40施設を加え、全98の病院や介護施設に参加いただく、大々的な就職相談会を計画しています。求職者にとっては東京都全域の多くの求人施設と話ができて、より多くの情報をキャッチできる機会です。また、看護技術体験や新しい医療情報の提供など、ずっと看護職を続けていただくためのさまざまなコンテンツを織り交ぜる予定です。

佐藤：現在、フェアに向けて各係が知恵を絞っているところですが、楽しみです。今日はありがとうございました。令和4年度もどうぞよろしくお願いいたします。



### ■ 東京都入退院時連携強化研修

事業目的	都内入院医療機関及び地域の医療・介護関係者に対し、入院前から退院後の在宅療養生活を見据え、相互に連携・協働して入退院支援に取り組む人材を養成するための研修を実施し、入退院時における入院医療機関と地域の医療・介護関係者との連携・情報共有の一層の強化を図り、高齢者等が安心して在宅療養を受けることができる環境を整備すること。
開催実績	A日程：9月6日～10月14日 修了者134名 管理監督職29名 合計163名 B日程：10月9日～11月15日 修了者133名 管理監督職27名 合計160名 C日程：11月7日～12月14日 修了者132名 管理監督職33名 合計165名 入退院時連携強化事業フォローアップ研修：令和4年1月25日 受講者数95名 在宅療養支援窓口取組推進研修：令和4年2月25日 受講者数40名

### ■ 東京都新人看護職員研修責任者等研修

事業目的	新人看護職員研修ガイドライン（平成26年2月24日付け厚生労働省「新人看護職員研修ガイドラインの見直しに関する検討会報告書」）に基づく臨床研修の実施内容・方法等の普及を図るため、研修責任者及び教育担当者に対する研修を企画し実施する。
開催実績	令和3年度東京都新人看護職員教育担当者研修実施状況 第1回：7月5日 受講者145名 第2回：7月8日 受講者130名 第3回：10月25日 受講者144名 令和3年度東京都新人看護職員教育担当者研修：8月13日 受講者123名

### ■ 東京都訪問看護人材確保事業

事業目的	地域包括ケアシステムの構築に向けて、訪問看護サービスの安定的な供給を促進するため、看護職等に訪問看護の実際や重要性、その魅力をPRし、新卒訪問看護師の確保等、訪問看護への人材の供給を促し、今後増加が見込まれる在宅療養高齢者の在宅看護ニーズに対応することを目的とする。
開催実績	講演会「はじめてみよう！訪問看護」11月13日 Web開催ライブ配信 受講者194名 講演会冊子の作成配布 300部作成 リーフレット作成配布 10,400部配布

### ■ 東京都島しょ看護職員定着促進事業

事業目的	島しょ地域において働く看護職を対象に出張研修や一時的に島を離れる際の短期代替看護職員派遣を実施することにより、島しょ地域に勤務する看護職員の働きやすい環境を整え、定着を促進することを目的とする。
事業実績	集合研修1回、オンライン研修8回 受講者合計158名 短期代替看護職員派遣回数7回 派遣人数7名 派遣延べ日数45日

### ■ 東京都助産師定着促進事業

事業目的	助産師就業の偏在把握や助産師出向の検討等を行い、助産師実践能力の強化、助産学生の実習施設等の確保及び助産師就業の偏在是正を図ることを目的とする。
事業実績	協議会開催：2回 6月28日、令和4年2月28日 出向希望調査：都内205施設にチラシ郵送 聞き取り調査：東京都アンケート結果から該当する施設に電話聞き取り調査 28施設 説明会開催：5月25日 Webライブ開催 参加施設14施設 参加者20名 マッチング件数：5件 出向研修：5回開催 報告会開催：35名参加

### ■ 東京都保健所支援拠点等における新型コロナウイルス感染症対策関連業務従事職員に対する育成研修等の実施事業

事業目的	都は、新型コロナウイルス感染症対策関連業務に従事する会計年度任用職員を保健所支援拠点等に配置し、新型コロナウイルス感染症対策により業務負担が増大している保健所の支援を行っている。都が採用した感染症対応従事職員が、積極的疫学調査をはじめとする感染症対応に係る保健所支援業務に必要な知識を習得し、職務を遂行することができるよう、研修を実施する等して人材を育成することを目的とする。
開催実績	東京都会計年度任用職員（トレーサー班）職員育成研修・オンデマンド研修 第1回：4月8、9日 受講者43名 第2回：5月11、12日 受講者29名 第3回：7月5、6日 受講者22名（うち2名オンデマンド研修） 第4回：11月4、5日 受講者14名（うち2名オンデマンド研修） 感染症対応従事職員に対するアドバイザーの派遣 ・実施期間：7月21日～8月11日、延べ5日間 ・派遣場所：東京都保健所支援センター（東京都健康安全研究センター内） ・派遣頻度：週2回 ・派遣人数：延べ5名

### ■ 東京都新型コロナウイルス感染症防止対策のための専門的相談・支援事業

事業目的	障害者支援施設等において利用者が新型コロナウイルス感染症に感染し、軽症者等に該当すると医師が判断した場合には施設内で療養することも想定されているため、障害者支援施設等が施設内での利用者の療養に備え必要な準備や感染症対策を行うに当たり、感染防止対策に係る専門的な助言等を受けられる体制を確保することを目的とする。
事業実績	1 相談・支援事業 9月9日 オンライン研修 174施設参加 9月9日 公開講座 125施設 162名参加 9月10日～令和4年3月31日 オンデマンド講義 37施設視聴 12月15日 オンライン研修2（Web/Live） 145施設参加 2 取組支援事業 巡回訪問：アドバイザーによる施設訪問（オンライン訪問含む） 28施設

### ■ 東京都看護師等キャリアアップ支援事業

事業目的	医療機関における特定行為研修等に関する理解を深めることにより、特定行為研修を修了した看護師等の活躍を促進し、チーム医療をより一層推進するとともに、専門性の高い看護師等のキャリアアップを支援し、勤務意欲の向上を図ることにより、看護師等の離職を防止し、定着を促進することを目的とする。
事業実績	講演会（シンポジウム）等の実施 第1回：10月29日 参加施設92施設 参加者数145名 第2回：12月20日 参加施設77施設 参加者数133名 第3回：令和4年2月26日 参加施設59施設 参加者数93名

## 職能委員会報告

### ■ 保健師職能委員会

中堅期保健師コンサルテーションプログラムは、3日間の短縮版で実施した。アンケート結果からも人材育成を図る上で必要な研修としての位置づけが期待され、自己評価、目標達成度は高かった。

産業保健師の人材育成を目的とした研修や勉強会は、コロナ禍でも一定数の参加があり、感染症対策やワクチン接種など、時宜にかなったテーマで効果があった。特に、勉強会では、意見交換がタイムリーに行われたことで問題の共有が図れ、学び合える機会として大きな役割を成した。

三職能合同交流集会は、Web開催にすることで感染拡大する中でも目標以上の参加があり活発な意見交換が行われ、アンケートでの満足度も高かった。患者や住民に真摯に向き合う看護職の活動の実際を共有することができた。

すべての看護職を対象にした「看護職のためのセルフ・コンパッション」研修は看護職のメンタルヘルスに関するセルフケア能力の向上やラインケアとして引き続き重要なテーマであることから、令和4年度の三職能合同交流集会のテーマとしていきたい。

### ■ 助産師職能委員会

今年度、助産師職能委員会主催で開催した研修は「新生児のフィジカルアセスメント～正常からの逸脱がわかる～」のテーマで行い、参加者は10名であった。参加者は少なかったが、臨床経験3年以下の助産師・看護師に必要な知識に焦点を当てた内容と、新生児のフィジカルアセスメント力の向上をねらいとしたことで、参加者の満足度は高かった。

この研修の目標の一つに若手が抱える日々の業務での疑問や困難に対応することがある。具体的な場面を受講生同士が話し、共感し合い、解決策を時にファシリテーターが教授することで目標を達成することができたと考える。さらにグループワークを通して、新生児ケアだけでなく、臨床現場で抱えている疑問や悩み、困っていることを共有し、助産師活動を推進するためのネットワークづくりの場とすることができたと考える。

### ■ 看護師職能委員会領域Ⅰ

コロナ禍で在宅・施設や病院において不活動性によるフレイル状態（身体的、精神・心理的、社会的）に至るケースの増加に対して、看護的視点で予防につなげることを目的とした研修会を行った。フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームについて、栄養、運動、看護師の視点と多職種との連携などの内容でWeb開催した。

参加者からは、「多職種で関わっていくことの重要性を再認識した」「患者のそばにいる看護師だからできる気づきを共有し、自分からも積極的に発信していこうと思いました」「参考になるリーフレット、本や動画などを知ることもできた。スタッフと共有し、日頃のケアに何か取り入れたい」「自身の生活にも取り入れて実施したい」などおおむね好評を得た。

### ■ 看護師職能委員会領域Ⅱ

10月25日の在宅・高齢者ケア施設の管理者交流会で、「科学的介護情報システムLIFE」について、2名の講師を招きご講義いただいた。「LIFE」のシステム等についての理解は不十分であったが、グループワークでは参加者27名がそれぞれの課題を共有し、しっかり話し合っていた。さらなる「LIFE」の理解を深めるために、令和4年2月12日ステップ2研修を企画した。参加者は71名で、講義内容のアンケート結果では、理解度、満足度、活用度、今後の実践につながる、すべての項目で高評価を得た。今後、本研修は、看護・介護連携として介護職にもアプローチしていく。

## 委員会報告

### ■ 教育委員会

令和3年度は97研修を計画。定員は研修室の収容人数の50%とし、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みながら感染対策を徹底し、Zoomによる遠隔講義体制も整えた。結果、計画した97研修すべてを実施することができた。参加実績は、定員数4,489名に対し、応募者数は3,380名、応募率75.3%であった。また、受講決定者数3,261名に対して出席者数は2,937名であった。

開催については、感染対策の徹底と開催方法の体制整備により中止することなく開催できる体制が整った。今後は受講者数の増加を図るための対策を考えていく。

### ■ 学術推進委員会

看護研究学会開催実績

テーマ：危機的状況の経験から何を学び何を活かすか？～ COVID-19からの学びと人材育成～

開始期日：令和4年1月15日（土）9：00～16：00

参加人数：当日Web視聴150名 オンデマンド視聴参加：363名

研究発表：口演16題、示説発表39題

ビデオメッセージ：教育評論家 尾木 直樹（尾木ママ）「危機的状況の経験から未来志向の人材育成について」

シンポジウムは、「未来志向の人材育成」を柱に3名のシンポジストが登場。視聴者アンケートから、「満足できた」「とても満足できた」の回答は96%と高く、コロナ禍で困難を抱えている中でタイムリーな内容と評価した。研究発表は、口演16題をテーマ別に4群に分け実施した。アンケートから、「Webやオンデマンド視聴は場所を問わず参加しやすい」「今後もこの方法で継続してほしい」など、Web開催を好意的に捉えたものが多かった。

学会全体の満足度は、「満足」「とても満足」は96.4%、「学会参加を同僚にすすめたい」は93.7%と好評であった。

### ■ 医療安全委員会

医療安全管理者養成研修 令和3年度は日本看護協会主催のインターネット配信研修

〔開催実績〕

第1回 9月18日 受講者：79名 ＊リモート開催

第2回 10月16日 受講者：78名

第3回 10月27日 受講者：79名

医療安全管理者養成研修終了後フォローアップ研修 令和4年3月5日 受講者：39名

オンデマンド受講から5時間の集合研修となった際、受講者の意識の切り替えが難しいと感じた。35時間の講義の中の「安全文化の醸成」についてディスカッションがなされないと、自分たちが何を求められよう実践すべきなのか気づくことが難しい。今回の開催形式は、小さい組織などから広く応募が可能となったがその反面、医療安全管理者となるべき認識が薄い受講者も見受けられ、受講意欲やモチベーションに差が生じていたことは否めず演習の参加態度や理解のスピードにも影響していた。

以上のことから、令和4年度の医療安全管理者養成研修の開催方法は、東京都看護協会企画・運営を行い、開催形式は集合研修を基本とすると決定した。

### ■ 社会経済福祉委員会

6月20日 卒煙サポーター研修 受講者数：50名

7月17日 看護補助者のための研修 第1回 受講者数：66名

7月31日 看護補助者のための研修 第2回 受講者数：39名

10月 2日 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 第1回 受講者数：75名

11月 6日 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 第2回 受講者数：83名

「卒煙サポーター研修」は看護職のタバコ対策としてサポーターの育成は必要であり、例年コンスタントに受講希望者がいることから継続実施する。

「看護補助者のための研修」は3年目となり、参加者の満足度も高く、看護職と東京都の協働推進研修のOff-the-Job Trainingとして有益であると考え。また、看護補助者の活用推進のための看護管理者研修の補助的役割としても重要である。

「看護補助者活用推進のための看護管理者研修」は補助体制加算に係る研修でありニーズが非常に高く、グループワークも含め好評を得ている。開催した事業はすべて受講者の評価も高評価であり、次年度も継続実施する。

## ■ 看護制度委員会

10月6日 感染症対策の基本 受講者：49名  
令和4年2月2日 進学説明会 「看護師学校養成所2年課程進学に向けての説明会」 受講者：14名 相談者：8名

研修会及び情報交換会については、「感染症対策」のテーマで研修会を開催し、感染症専門看護師により、ゾーニングや標準予防策の実際の研修会の後、グループワークによる情報交換会を行った。研修会の理解度は97%、満足度については研修会、情報交換会とも90%以上であり、理解度、満足度ともに高いことから、開催の目的は達成できた。

進学説明会は、受講者14名、うち相談者は8名であった。終了後アンケートでは、受講後「進学を希望する」と回答したのは100%であり、満足度も100%であったことから、進学説明会開催の目的は達成できた。受講後の満足度や進学の希望が高いことから、受講者の進学やモチベーションアップの支援につながったと考える。

## ■ 感染対策委員会

感染対策指導者養成研修「感染対策マネージャー養成研修」実施  
9月19日～11月23日 受講者：212名

定員100名のところ267名の応募があり212名を受講決定した。最終的に180名が修了した。単元ごとにテストを実施することで理解度を確認しながら視聴を進めてもらうことができた。200床以下で感染管理認定看護師等がない施設を対象としており、院内で感染管理を担当している管理者が多く参加し、26時間をかけて系統的に学べたことで、感染管理に関して意欲や自信を持つことができたという受講生が多かった。

本研修は、寄附金を財源として2年間実施。研修の有用性を東京都に説明し、東京都における感染症対策として必要であると認められ、令和4年度は東京都の受託事業として実施することとなった。

都内の医療機関の半数以上が200床以下である。多くの施設で感染管理認定看護師等が配置されていないことが多い。感染管理認定看護師等がいなくても、正しい知識と判断力を身につけた看護職の育成を継続していくことが現在のコロナ禍においては重要なことである。

## ■ 災害対策委員会

### 【災害支援ナース養成・更新研修（Web/Live研修）】

災害支援ナース養成研修	7月 2日	新規登録者：62名	災害支援ナース更新研修Ⅱ	11月26日	更新者：21名
	11月27日	新規登録者：81名		12月18日	更新者：20名
災害支援ナース更新研修Ⅰ	7月 3日	更新者：48名	災害支援ナース更新研修Ⅲ	10月30日	更新者：36名
	10月29日	更新者：55名		12月17日	更新者：32名

### 【管理者向け災害研修】

9月25日 テーマ：東日本大震災から10年～今、看護管理者に伝えたいこと～

新型コロナウイルス感染症の影響で、集合研修が実施できていないが、Zoomのほうが参加しやすいという受講者も多かった。しかし、災害支援ナースは被災地で初めて会う人ともコミュニケーションを取りながら活動する必要があるため、今後はできるだけ集合研修を実施したい。

今年度は東日本大震災から10年の節目ということで、管理者向け災害研修に福島県の看護部長の講演を企画できたことは良かった。災害を風化させず、常に防災意識を持ち続けてもらうためにも、管理者向けの研修は引き続き開催していく必要がある。

## ■ 広報委員会

会報 看護とうきょう発行 133号 9月30日 46,376部 / 134号 令和4年3月16日 45,666部

132号から掲載を開始した地区支部活動は、133号からは各支部1ページに掲載スペースを増やし地域からの情報発信を強化することができた。Webサイトへも掲載することで地区支部活動情報発信の強化にもつながった。地区支部ページを設けたことで、他施設の活動や取り組みを知る機会となり、地区支部からも好評を得ることができた。コロナ禍で交流も難しいことや新型コロナウイルス感染拡大の中、実施した感染対策関連事業や臨床現場の現状等について、会員へ情報発信することができた。

## ■ 地域包括ケア委員会

新型コロナウイルス感染症拡大防止を含め、感染により顕在化したさまざまな課題から活動計画を立て実行した。

- ・中間活動報告会 10月31日
- ・活動報告会（年度）、講演会 令和4年2月25日（オンライン開催）  
講演会テーマ「看護の視点からの第8次医療計画、地域医療構想策定に向けて」  
講師 公益社団法人日本看護協会常任理事 吉川 久美子 氏

地域包括ケア委員会は、それぞれの地域で特性や課題を見出し活動している。その活動は看看連携、多職種連携などを通じて認知されつつあり、地域包括ケアの推進に寄与していると考える。看護協会地域包括ケア委員会がさらに地域で認知され、何ができる（してくれる）委員会なのかを明確にして活動することが課題である。

## ■ 子育て支援委員会

- ・プレファミリー講座 開催12回 参加者：552組

Web/Liveによる双方向性の講座を目指した。受講者の満足度は「大変満足」「まあまあ満足」が大半を占めた。会場への移動がなく、パートナーと時間をともにして受講できることへの評価が高かった。申込定員を11月以降70組に増やした。定員を増やしても欠席率が増加することはなかった。Web/Liveによる開催であったため、より参加しやすい状況であったことが推察される。

- ・すくすく広場 開催4回 参加者：51組

新型コロナウイルス感染拡大状況にあって外出する機会が減り、親同士の交流機会も少なくなっている中、Webでの開催であっても参加できることはうれしいとの高い評価を得られた。

- ・学習会 参加者：25名

子育てに関連した看護職者を対象とした学習会として企画した。講演では新たな知見が得られ、実践に活かせる内容であったことから受講者の満足度も高かった。参加率も96.2%となった。

- ・出前授業 開催5回 参加者総数：608名
- ・メール相談 2か月間で3件

## ■ 看護学生学会ワーキンググループ

本年度も新型コロナウイルス感染症の蔓延及び会場の改修工事のためオンデマンド開催となった。参加募集は看護専門学校に加え看護系大学にも実施要項を配布、参加校の増加を図った。演題募集については、看護系学校の実習状況により応募数の減少が懸念されたため、応募期間の延長、各学校への直接応募依頼を実施した。また、学生の学会参加への動機づけとして、学校紹介のコーナーを新設した。学生はコロナ禍において大変困難な学習環境に置かれている。このような中で、看護に関する情報の取り扱い方や活用について知識を得ることができる本学会開催は大変有意義な機会となった。

## ■ 認定看護管理者教育課程・教育運営委員会

ファーストレベル第1回	5月17日～	6月18日	受講者 61名	修了者61名
ファーストレベル第2回	11月 4日～	12月10日	応募者169名	受講者72名 修了者71名
ファーストレベル第3回	12月15日～	2月 3日	応募者 92名	受講者74名 修了者73名
セカンドレベル第1回	8月17日～	10月29日	応募者 48名	受講者45名 修了者45名
サードレベル	6月21日～	10月15日	応募者 25名	受講者25名 修了者25名

各施設における看護管理者育成に向けた教育への期待が高いことが、応募者数の増加につながっている。研修開催方法としてハイブリッドを活用することにより新型コロナウイルス感染症の感染状況においても、応募者数の減少はない。全課程を計画通り実施できたことは、会員サービスの上でも重要である。

## 東部地区支部

足立区 荒川区 江戸川区 葛飾区 江東区 墨田区



実績	(1) 地区支部研修会 参加者合計104名 6月11日 「食べる」を支援する～嚥下の評価と介助のコツ～ 7月 9日 認知症患者への対応方法を学ぶ 9月11日 高齢者のスキンケア 10月 8日 エンドオブ・ライフ・ケア～患者の意志決定を支える～ (2) 看護研究実践報告会 令和4年1月22日 発表数5演題 参加者31名 (3) まちの保健室 11月27日 会場：パサージュ西新井 参加延べ32名 内容：血圧測定、手洗い講習 等 (4) 地域医療構想情報交流会 7月21日、12月15日 (5) 地域医療構想在宅ワーキング 12月17日
成果	地区支部研修会は、令和3年度は感染予防を実施しながら集合・対面で4回実施、計104名が参加した。研修ごとにアンケートで評価を実施し、結果からも研修内容は好評であったことが示唆された。また、アンケートの収集・集計はオンラインを活用することで、委員の活動時間の効率化につながった。看護研究実践報告会はオンライン開催となった。令和元年度（令和2年度は中止）と比較して参加者は微増した。地区支部の活動報告は紙媒体ではなくホームページに掲載することで、タイムリーな情報発信が可能になった。まちの保健室では、延べ32名の方にご参加いただき、住民の中でも親子連れの方は手指衛生への興味関心が高く、親子で一緒に行くことで手洗いの方法や手指衛生の重要性を再認識する機会につながった。

## 西部地区支部

板橋区 北区 新宿区 杉並区 豊島区 中野区 練馬区



実績	(1) 地区支部研修 第1回 7月 5日 急変時のフィジカル・アセスメント 参加者39名 第2回 8月 7日 呼吸器のフィジカル・アセスメント 参加者45名 第3回 10月 4日 運動系のフィジカル・アセスメント 参加者27名 第4回 11月 8日 高齢者のフィジカル・アセスメント 参加者31名 第5回 令和4年 1月29日 循環器のフィジカル・アセスメント 参加者30名 第6回 令和4年 3月19日 循環器のフィジカル・アセスメント ※第5回研修のアーカイブ配信 会員のみ対象 申込者56名 (2) 東京マラソン2021医療班への看護師派遣 令和4年3月6日 4名看護師派遣
成果	地区支部研修「フィジカル・アセスメント」は非常にわかりやすく、翌日から現場で実践可能な内容となっており、病院、介護施設他、在宅等においても看護実践の基礎知識を得ることができる。参加者の多くは経験のある看護職が多く、後輩指導及び自身の学び直しの機会として参加している印象を受けた。シリーズ化していることで毎回参加している参加者も見受けられた。また、研修では非会員への入会促進及び声かけを積極的に行った。

## 南部地区支部

大田区 品川区 渋谷区 世田谷区 目黒区



実績	(1) 地区支部研修 7月 9日 メンタルサポート 参加者22名 10月 9日 心電図の基礎 参加者22名 10月29日 看護に活かす心電図 参加者35名 11月12日 高齢者の意思決定支援 参加者17名 (2) 地域住民の健康支援 まちの保健室 対象：学童保育児童 「手洗い教室」の開催 第1回 11月27日 渋谷区神宮前小学校放課後クラブ 参加者9名 第2回 12月 4日 目黒区油面住区センター児童館学童保育クラブ 参加者17名
成果	地区支部研修では、病院・施設等で研修体制・Web研修体制が整っているとは限らず、自施設での研修体制が整備されている場合であっても、シフトの状況等により参加できない現状がある。実施した研修は自施設で計画されていない、または興味のあるテーマであったことが考えられ、参加者の満足度は高かった。学習意欲の高い看護職がいること、継続研修が必要とされていると評価できる。地域住民の健康維持活動では、学童保育児童を対象とした「手洗い教室」を実施した。実施時期が冬季であり、コロナ流行第6波到来前に開催できたことは有用であったと考えられる。学童が興味を持ってくれたこと、ブラックライトで洗い残しを目視できたこと、また塗り絵をすることで、正しい手洗いの行動変容につなげることができたと考えられる。

## 中部地区支部

台東区 千代田区 中央区 文京区 港区 大島町 利島村 新島村 神津島村 三宅村 御蔵島村 八丈町 青ヶ島村 小笠原村



実績	地区支部研修 第1回 6月12日 心電図ベーシックコース 参加者32名 第2回 7月10日 家族支援看護 参加者26名 第3回 9月11日 災害支援（トリアージ研修） 参加者22名 第4回 10月16日 心電図 ベーシックコース 参加者39名 第5回 11月27日 認知症看護 参加者37名
成果	地区支部研修で取り上げたテーマは、医療・看護の動向から考慮し、臨床実践の現場でのニーズが高いものを取り上げて企画した。すべての研修において、アンケートの結果では、参加者の90%以上が「研修の内容を理解できた」「実践で活用できる」「研修の方法は適切だった」等、概ね高評価であり、研修の目的は達成できたと考える。研修方法についても、対面式で行うことで臨場感があり、満足にもつながっているとの意見が聞かれた。今後もよりニーズの高い分野などに目を向け必要な研修を提供し、看護師の学びたいという思いに応えるとともに地区支部の看護の質の向上に寄与していきたいと考える。広報活動として、Webサイトや会報「看護とうきょう」への掲載は、地区支部の施設の紹介や、さまざまな課題に対する情報提供となり、興味を持って閲覧されている。地区支部活動について周知することは重要であり、有効であると考えている。

## 多摩北地区支部

昭島市 あきる野市 青梅市 清瀬市 国立市 国分寺市 小平市 立川市 西東京市 羽村市 東久留米市 東村山市 東大和市 福生市 武蔵村山市 奥多摩町 日の出町 瑞穂町 檜原村



実績	(1) 地区支部研修 認知症看護・基礎編 令和4年1月8日 広報委員会 参加者20名 (2) 協会事業協力 東京マラソン2021医療班への看護師派遣 令和4年3月6日 1名看護師派遣
成果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、地区支部研修、地域活動が思うように開催できなかったが、そのような中、小規模ではあるが感染対策をしっかりと行い対面研修を1講座行うことができた。「認知症看護」は昨年希望があった講座であったため、地区支部で活躍している認定看護師へ講師依頼し、実践を交えた講義内容であった。参加人数は20名であったが有意義な内容であった。広報活動では地区支部ホームページを2回更新した。地区支部での委員活動の状況などを会員へ知ってもらえた。また、協会会報へ施設紹介を掲載した。療育医療の紹介はとても心が温まる内容で病院とは違う状況を知る機会となった。

## 多摩南地区支部

稲城市 小金井市 狛江市 多摩市 調布市 八王子市 日野市 府中市 町田市 三鷹市 武蔵野市



実績	地区支部研修 オンデマンド研修「地域包括ケア」 令和4年2月18日から27日まで配信 申込者69名、受講者68名（会員）、1名（非会員） 視聴実績53名
成果	オンデマンド研修について、東京都看護協会地区支部総会通知に研修チラシ、PDFにして地区支部役員へ配布、申込方法は東京都看護協会Webサイトとして周知した。申込方法がモバイル端末等を活用でき、簡易であった。また、内容も病院勤務者数が多い会員のニーズに合致していた。

会員数 (令和4年3月31日現在)

47,596名

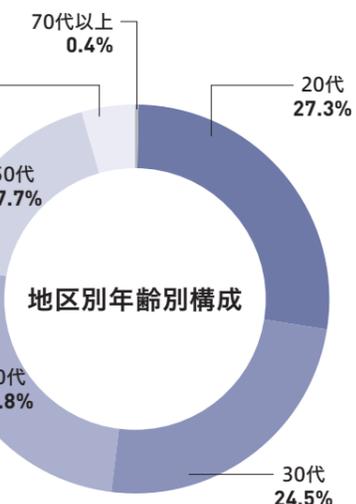
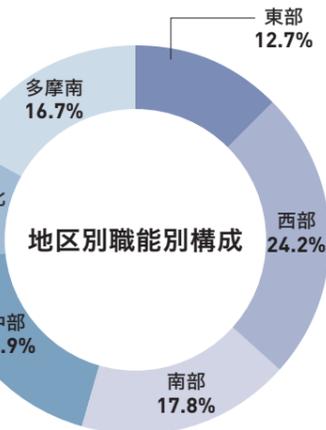
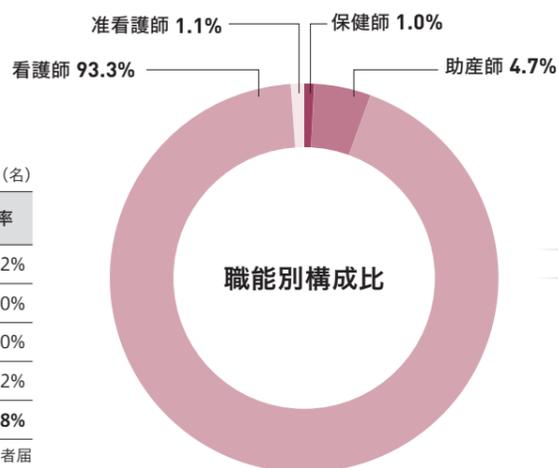
会員数の推移



職能別会員数 (令和4年3月31日現在)

職能	性別		合計	東京都内 就業者数*	入会率
	女	男			
保健師	435	19	454	4,464	10.2%
助産師	2,246	0	2,246	4,322	52.0%
看護師	41,091	3,304	44,395	120,049	37.0%
准看護師	445	56	501	12,063	4.2%
総計	44,217	3,379	47,596	140,898	33.8%

\*就業者数は令和2年12月31日現在の「東京都における看護師等業務従事者届集計報告」による。



地区別職能別構成 (令和4年3月31日現在)

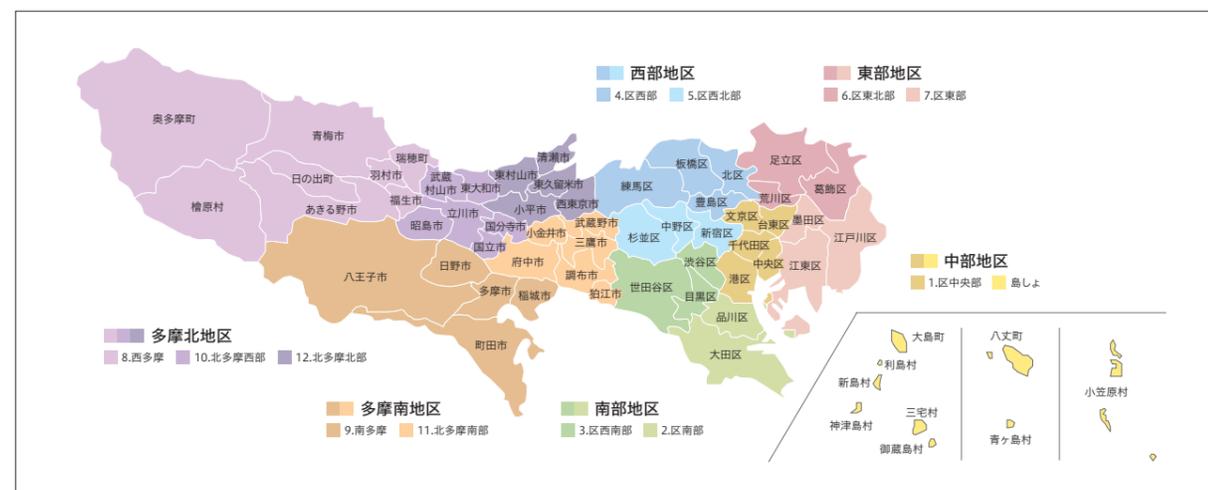
地区	保健師	助産師	看護師	准看護師	会員数	就業者数*	地区 入会率
東部	67	238	5,396	111	5,812	21,134	27.5%
西部	104	589	10,312	82	11,087	30,188	36.7%
南部	117	474	7,448	99	8,138	23,901	34.0%
中部	63	398	8,146	25	8,632	22,036	39.2%
多摩北	36	146	4,183	86	4,451	18,127	24.6%
多摩南	48	331	7,156	80	7,615	25,512	29.8%
総計	435	2,176	42,641	483	45,735	140,898	32.5%

※令和3年度総会員数47,596名のうち、退会・他県移動等会員数1,861名は除く。  
\*就業者数は令和2年12月31日現在の「東京都における看護師等業務従事者届集計報告」による。

地区別年齢別構成 (令和4年3月31日現在)

地区	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上	会員 数	平均 年齢
東部	1,400	1,386	1,632	1,107	264	23	5,812	40.35歳
西部	3,121	2,915	2,620	1,826	541	64	11,087	39.17歳
南部	2,067	2,145	2,181	1,382	327	36	8,138	39.48歳
中部	3,236	2,043	1,910	1,205	223	15	8,632	36.83歳
多摩北	711	921	1,378	1,145	275	21	4,451	43.37歳
多摩南	1,945	1,815	2,067	1,431	328	29	7,615	39.95歳
総計	12,480	11,225	11,788	8,096	1,958	188	45,735	39.47歳

※令和3年度総会員数47,596名のうち、退会・他県移動等会員数1,861名は除く。



地区支部別会員数 (令和4年3月31日現在)

施設	東部		西部		南部		中部		多摩北		多摩南		合計	
	施設	会員	施設	会員	施設	会員	施設	会員	施設	会員	施設	会員	施設	会員
合計	1,439	5,812	2,110	11,087	1,497	8,138	887	8,632	1,011	4,451	1,294	7,615	8,238	45,735
病院	113	4,358	111	8,679	84	6,440	47	7,572	83	3,329	105	6,234	543	36,612
診療所	33	59	47	128	35	71	52	109	27	58	33	67	227	492
助産所	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2
保健所・保健センター	3	4	0	0	1	1	1	1	2	2	3	5	10	13
省庁・地方自治体	4	4	5	9	3	6	6	8	2	4	4	4	24	35
検(健)診センター等	0	0	2	22	1	1	2	2	0	0	2	2	7	27
企業等の健康管理部門	1	1	4	6	6	32	26	40	4	5	3	5	44	89
訪問看護ステーション	36	72	56	126	38	70	22	63	47	93	47	106	246	530
在宅介護支援センター	0	0	3	4	3	4	2	2	3	3	4	4	15	17
介護老人福祉施設	6	7	8	13	1	2	3	4	4	6	2	3	24	35
介護老人保健施設	9	17	10	25	2	2	2	16	13	26	9	16	45	102
グループホーム等	0	0	6	7	1	1	3	5	1	1	8	11	19	25
その他の居宅サービス	4	6	3	6	2	2	1	2	2	2	1	1	13	19
その他の社会福祉施設	3	3	5	6	1	4	1	12	7	23	3	5	20	53
看護系教育研究機関	9	55	26	191	18	181	19	66	6	87	12	94	90	674
その他	11	19	16	57	16	36	32	62	4	6	2	2	81	182
個人	1,207	1,207	1,807	1,807	1,285	1,285	668	668	806	806	1,055	1,055	6,828	6,828

※総会員数の中には、他県よりの移動者351名が含まれる。  
※この他に退会・他県への移動等の会員数が1,861名あり、これを含めると総会員数は47,596名となる。

<b>要望日程</b>	令和3年 9月 1日	都議会自民党
	9月 1日	都議会公明党
	9月 2日	都議会立憲民主党
	9月 6日	東京都福祉保健局長
	9月 6日	東京都医療政策部長
	9月 6日	東京都教育長
	9月 7日	都民ファーストの会東京都議団
	10月14日	日本共産党都議団
	11月11日	東京都知事
	11月19日	自由民主党東京都支部連合会

- 要望事項**
1. ポストコロナを見据えた対策について
  2. 看護職の確保・定着推進及び養成と教育について
  3. 災害発生時の連携及び支援について

## 1. ポストコロナを見据えた対策について

### (1) コロナ禍における看護職の処遇改善について

看護職はその職に対し常に高い使命感と倫理観を持ち、日々の勤務を全うしているが、一方では様々な理由で多くの人が離職していることも現実である。

看護職として誇りをもって働くことに相応しい処遇や手当が措置され、報われていると実感できる処遇を図られたい。

あわせて看護職などの処遇改善のため、医療機関などに対する経営支援について一層の充実を図られたい。

### (2) 看護職に対する感染症対策の教育の充実

今回、200床未満の医療機関や介護関連施設などでは新型コロナウイルス感染症への感染を制御する必要性が改めて確認された。このため看護管理や感染対策など感染制御に関して専門性の高い教育を受けた看護職の養成を促進し、配置を義務付けるなど感染対策の一層の強化を図られたい。

### (3) 感染症対策部署の保健師定数の増加と区市町村に所属する保健師への教育の充実

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、保健所では感染症対策以外の保健師が兼務で対応に当たるなど、体制の逼迫が深刻化している。

政府は昨年末、感染症対策を専門で担当する保健師を現在の1.5倍に増やせるよう自治体への財政支援を拡充する方針を

固めた。この政府方針のもと感染症対策の保健師の定数の増加を確実に実行されるよう対応されたい。

また、区市町村に所属する行政保健師は感染症対策に直接的に対応していない場合もあり、経験がないこともあるため新たに感染症教育の充実を支援されたい。

### (4) 自殺対策の充実と従事する看護職の人材確保

新型コロナウイルス感染症の拡大により、自殺者数は12か月連続で増加し、特に女性が大幅に増えるなど深刻な状況が続いている。

働く人や社会から孤立した人の自殺対策が必要であり、そうした自殺対策の充実とともに、自殺対策に従事する保健師・産業保健師・産業保健分野の看護職の人材確保を図られたい。

### (5) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を支える看護職への人材育成

新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛などの社会環境の変化は様々な不安やストレスの要因となっており、特に子育て中の親子が不安や悩みを深め、深刻化している。

こうしたことから、地域における妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援や、支援を必要とする子供や家庭への支援を充実するため、子育て支援を支える看護職への人材の育成を図られたい。

## 2. 看護職の確保・定着推進及び養成と教育について

### (1) 看護基礎教育4年制化について

医療の高度化、地域完結型医療へ転換される中で、今後、看護職はより広範で高い能力が求められ、また役割も多様化している。

そうした中、教育内容の拡充は時代の要請であるにもかかわらず、令和4年改正予定のカリキュラムでは修業年限は据え置かれたままである。

限られた時間において教育内容の増加は実習時間の短縮を意味するが、他方現場との乖離は直接新人の早期離職に影響を及ぼす。このため医療を支える看護職はより広く深い学びが欠かせず、修業年限の延長は必須である。

ぜひとも看護基礎教育4年制化の実現を図られたい。

### (2) 准看護師養成停止について

准看護師制度での教育内容は今日の医療に対応し、多職種と協働するなどの現状に対して不十分である。安全な医療の確保の観点から准看護師養成を停止し、看護師への移行に力をいれるよう働きかけられたい。

### (3) 医療的ケア児を支援するための看護職などの配置と教育について

令和3年9月から施行される「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」により、医療的ケア児とその家族が適切な支援を受けることができるようサポート体制や教育の

充実が図られることとなった。

このため、保育所や認定こども園などの保育を行う施設、学校（小学校、中学校、高等学校、特別支援学級など）及び放課後児童健全育成事業において常勤の看護職を配置するとともに看護教諭や保育士に対する教育の充実を図られたい。

### (4) 潜在看護師活用の体制整備とプラチナナース活用に向けた支援

今回、新型コロナウイルス感染症関連の業務の必要性が高まった結果、潜在看護職を掘り起こし、その後就業に繋がったケースが多くみられ、潜在看護師が有する能力やスキルに応じて活躍の場があることが立証された。今後も、潜在看護師を活用できる体制を構築されたい。

また、就業人口の減少により、経験豊富なプラチナナースの活用はこれからの時代に特に有用であることから、引きつづき就業継続について支援を図られたい。

### (5) 訪問看護提供体制の強化

2025年までに訪問看護従事者数は約12万人必要とされるが、現状の看護人材では約5万人に留まっている。都では訪問看護ステーションに対して様々な補助制度を設けているが、訪問看護の人材確保、事業所支援を中心とした訪問看護提供体制の強化の施策化を一層推進されたい。

## 3. 災害発生時の連携及び支援について

### (1) 災害発生時の自治体や医療機関などと連携のための仕組みづくりに対する支援

大規模災害発生時には、看護職も自身が勤務する医療施設等に出勤できないケースが想定される。その場合に被災した場所から参集可能な最寄りの自治体、救護施設、医療機関などにおいて救護活動がスムーズに行えるような新たな仕組みづくりを検討されたい。

また、災害時の広域災害救急医療情報システム（EMIS）は災害時の医療にかかわる情報共有のツールであり、東京都看護協会でも活用できるよう検討されたい。

### (2) 災害支援ナース制度確立のための支援と活用について

看護協会では、「災害支援ナース」の制度があり、養成研修及びこの要員の維持のため2年ごとに更新研修を実施し、現在、東京都看護協会でおよそ1,000人の看護職が登録されている。

この災害支援ナース制度の有効活用のための支援を図られたい。

(名)

回	開催日	開催場所	出席理事	出席監事	計
第1回 理事会	令和3年 4月15日	東京都看護協会会館理事室	18	3	21
第2回 理事会	令和3年 5月27日	東京都看護協会会館理事室	17	3	20
第3回 理事会	令和3年 6月24日	東京都看護協会会館大研修室	18	2	20
第4回 理事会	令和3年 7月15日	東京都看護協会会館理事室	18	2	20
第5回 理事会	令和3年 9月16日	東京都看護協会会館理事室	18	3	21
第6回 理事会	令和3年11月18日	東京都看護協会会館理事室	18	3	21
第7回 理事会	令和4年 1月20日	東京都看護協会会館理事室	16	3	19
第8回 理事会	令和4年 3月17日	東京都看護協会会館理事室	18	3	21

### 第1回 理事会

〈令和3年4月15日〉

#### I 協議・承認事項

- 令和3年度（公社）東京都看護協会改選役員及び推薦委員候補者について
- 令和3年度（公社）東京都看護協会名誉会員推薦候補者について
- 令和3年度（公社）東京都看護協会会長表彰推薦候補者について
- 令和3年度（公社）東京都看護協会選挙管理委員候補者について
- 令和4年度（公社）日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について

#### II 報告事項

- （公社）日本看護協会事業及び当協会事業に関して
- 新型コロナウイルス感染症に対する当協会の対応について
- 令和4年度（公社）東京都看護協会代議員及び予備代議員の選出について
- 令和3年度日本看護協会通常総会代議員研修会（録画配信）について
- 医療機関支援業務（PCR検査費用負担）〈仮〉に係る事業者選定委員会の設置について
- 令和3年度通常総会の開催方法について
- 事業報告（定款事業4条-1～6）
- その他連絡事項

### 第2回 理事会

〈令和3年5月27日〉

#### I 協議・承認事項

- 令和2年度事業報告（案）について
- 令和2年度決算報告及び監査報告（案）について

- 令和3年度通常総会招集手続きについて
- 定款の一部変更について
- 運営細則の一部変更について
- PCR検査事業者の選定について
- 委員会設置について

#### II 報告事項

- （公社）日本看護協会事業及び当協会事業に関して
- 新型コロナウイルス感染症に対する当協会の対応について
- 令和2年度剰余金の使途について
- 令和2年度寄附受領及び支出状況について
- 令和3年度寄附金募集方法について
- 春の叙勲 本会関係者について
- 事業報告（定款事業4条-1～6）
- 令和4年度看護関係予算・東京都予算要望事項について
- その他連絡事項

### 第3回 理事会（臨時理事会）

〈令和3年6月24日〉

#### I 協議・承認事項

- 理事の選定について
- 理事の代行順位について
- 役員賠償保険の加入について

### 第4回 理事会

〈令和3年7月15日〉

#### I 協議・承認事項

- 有限責任あずさ監査法人に対する報酬額等の決定について
- 令和4年度看護関係予算要望（案）について

#### II 報告事項

- （公社）日本看護協会理事会及び当協会事業に関して
- 新型コロナウイルス感染症に対する当協会の対応について
- 事業報告（定款事業4条-1～6）

### 第5回 理事会

〈令和3年9月16日〉

#### I 協議・承認事項

- 理事に対する協力金の支払いについて
- 謝金規程の一部変更について
- 令和3年度寄附金の受領について（令和3年8月31日現在）
- 令和4年度会議・行事日程表（案）について

#### II 報告事項

- （公社）日本看護協会理事会及び当協会事業に関して
- 新型コロナウイルス感染症に対する当協会の対応について
- 事業報告（定款事業4条-1～6）

### 第6回 理事会

〈令和3年11月18日〉

#### I 協議・承認事項

- 令和4年度 日本看護協会名誉会員及び会長表彰候補者の推薦について

#### II 報告事項

- （公社）日本看護協会理事会及び東京都からの報告
- 新型コロナウイルス感染症に対する当協会の対応について
- 令和3年度 中間監査実施報告について
- 事業報告（定款事業4条-1～6）

#### III その他

### 第7回 理事会

〈令和4年1月20日〉

#### I 協議・承認事項

- 令和4年度事業方針、事業計画（案）について
- 令和4年度収支予算の概要（案）について
- 保健師職能委員会委員の追加について

#### II 報告事項

- （公社）日本看護協会理事会及び当協会事業について
- 新型コロナウイルス感染症に対する当協会の対応について

- 事業報告（定款事業4条-1～6）
- 令和4年度東京都看護協会会議等行事日程について
- 令和4年度職能委員会・地区支部活動計画の提出について
- 令和3年度職能委員会・地区支部活動報告の提出について
- 令和4年度東京都看護協会名誉会員及び会長表彰候補者推薦ご協力について
- 「オリンピック・パラリンピック医療サービス提供に係る協力事業」収支報告について
- オリパラ医療用物資の譲渡数について
- 2023年度（公社）日本看護協会の代議員及び予備代議員の選出数について

#### III その他

### 第8回 理事会

〈令和4年3月17日〉

#### I 協議・承認事項

- 令和4年度事業方針、事業計画（案）について
- 令和4年度収支予算（案）について
- 令和4年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類（案）
- 令和3年度剰余金の使途について
- 諸規程の改正について
- 令和4年度 各委員会に所属する委員の決定について
- 令和4年度通常総会の開催方法について
- 訪問看護ステーションの機能強化に向けた検討委員会基本方針案について

#### II 報告事項

- （公社）日本看護協会理事会及び当協会事業について
- 新型コロナウイルス感染症に対する当協会の対応について
- 日本看護協会名誉会員及び会長表彰推薦候補者決定について
- 諸規程改正について（常任理事会・常勤役員会決定事項）
- 事業報告（定款事業4条-1～6）
- 令和4年度 合同委員会について
- 令和4年度 日本看護協会代議員研修会について

#### III その他

- 令和4年度理事会提出資料期限について
- 令和3年度事業報告・事業実績評価提出について

あいさつと抱負

会長

やなぎばし れい こ  
柳橋 礼子



6月の総会、直後の理事会で会長に選任されました柳橋礼子と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。新型コロナウイルス感染症は医療機関、施設の機能や役割に大きな影響を与え、未だ予断を許さない状況が続いております。改めまして会員の皆さまのご尽力に心より御礼を申し上げます。現在の早急な課題に対応しながらも地域包括ケアシステムの構築を目指す2025年も間近に迫っています。今後の会員の皆さまの活動を支援できますよう、また皆さまから必要とされる活動を実施してまいります。未来に向けて看護職の力を結集できますように尽力したいと考えております。

副会長

さ の ひろ こ  
佐野 廣子



副会長3期6年目となります。首都・東京の看護専門職団体として、一人ひとりが「看護の力」を発揮して活躍できるよう会員の皆さまと社会貢献のために尽力してまいります。この2年超の新型コロナウイルス感染症対応では看護職の重要性が着目され、看護職の処遇改善等へつながりました。今後もさらに看護職の組織力を高めることが重要です。東京都看護協会が2040年問題を担う若い世代の看護職の皆さまにとって魅力あるものとなるよう活動してまいります。

副会長

ほんだ ひろ こ  
本田 浩子



常に「Cool Head but Warm Heart」で物事に向き合いたいと思っています。新型コロナウイルスの繰り返される感染拡大等は住民の生活に大きく影響し、複雑化・多様化した健康課題が顕在化しています。今後さらに地域包括ケアシステムの構築に向けて、看護職間の連携、多職種の連携、住民の力を活用した支援等が重要です。看護職の専門性を高める人材育成とともに協会内外の活動を通して取り組んでいきたいと思ひます。

副会長

と い し か ず こ  
砥石 和子



コロナ禍となり2年以上が経過しています。感染症が人類に多大な影響があることは理解していましたが、現実起こるとここまで市民生活に影響を及ぼすということを実感しました。しかし、日々看護職が市民、人々を支えていることを強く感じた日々でもありました。その看護職を支えているのが、東京都看護協会です。一人の力は小さくとも同じ志を持った看護職が力を合わせれば、大きな力となります。私もその一員として、東京都看護協会の理事として皆さまとともに進んでいきたいと思ひます。

専務理事

わたなべ ちか こ  
渡邊 千香子



すでに人生の3分の2が終わり今さらの感はありますが、今はこれまで培ってきた知識や知恵、人生経験も含め後輩の皆さまに伝えていくことが、一番の役割と思っています。また、一般に日本人は自己肯定感が低く、自分に自信がない、つまらない、何に対してもやる気がでないという若者の割合も増えていると言われます。私は特別価値のある人間とは思っていませんが、どんなことをしても、どんな時でも、それは自分だからと自分を認めています。残りの3分の1の人生も自分を認め自分らしく生きていこうと思っています。

常務理事

さ が わ きよ み  
佐川 きよみ



令和3年3月末まで行政の保健師として公衆衛生看護に従事してきました。今、地域では医療機関だけではなく、行政、子育て支援、障害福祉、高齢者支援、介護保険、地域包括ケア、産業保健などの多様な場で看護職が活躍しています。これからも看護職が活躍する場は、ますます広がるのではないのでしょうか。多様な職場で働く看護職が集い、看護の質を高める場として東京都看護協会が貢献できるよう、尽力してまいります。

常務理事

よこやま こう こ  
横山 孝子



6月より新任として着任いたしました。この時代だからこそ、活躍の場が広がっています。看護職の力が大いに認知されていくのだと思ひます。今がチャンスです。この機を逃さないよう看護職の皆さまのキャリアを支援すべく、最大限の努力を惜しまずに活動してきたいと思ひます。

財政担当理事

ふじの きょう こ  
藤野 恭子



コロナ禍において、久しぶりに現場に入り看護師たちとともに直接的な看護に携わる機会を得たことで、改めて看護の魅力を再認識する日々です。やさしい手と笑顔を忘れずに看護の心を大切にしていきたい。そんな現場目線を大切にしつつ、常に広い視野で俯瞰することを心がけ、やりがいを感じることでできる組織運営を目指しています。ウイズコロナは、看護の原点を振り返る機会、また多様な変化に挑戦する機会でもあり、あきらめない心で理事として務めてまいります。

保健師職能理事

かぐら おか すみ  
神楽岡 澄



「置かれたところで咲く」を座右の銘とし、忘れることなく、何事にも前向きに取り組んでいます。今、世界的な災害ともいえる新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、保健師は住民の命と健康を守るため、保健活動の最前線で活動しています。しかし、未だ収束が見られず、長引くコロナ禍の社会において、人と人との交流のあり方の変化や健康格差の進展などから、新たな健康課題も浮き彫りになっています。私は、これら多くの健康課題に取り組み、公衆衛生の最前線で働く保健師の人材育成に、保健師職能理事として、少しでも貢献できるよう尽力していきたいと思ひます。

助産師職能理事

こびやま あつ こ  
小檜山 敦子



助産師職能委員長として2年目を迎えます。まだまだ、委員や東京都看護協会の皆さまに支えていただきながら四苦八苦している最中ですが、助産師の専門性を向上させるための活動を行っていきたくて考えております。また、平時からの助産師・組織同士のネットワークがとても大切であると強く感じています。これからも助産師職能理事という立場から貢献していきたくて思ひます。

看護師職能理事

なかの ひろみ  
中野 博美



管理の大先輩からの教え「ケセラセラ」の精神で、何事も前向きに捉え進むことを信条として仕事に取り組んできました。今も続く新型コロナウイルス感染症の流行は、医療現場に重圧や何とも言えない閉塞感をもたらしています。看護はチームで力を合わせ、未来に続く今日を立ち止まらず進まなければなりません。今年度は、3期6年目の最後の年です。多くの課題が山積していますが、看護師職能理事として邁進いたします。

准看護師理事

とどろ き つばさ  
轟木 翼



東京都の都心から離れた町田市出身で、職場は緑溢れる鶴川の認知症指定病院です。マイペースながらも仲間からは安心感があると慕ってもらっています。コロナ禍で日々変わる情勢の中でも、看護師が専門性を発揮できる環境は看護師全員が平等に与えられるべき権利だと感じており、これから看護師になる後輩たちのためにも、看護協会で諸先輩方のお力をお借りしながら、職務を全うできるよう貢献していきたいと思っています。

東部地区理事

さくま  
佐久間 あゆみ



東部地区理事として3期目となり、さまざまな医療機関の皆さまとつながることができる貴重な機会をいただけていると感じています。実は性格は保守的で、前に出ることを好まないタイプですが、誰も信じてはくれません。ありがたい姿をイメージすることや、理想とする先輩の行動を真似ることで、変わっていったのだと感じています。そんな自身の強みを活かして、皆さまへ貢献できるように努めてまいります。

西部地区理事

おおぬま ふくこ  
大沼 扶久子



高校生の時、自己紹介で「大沼」が「大熊」と聞こえたのがきっかけで付いたあだ名は「くま」。くまのプーさんの言葉に『人生は経験を積むための旅なんだよ。解決するための問題ではないんだ』というのがあります。いろいろな経験の中で自己成長ができる。そんな機会を与えていただいたと感謝しております。会員の方へより有益な情報等を提供し、ご意見も頂戴したいと思います。ちなみに、ツキノワグマはお互いのコミュニケーションを取るために言葉を持って他者と交流しているそうです。私も相手の思いをしっかり受け止めつつ『言葉を尽くし伝える』ことを信条とし今後も励んでいく所存です。

南部地区理事

さとう みか  
佐藤 美加



ウイズコロナの中、一人ひとりの感染対策行動が求められ、私たちの生活様式も変化しました。状況の変化に柔軟に対応しながら、看護職が安心して働き続けられる職場環境を目指しています。南部地区理事として2年目を迎えました。看護職として社会に貢献すべく看護協会の会員の皆さまとともに、看護協会が掲げる事業計画に協力し活動してまいります。

中部地区理事

きむら  
木村 ひづる



2020年、COVID-19のパンデミックによる混乱の中で中部地区理事を拝命することになり、自院での対応に加えて地区理事の活動ができるのかと大変不安を感じました。しかし、理事の皆さまや地区支部役員の皆さまにお支えいただき、何とか活動することができたと感謝します。このような時にこそ、看護職が連携しさまざまな課題に取り組むことが重要です。2期目は、「看護職がいきいきと働ける」社会を目指し、地域の看護職の連携強化に取り組みたいと考えます。明るく前向きな道産子です。理事として少しでも協会の力になりたいと思います。

多摩北地区理事

いとう えみこ  
伊東 恵美子



新型コロナウイルス感染症が流行し、すべての人々の生活が一変し制限を強いられるが続いています。その中でさまざまな問題が発生し解決に向けた旗振りをしなければなりません。組織全体を俯瞰し決して後ろ向きではなく、患者・家族や職員の思いを受けとめ、前向きな思考で問題解決に向けて対応できる力が重要であると思います。レジリエンス力を持ち「今できることは何か」を問いかけ、組織や地域に貢献していきたいと思っています。

多摩南地区理事

いけがめ としみ  
池亀 俊美



多摩南地区のスローガンは、「チームワーク(チーム力)・つながり・たま(多摩)、トリプルT～地域で連携力をアップしチーム力を上げる多摩南」です。再び、新型コロナウイルス感染拡大が懸念される状況ではありますが、多摩南地区の看護職に向けての研修を再開し、地域におけるコミュニティへ積極的に関わっていきまします。顔が見える、声が直接聞ける活動を展開していきたいと思っています。ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

監事

かわかみ じゅんこ  
川上 潤子



監事として2期目を迎えました。この職を拝命しました当初は、この役割を全うできるか、相当不安がありました。しかし、理事会への参加を通じて、東京都看護協会が看護の社会のみならず、一般社会においても重要な役割を果たしていることが見えてきました。病院で長年仕事をしておりました私にとって、この役割を担わせていただくことは、自らの視野を広げ、将来を見据えて取り組む力につなげられる大変良い機会にもなっております。今後も私が感じることを共有させていただきながら、看護協会の発展に貢献していきたいと思っています。

監事

やまうち とよあき  
山内 豊明



監事を務めさせていただいています。理事会メンバーの一員として東京都看護協会の事業を内部より見させていただきましたことによって、協会の重要性とその任務の多様性、そしてそれを果たしていくための多忙な様子を、これまで以上に肌で実感しています。与えられた責任の重さをしっかりと受け止めて、微力ながら職務を全うしていく所存です。今後とも何卒よろしく申し上げます。

監事

かさだ ともひろ  
笠田 朋宏



公認会計士第2次試験合格後、税理士法人にて11年勤務しました。携わった業務は、主に法人税、所得税、消費税、相続税であり、専門分野は公益法人関連の税務業務、認定申請業務、定期提出書類作成業務、任意監査などです。独立後の現在も、税務業務、公益法人の会計指導などを行っています。近年、会計や税務においてもさまざまな改正などが増えていますが、監事の立場から特に会計面で貢献したいと思っています。

会長

やまもと けいこ  
山元 恵子



2016年6月22日から2022年6月23日の総会までの任期6年間の任務を滞りなく全うすることができました。ひとえに会員、職員、役員の皆さま方のご支援、ご協力のおかげと感謝申し上げます。

この6年間を振り返りますと、新会館の建築が最も大きな成果となりました。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への協力については、パンデミックにより開催が延期され、大きな状況変化が次々と起こる中、看護職の配置支援を行い、専門職の団体として大きな役割を發揮することができたと考えています。

新型コロナウイルス感染症対応では、対策等の政策提言、国内の看護師不足支援として北海道、宮城、大阪、沖縄への看護師応援派遣や潜在看護師へのワクチン接種等を実施しました。また、東京都内では東京ワクチンチームの発足により、四師会協働で中小企業を対象にしたワクチン接種に協力し、接種促進に寄与することができました。いずれも過去に例を見ない活動と関連団体との連携により、全国の先駆けとなる成果を生み出すことができました。

財務面では、賛助会員制の新設や看護職応援の申し出を寄附制度で受け入れ、医療用資材の提供、オンライン面会の支援、PCR無償検査等、さまざまな支援を迅速に実施することができました。

これらすべての経験と成果は、私の人生の最大の宝物です。皆さま方の温かいお力添えがあったからこそと心より御礼申し上げます。

重ねて会員並びに協会職員、関係団体の皆さまに心より御礼申し上げますとともに、今後とも、皆さまのご健勝と協会のますますの発展を祈念しております。

副会長

まつもと ひろこ  
松本 弘子



「副会長の任期を終えて」

2022年6月の通常総会をもって副会長としての全任期が終了しました。東京都看護協会という組織や事業、それを取り巻くさまざまな団体や行政など、本当に多くのことを学ばせていただきました。新会館の計画・着工・移転に始まり、

新型コロナウイルス感染症、オリンピックとまさに激動の6年間でしたが、やりがいもあり充実した6年間でした。多くのことを教えていただき、サポートしてくださった山元会長はじめ東京都看護協会の皆さまに心より感謝申し上げます。

今後の東京都看護協会のますますの発展を心から祈念しております。

常務理事

おおはし すみえ  
大橋 純江



「常務理事の任期を終えて……御礼」

6月23日をもって常務理事を退任しました。6年の任期を無事終えることができましたのも会員をはじめとする看護職の皆さま、加えて関係各団体の皆さまのご支援の賜と厚く御礼申し上げます。特に、都内看護管理者さまには私の急な依頼にもかかわらず、さまざまな企画事業に多くのスペシャリストのご支援を頂戴いたしました。

私は任期の大半を、会員の皆さまの継続教育を担う重要な位置づけである事業を教育部のスタッフとともに担当してまいりました。2019年からのCOVID-19感染症によって看護職の業務環境が混乱する中でも、看護職の学びを止めないサービスの提供をモットーに実務実践、認定看護管理者、診療報酬に係る研修などや学会運営を中止することなく開催しました。また、ソウル市、台北市、インドネシアの看護協会さまとの交流企画や、医療事故等支援団体の委員として現場の看護職の支援にも携わることで、多くの学びと示唆が得られたことは、常務理事としての責務を果たすという使命があったが故のことと感謝する次第です。今後は、看護師基礎教育の現場に籍を移し、看護を通して社会に貢献してまいりたいと存じます。

准看護師理事

いとう ちえ  
伊藤 ちえ



このたび、任期満了に伴い准看護師理事を退任することとなりました。2年間の在任中は会長並びに事務局の皆さまのご支援により、大過なく務めさせていただき、心より感謝いたします。この2年間新型コロナウイルス感染拡大や東京オリンピックなどの大変な問題を抱えながら、医療現場への支援、地域医療の推進、人材育成など変わらない協会の活動に尊敬の念を禁じ得ません。私自身もこの2年間の経験を活かし、一医療者として従事してまいりたいと思います。

今後の皆さまのさらなるご活躍をお祈り申し上げます。

名誉会員

秋山 正子

株式会社ケアーズ 代表取締役、白十字訪問看護ステーション 統括所長、認定NPO法人マギーズ東京 共同代表理事

訪問看護の先駆けとして、具体的な課題解決のための質の高い看護の実践、看護教育や研修講師などを通しての次世代育成、「暮らしの保健室」 「マギーズ東京」開設に見られる在宅療養に対する理解促進、がん患者や家族の支援活動に寄与するなど、看護業務において顕著な功績があったため、東京都看護協会名誉会員として適任と判断しました。

令和3年度 東京都看護協会会長賞受賞者

公益社団法人東京都看護協会 協会長表彰規程第3条の該当者

- (1) 通算20年以上会員で、本会への功労が認められた者
- (2) 本会の役員2期以上、委員3期以上従事した者
- (3) 看護業務及び研究、教育に20年以上従事し、功績があったと認められる者

佐川 きよみ	副会長	樋口 幸子	社会経済福祉委員
黒田 美喜子	常務理事	北條 志穂	広報委員
菊地 敦子	助産師職能理事	金子 美由紀	広報委員
佐藤 文江	南部地区理事	大関 百合子	西部地区 副支部長、会計
間瀬 由紀子	看護師職能委員(領域II)	五十嵐 瑞恵	中部地区 書記
益田 亜佐子	医療安全委員	横山 いずみ	中部地区 会計

令和3年度 各賞受賞者

春の叙勲	瑞宝双光章	亀尾 慶子	公益社団法人日本看護協会会長表彰 令和3年6月9日	阿部 智子
	瑞宝双光章	佐野 廣子		板林 恵子
	瑞宝双光章	藤井 美代子		大和田 恭子
	瑞宝単光章	梅木 恵美子		小林 ひろみ
	瑞宝単光章	高橋 智子		嶋森 好子
	瑞宝単光章	本間 佳子		丹野 久子
	瑞宝単光章	米田 浩子		塚田 真弓
				藤野 恭子
秋の叙勲	瑞宝小綬章	久常 節子		
	瑞宝双光章	佐藤 浩子		
	瑞宝双光章	宗村 美江子		
	瑞宝単光章	出口 昌子		
	瑞宝双光章	堤崎 洋子		

## 令和3年度 寄附者・賛助会員御芳名

公益社団法人東京都看護協会へお寄せいただきました令和3年度の寄附は、教育・研究活動の支援、看護職確保定着等の公益事業充実のために活用しております。

ご寄附賜りました方々への感謝の意を込め、公開のご承諾をいただいた方についてご紹介いたします。

### 一般寄附金寄贈者〔個人〕

渚りえ 様  
渡部 圭介 様  
榎田 貴弘 様  
新井 義弘 様  
木村 路成 様  
助川 準之介 様  
潔 -ISAGI- 様  
大山 税 様  
堀田 芳生 様  
池田 泰雄 様  
中澤 隆太 様  
井本 剛司 様

### 一般寄附金寄贈者〔法人〕

有限会社サラサドットコム 様  
A hundred photo exhibition 様  
株式会社ジンテック 様  
コートキーパー 様  
Argyle Street Management Limited 様  
越後湯沢 Heart warming support 様  
Tシャツショップ・ナカノ 様  
中ノ郷信用組合 様  
エルゼビア・ジャパン株式会社 様  
学校法人東洋学園 様  
全タイヨー労働組合 様  
協和精工株式会社 様  
オンワード商事株式会社 様  
公益情報システム株式会社 様  
東洋羽毛首都圏販売株式会社 様  
HRG/バナンス・リーダーズ株式会社 様  
栄研化学株式会社 様

### 一般寄附金寄贈者〔団体〕

東洋英和女学院中等部高等部母の会 様

### 医療用物資寄贈者〔法人〕

公益財団法人東京都歴史文化財団 様

### 使途指定寄附金寄贈者〔法人〕

一般社団法人アミチエ ソン フロンティアール インターナショナル ジャパン 様  
ノースイースト・キャピタルマネジメント株式会社 様  
一般社団法人東京連合読売会 様  
東京商工会議所 様

### 賛助会員

株式会社トータル保険サービス 様  
東京インターナショナルリスクサービス株式会社 様  
佐藤 岩雄 様  
株式会社山菊 様  
一般社団法人日本動物看護協会 様  
和洋女子大学 様  
一般社団法人医療の質・安全学会 様  
株式会社インターメディカ 様  
一般社団法人日本能率協会 様  
株式会社ジェイ・エム・エス 様  
株式会社トップ東京営業所 様  
公益社団法人東京都助産師会 様  
サクラグローバルホールディング株式会社 様  
アイホン株式会社 様  
一般社団法人日本臨床看護マネジメント学会 様  
睦技研株式会社 様  
東洋羽毛首都圏販売株式会社 様  
大成祭典株式会社 様  
株式会社日本ケアコミュニケーションズ 様  
京セラ株式会社 様  
株式会社ヤクルト本社首都圏支店 様  
ネオファースト生命保険株式会社 様  
一般社団法人東京都日本病院会支部 様  
一般社団法人東京都訪問看護ステーション協会 様  
株式会社キューネットワークス 様  
シーホネンス株式会社 様  
ニプロ株式会社 様  
MED株式会社 様  
株式会社EPARK 様

(順不同)

	日程	学会等名称
共催	令和3年9月19日	第37回医療安全管理者ネットワーク会議 in Web 世界患者安全の日記念イベント
	令和3年11月24日～26日	HOSPEX Japan 2021 看護セミナー
	令和3年12月10日	日本渡航医学会オンラインセミナー2021
	令和4年1月27日	東京都日本病院会支部看護部会研修会
	令和4年2月12日	介護施設等における安全管理をともに検討する安全管理研修会
協賛	令和3年11月24日～26日	HOSPEX Japan 2021
協力	令和3年11月14日	ナース・プラクティショナー(仮称)制度創設に向けた地区別意見交換会(関東・甲信越)
後援	令和3年5月29日	World No-Tobacco Day(世界禁煙デー)記念イベント 2021 in Tokyo
	令和3年5月29日～30日	第7回日本医療安全学会学術総会
	令和3年6月13日	第5回東京都言語聴覚士会学術フォーラム
	令和3年6月26日～7月25日	第32回日本手術看護学会関東甲信越地区
	令和3年6月26日～27日	日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会埼玉・東京全国大会
	令和3年8月27日～9月26日	日本地域看護学会第24回学術集会
	令和3年9月18日～30日	日本ルーラルナーシング学会第16回学術集会
	令和3年9月19日	日本臨床看護マネジメント学会第4回全国看護部長会
	令和3年10月2日～3日	日本家族看護学会第28回学術集会
	令和3年10月13日～15日	第4回医療と介護の総合展・東京
	令和3年10月29日～11月26日	第16回高齢者福祉実践・研究大会 アクティブ福祉 in 東京'21
	令和3年11月3日	東京都助産師会いいお産の日イベント
	令和3年11月6日～7日	日本産業看護学会第10回学術集会
	令和3年11月7日	第15回東京呼吸療法セミナー
	令和3年11月10日～12月10日	第69回手足の不自由な子どもを育てる運動
	令和3年11月13日	第11回国際医療英語認定試験(CBMS)
	令和3年11月13日～12月5日	Great Santa Run 2021: Virtual
	令和3年11月21日	第40回東京都理学療法学術大会
	令和3年11月21日～23日	第35回日本エイズ学会学術集会・総会
	令和3年11月25日～26日	第50回日本医療福祉設備学会
	令和3年11月27日～28日	第16回医療の質・安全学会学術集会
	令和3年11月29日	第20回東京都輸血療法研究会
	令和4年1月14日	特定行為研修修了者の育成配置活用に関するWEBシンポジウム
令和4年1月30日	東京都医師会主催第85回准看護師卒後教育講習会	
令和4年2月1日～28日	第16回東京都医学検査学会	
令和4年2月4日～5日	回復期リハビリテーション病棟協会第39回研究大会 in 東京	
令和4年3月19日～21日	日本集団精神療法学会第39回学術大会	



会議等出席一覧

日程	委員会・会議名	出席者	備考
令和3年4月1日	東京都医師会タバコ対策委員会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和3年4月5日	日本医療受診支援研究機構理事会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年4月7日	日本看護協会理事会	山元 恵子(会長)	書面開催
令和3年4月8日	昭和大学看護キャリア開発・研究センター認定看護管理者教育課程教育委員会	黒田 美喜子(常務理事)	Web開催
令和3年4月12日	HOSPEX Japan 2021展示実行計画委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年4月16日	国立病院機構村山医療センター治験審査委員会	山元 恵子(会長)	
令和3年4月16日	東京都保健医療計画推進協議会	渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和3年4月19日	東京都訪問看護ステーション協会総務会	山元 恵子(会長) 渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和3年4月20日	東京都日本病院会支部理事会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年4月20日	東京都感染症医療体制協議会	渡邊 千香子(専務理事)	書面開催
令和3年4月21日	医療の質・安全学会医療安全管理者ネットワーク委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年4月21日	日本看護図書館協会総会打合せ会	勢田 玲生(経営企画課メディアセンター係主任)	Web開催
令和3年4月22日	東京都医療関係施設整備費補助対象事業者審査委員会	山元 恵子(会長)	書面開催
令和3年4月23日	日本病院会ホスピタルショウ委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年4月27日	東京都国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会	倉重 真美子(千駄木訪問看護ステーション主任)	
令和3年5月6日	日本看護協会看護業務の効率化・生産性向上のための支援策検討委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年5月7日	日本看護協会理事会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年5月7日	日本看護協会法人委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年5月14日	国立病院機構村山医療センター治験審査委員会	山元 恵子(会長)	
令和3年5月14日	日本看護図書館協会新旧役員引継会	勢田 玲生(経営企画課メディアセンター係主任)	Web開催
令和3年5月17日	東京都循環器病対策推進協議会	渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和3年5月18日	東京都日本病院会支部総会	山元 恵子(会長)	書面開催
令和3年5月19日	都道府県看護協会看護労働担当者会議	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和3年5月20日	東京都国民健康保険団体連合会介護給付費等審査部会	倉重 真美子(千駄木訪問看護ステーション主任)	
令和3年5月21日	都道府県看護協会ナースセンター事業担当者会議	山元 恵子(会長) 佐藤 浩子(ナースプラザ所長) 増山 有希(ナースバンク係長)	Web開催
令和3年5月21日	女性も男性も輝くTOKYO会議	黒田 美喜子(常務理事)	Web開催
令和3年5月24日	東京都保健医療計画推進協議会	渡邊 千香子(専務理事)	書面開催
令和3年5月25日	東京都日本病院会支部看護部会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年5月27日	東京都医療関係施設整備費補助対象事業者審査委員会	山元 恵子(会長)	書面開催
令和3年5月27日	日本看護協会認定看護管理者教育機関担当者会議	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和3年5月27日	東京都国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会	倉重 真美子(千駄木訪問看護ステーション主任)	
令和3年5月28日	昭和大学看護キャリア開発・研究センター認定看護管理者教育課程教育委員会	黒田 美喜子(常務理事)	Web開催
令和3年5月28日	日本看護図書館協会機関誌編集委員会引継会	勢田 玲生(経営企画課メディアセンター係主任)	Web開催
令和3年5月31日	第80回日本公衆衛生学会総会実行委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年6月2日	日本臨床医学リスクマネジメント学会定時理事会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年6月3日	日本病院会ホスピタルショウ委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年6月4日	日本看護協会法人委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年6月9日	日本看護協会通常総会	山元 恵子(会長)	
令和3年6月10日	日本看護協会全国職能交流集会	山元 恵子(会長)	
令和3年6月10日	東京糖尿病療養指導士認定機構幹事会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和3年6月11日	国立病院機構村山医療センター治験審査委員会	山元 恵子(会長)	
令和3年6月15日	東京都日本病院会支部理事会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年6月16日	医療の質・安全学会医療安全管理者ネットワーク委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年6月22日	東京都循環器病対策推進協議会	渡邊 千香子(専務理事)	書面開催
令和3年6月24日	東京都在宅介護・医療協働推進部会	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和3年6月25日	東京都医療審議会	山元 恵子(会長)	書面開催
令和3年6月25日	東京都社会福祉協議会定時評議員会	渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和3年6月25日	東京都保健医療計画推進協議会	渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和3年6月26日	東京都看護連盟通常総会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年6月29日	東京都医療審議会	山元 恵子(会長)	Web開催

日程	委員会・会議名	出席者	備考
令和3年6月29日	東京都国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会	倉重 真美子(千駄木訪問看護ステーション主任)	
令和3年6月30日	日本看護協会看護業務の効率化・生産性向上のための支援策検討委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年6月30日	東京都医学総合研究所定時評議員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年6月30日	東京都訪問看護ステーション協会総務会	山元 恵子(会長) 渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和3年6月30日	東京慈恵会医科大学教育センター認定看護管理者教育課程ファーストレベル教育運営委員会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和3年7月2日	HOSPEX Japan 2021展示実行計画委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年7月2日	東京都准看護師試験委員会	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和3年7月3日	日本臨床看護マネジメント学会理事会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年7月5日	日本看護協会全国保健師職能委員長会	神楽岡 澄(保健師職能理事)	Web開催
令和3年7月6日	東京都医療安全推進協議会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和3年7月7日	日本看護協会全国助産師職能委員長会	小檜山 敦子(助産師職能理事)	Web開催
令和3年7月7日	日本看護協会全国看護師職能(領域II)委員長会	佐野 優美(看護師職能委員長(領域II)委員長)	Web開催
令和3年7月8日	東京都高齢者保健福祉施策推進委員会	佐川 きよみ(常務理事)	
令和3年7月9日	国立病院機構村山医療センター治験審査委員会	山元 恵子(会長)	
令和3年7月12日	東京都輸血療法研究会世話人会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年7月12日	医療の質・安全学会医療安全管理者ネットワーク委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年7月13日	東京都保健医療計画説明会	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和3年7月13日	東京マラソン医療救護委員会	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和3年7月14日	聖路加国際大学教育センター認定看護師教育課程委員会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和3年7月14日	東京都地域医療構想調整会議(区南部圏域)	佐藤 美加(南部地区理事)	Web開催
令和3年7月19日	東京都災害時こころのケア体制連絡調整会議	佐川 きよみ(常務理事)	書面開催
令和3年7月20日	東京都日本病院会支部理事会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年7月21日	東京都アレルギー疾患対策検討委員会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和3年7月21日	東京都地域医療構想調整会議(区東部圏域)	佐久間 あゆみ(東部地区理事)	Web開催
令和3年7月27日	東京都日本病院会支部看護部会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年7月28日	東京都医療関係施設整備費補助対象事業者審査委員会	山元 恵子(会長)	書面開催
令和3年7月28日	東京都地域医療構想調整会議(区西北部圏域)	市橋 富子(地域包括ケア委員会副委員長)	Web開催
令和3年7月29日	日本看護協会理事会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年7月29日	東京都地域医療構想調整会議(北多摩北部圏域)	大竹 トモ子(地域包括ケア委員会委員)	Web開催
令和3年7月29日	東京都国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会	倉重 真美子(千駄木訪問看護ステーション主任)	
令和3年7月30日	日本看護協会法人委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年7月30日	東京都訪問看護ステーション協会総務会	山元 恵子(会長) 渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和3年7月30日	東京都看護師等修学資金選考委員会	渡邊 千香子(専務理事)	
令和3年8月3日	東京都地域医療構想調整会議(北多摩西部圏域)	伊東 恵美子(多摩北地区理事)	Web開催
令和3年8月5日	国立病院機構認定看護管理者教育課程教育運営委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年8月6日	日本看護協会第8次医療計画の策定に向けたヒヤリング	渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和3年8月11日	東京都地域医療構想調整会議(区西南部圏域)	浜本 奈美江(地域包括ケア委員会委員)	Web開催
令和3年8月12日	東京都地域医療対策協議会看護人材部会	山元 恵子(会長)	書面開催
令和3年8月12日	昭和大学看護キャリア開発・研究センター認定看護管理者教育課程教育委員会	家崎 芳恵(事業部長)	Web開催
令和3年8月12日	東京都地域医療構想調整会議(南多摩圏域)	平田 真由美(地域包括ケア委員会委員)	Web開催
令和3年8月13日	国立病院機構村山医療センター治験審査委員会	山元 恵子(会長)	
令和3年8月13日	東京都地域医療構想調整会議(北多摩南部圏域)	池亀 俊美(多摩南地区理事)	Web開催
令和3年8月18日	医療の質・安全学会医療安全管理者ネットワーク委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年8月18日	東京都地域医療構想調整会議(区中央部圏域)	木村 ひづる(中部地区理事)	Web開催
令和3年8月19日	東京都地域医療対策協議会	山元 恵子(会長)	書面開催
令和3年8月19日	東京都国民健康保険団体連合会介護給付費等審査部会	倉重 真美子(千駄木訪問看護ステーション主任)	
令和3年8月20日	東京都地域医療構想調整会議(区西部圏域)	大沼 扶久子(西部地区理事)	Web開催
令和3年8月24日	東京都地域医療構想調整会議(西多摩圏域)	井上 理恵(地域包括ケア委員会委員長)	Web開催
令和3年8月25日	東京都地域医療構想調整会議(区東北部圏域)	鶴ヶ崎 かほる(地域包括ケア委員会委員)	Web開催
令和3年8月25日	東京都介護保険審査会	竹内 里絵子(訪問看護ステーション係長)	
令和3年8月28日	日本看護図書館協会機関誌編集委員会	勢田 玲生(経営企画課メディアセンター係主任)	Web開催

日程	委員会・会議名	出席者	備考
令和3年8月30日	東京都医療関係施設整備費補助対象事業者審査委員会	山元 恵子(会長)	書面開催
令和3年8月30日	東京都薬剤師会学術倫理特別委員会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和3年8月31日	東京都糖尿病医療連携協議会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和3年8月31日	東京マラソン医療救護委員会	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和3年8月31日	東京都国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会	倉重 真美子(千駄木訪問看護ステーション主任)	
令和3年9月3日	東京都地域医療構想調整会議(島しょ圏域)	西浜 直江(地域包括ケア委員会委員)	Web開催
令和3年9月7日	医療の質・安全学会医療安全管理者ネットワーク委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年9月8日	都道府県看護協会母子のための地域包括ケアシステム推進会議	渡邊 千香子(専務理事) 佐川 きよみ(常務理事) 神楽岡 澄(保健師職能理事) 小檜山 敦子(助産師職能理事) 中野 博美(看護師職能理事)	Web開催
令和3年9月9日	東京都多職種連携連絡会	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和3年9月10日	国立病院機構村山医療センター治験審査委員会	山元 恵子(会長)	
令和3年9月13日	日本看護協会看護業務の効率化・生産性向上のための支援策検討委員会事前審査会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年9月16日	都道府県看護協会政策責任者会議	山元 恵子(会長) 渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和3年9月17日	日本看護協会理事会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年9月17日	東京都医療審議会	山元 恵子(会長)	書面開催
令和3年9月22日	東京都訪問看護ステーション協会総務会	山元 恵子(会長) 渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和3年9月28日	東京都日本病院会支部看護部会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年9月29日	東京都医療審議会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年9月30日	日本看護協会看護業務の効率化・生産性向上のための支援策検討委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年9月30日	東京都医師会地域包括ケア委員会	渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和3年9月30日	東京都後期高齢者医療懇談会	佐川 きよみ(常務理事)	
令和3年9月30日	東京都国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会	倉重 真美子(千駄木訪問看護ステーション主任)	
令和3年10月1日	東京都がん対策推進協議会	佐川 きよみ(常務理事)	書面開催
令和3年10月4日	都道府県看護協会会員情報管理情報交換会	仲宗根 洋(総務部長代理) 山田 美代子(経営企画課会員係)	Web開催
令和3年10月7日	日本看護協会地区別法人会員連絡会・地区別法人会員会	山元 恵子(会長) 渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和3年10月7日	HOSPEX Japan 2021展示実行計画委員会	黒川 亨(事務局長)	Web開催
令和3年10月8日	看護協会・看護連盟合同会議	山元 恵子(会長) 渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和3年10月8日	東京都要保護児童対策地域協議会代表者会議	佐川 きよみ(常務理事)	書面開催
令和3年10月8日	日本看護協会地区別保健師職能委員長会	神楽岡 澄(保健師職能理事)	Web開催
令和3年10月8日	日本看護協会地区別助産師職能委員長会	小檜山 敦子(助産師職能理事)	Web開催
令和3年10月8日	日本看護協会地区別看護師職能(領域Ⅰ)委員長会	中野 博美(看護師職能理事)	Web開催
令和3年10月8日	日本看護協会地区別看護師職能(領域Ⅱ)委員長会	佐野 優美(看護師職能委員会(領域Ⅱ)委員長)	Web開催
令和3年10月11日	医療の質・安全学会医薬品・医療機器・放射線安全委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年10月14日	東京都多職種連携連絡会	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和3年10月18日	東京都医療従事者ネットワーク連絡会	佐川 きよみ(常務理事)	
令和3年10月19日	東京都日本病院会支部理事会	山元 恵子(会長)	
令和3年10月20日	医療の質・安全学会医療安全管理者ネットワーク委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年10月20日	団体向け新型コロナウイルス感染防止対策自主点検等支援事業補助事業者選定委員会	佐川 きよみ(常務理事)	書面開催
令和3年10月21日	東京都医師会医療介護人材検討委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年10月21日	国立成育医療研究センター医療事故調査委員会	大橋 純江(常務理事)	
令和3年10月21日	東京都地方精神保健福祉審議会	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和3年10月22日	東京都感染症医療体制協議会	渡邊 千香子(専務理事)	書面開催
令和3年10月22日	東京都訪問看護ステーション協会総務会	渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和3年10月22日	東京都准看護師試験委員会	佐川 きよみ(常務理事)	
令和3年10月27日	東京都社会福祉協議会定時評議員会	渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和3年10月28日	第80回日本公衆衛生学会総会実行委員会	山元 恵子(会長)	Web開催

日程	委員会・会議名	出席者	備考
令和3年10月28日	東京都医療関係施設整備費補助対象事業者審査委員会	山元 恵子(会長)	
令和3年10月28日	東京都医師会地域包括ケア委員会	渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和3年10月28日	東京都糖尿病性腎症重症化予防プログラム改訂ワーキンググループ	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和3年10月28日	東京都国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会	倉重 真美子(千駄木訪問看護ステーション主任)	
令和3年11月2日	東京都在宅療養推進会議	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和3年11月2日	団体向け新型コロナウイルス感染防止対策自主点検等支援事業補助事業者選定委員会	佐川 きよみ(常務理事)	書面開催
令和3年11月4日	昭和大学看護キャリア開発・研究センター認定看護管理者教育課程教育委員会	家崎 芳恵(事業部長)	Web開催
令和3年11月5日	日本看護協会全国看護基礎教育担当役員会議	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和3年11月5日	日本看護協会認定看護管理者制度委員会	家崎 芳恵(事業部長)	Web開催
令和3年11月5日	公益法人運営に関する地区別勉強会	西田 哲也(総務部次長) 追木 美江(総務課会計係)	Web開催
令和3年11月8日	医療の質・安全学会医薬品・医療機器・放射線安全委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年11月8日	東京都薬剤師会学術倫理特別委員会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和3年11月9日	東京都日本病院会支部看護部会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年11月9日	東京都福祉保健財団評議員会	山元 恵子(会長)	書面開催
令和3年11月9日	女性も男性も輝くTOKYO会議	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和3年11月10日	聖路加国際大学教育センター認定看護師教育課程委員会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和3年11月11日	都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議	渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和3年11月11日	東京都多職種連携連絡会	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和3年11月11日	東京都地域医療構想調整会議(区中央部圏域)	木村 ひづる(中部地区理事)	Web開催
令和3年11月12日	国立病院機構村山医療センター治験審査委員会	山元 恵子(会長)	
令和3年11月12日	日本看護協会広報担当役員会議	渡邊 千香子(専務理事) 阿部 伸子(経営企画課事業戦略係長)	Web開催
令和3年11月14日	日本看護協会ナース・プラクティショナー制度創設に向けた意見交換会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年11月16日	東京都日本病院会支部理事会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年11月17日	医療の質・安全学会医療安全管理者ネットワーク委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年11月20日	読売光と愛の事業団理事会	山元 恵子(会長)	書面開催
令和3年11月22日	日本看護協会認定看護管理者教育機関認定更新視察	家崎 芳恵(事業部長)	Web開催
令和3年11月23日	医療安全全国共同行動企画委員会技術支援部会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年11月24日	東京都訪問看護ステーション協会総務会	山元 恵子(会長) 渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和3年11月24日	東京都国民健康保険団体連合会介護給付費等審査部会	倉重 真美子(千駄木訪問看護ステーション主任)	
令和3年11月25日	日本看護協会理事会	山元 恵子(会長)	
令和3年11月25日	東京都医師会地域包括ケア委員会	渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和3年11月26日	日本看護協会法人会員会	佐川 きよみ(常務理事)	
令和3年11月26日	東京都医療関係施設整備費補助対象事業者審査委員会	山元 恵子(会長)	書面開催
令和3年11月27日	日本看護連盟関東甲信越ブロック看護管理者等政策セミナー	山元 恵子(会長) 佐川 きよみ(常務理事) 細川 香代子(総務部経営企画課部長補佐)	Web開催
令和3年11月27日	日本看護図書館協会機関誌編集委員会	勢田 玲生(経営企画課メディアセンター係主任)	Web開催
令和3年11月29日	東京都地域医療構想調整会議(区東北部圏域)	鶴ヶ崎 かほる(地域包括ケア委員会委員)	Web開催
令和3年11月30日	東京都地域医療構想調整会議(北多摩西部圏域)	伊東 恵美子(多摩北地区理事)	Web開催
令和3年11月30日	東京都国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会	倉重 真美子(千駄木訪問看護ステーション主任)	
令和3年12月1日	日本看護協会認定看護管理者教育機関認定更新視察	家崎 芳恵(事業部長)	Web開催
令和3年12月1日	東京都地域医療構想調整会議(区西南部圏域)	浜本 奈美江(地域包括ケア委員会委員)	Web開催
令和3年12月2日	東京都医師会タバコ対策委員会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和3年12月3日	日本病院会ホスピタルショウ委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年12月3日	東京都後期高齢者医療懇談会	佐川 きよみ(常務理事)	
令和3年12月6日	医療の質・安全学会医薬品・医療機器・放射線安全委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年12月6日	東京都要保護児童対策地域協議会代表者会議	佐川 きよみ(常務理事)	書面開催
令和3年12月7日	東京都医療事故調査等支援団体連絡協議会運営委員会	大橋 純江(常務理事)	
令和3年12月7日	東京都地域医療構想調整会議在宅療養ワーキング(西多摩圏域)	山崎 あゆ子(地域包括ケア委員会委員)	Web開催

日程	委員会・会議名	出席者	備考
令和3年12月8日	東京都地域医療構想調整会議在宅療養ワーキング(区西部圏域)	大沼 扶久子(西部地区理事)	Web開催
令和3年12月9日	東京都多職種連携連絡会	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和3年12月10日	国立病院機構村山医療センター治験審査委員会	山元 恵子(会長)	
令和3年12月14日	東京都地域医療構想調整会議在宅療養ワーキング(区西南部圏域)	塘地 正美(地域包括ケア委員会副委員長)	Web開催
令和3年12月15日	東京都地域医療構想調整会議(区東部圏域)	佐久間 あゆみ(東部地区理事)	Web開催
令和3年12月15日	医療の質・安全学会医療安全管理者ネットワーク委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年12月16日	東京都医師会医療介護等人材検討委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年12月16日	都道府県看護協会災害看護担当者会議	仙道 かほる(危機管理室長)	Web開催
令和3年12月16日	東京都地域医療構想調整会議(南多摩圏域)	平田 真由美(地域包括ケア委員会委員)	Web開催
令和3年12月17日	東京糖尿病療養指導士認定機構運営委員会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和3年12月17日	東京都地域医療構想調整会議在宅療養ワーキング(区東部圏域)	佐久間 あゆみ(東部地区理事)	Web開催
令和3年12月20日	東京都地域医療構想調整会議(区西北部圏域)	藤井 由加里(地域包括ケア委員会委員)	Web開催
令和3年12月21日	東京都医療関係施設整備費補助対象事業者審査委員会	山元 恵子(会長)	
令和3年12月21日	東京都日本病院会支部理事会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和3年12月22日	東京都地域医療構想調整会議(北多摩南部圏域)	池亀 俊美(多摩南地区理事)	Web開催
令和3年12月23日	東京都医師会地域包括ケア委員会	渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和3年12月23日	東京マラソン医療救護委員会	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和3年12月28日	東京都国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会	倉重 真美子(千駄木訪問看護ステーション主任)	
令和4年1月6日	東京都医師会タバコ対策委員会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和4年1月6日	東京都地域医療構想調整会議在宅療養ワーキング(区南部圏域)	佐藤 美加(南部地区理事)	Web開催
令和4年1月7日	東京都地域医療構想調整会議(北多摩北部圏域)	大竹 トモ子(地域包括ケア委員会委員)	Web開催
令和4年1月7日	東京都地域医療構想調整会議在宅療養ワーキング(南多摩圏域)	伊藤 由美子(地域包括ケア委員会委員)	Web開催
令和4年1月11日	医療の質・安全学会医薬品・医療機器・放射線安全委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和4年1月12日	東京都地域医療構想調整会議(区西部圏域)	大沼 扶久子(西部地区理事)	Web開催
令和4年1月13日	東京都多職種連携連絡会	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和4年1月13日	東京都地域医療構想調整会議(区南部圏域)	佐藤 美加(南部地区理事)	Web開催
令和4年1月14日	国立病院機構村山医療センター治験審査委員会	山元 恵子(会長)	
令和4年1月14日	昭和大学看護キャリア開発・研究センター認定看護管理者教育課程教育委員会	家崎 芳恵(事業部長)	Web開催
令和4年1月18日	東京都日本病院会支部理事会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和4年1月18日	東京都地域医療構想調整会議在宅療養ワーキング(区西北部圏域)	藤井 由加里(地域包括ケア委員会委員)	Web開催
令和4年1月18日	東京都介護保険審査会	竹内 里絵子(訪問看護ステーション係長)	
令和4年1月19日	医療の質・安全学会医療安全管理者ネットワーク委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和4年1月19日	東京都地域医療構想調整会議在宅療養ワーキング(区東北部圏域)	小原 かおる(地域包括ケア委員会委員)	Web開催
令和4年1月21日	HOSPEx Japan 2021展示実行計画委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和4年1月24日	第12回日本在宅看護学会学術集会企画委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和4年1月24日	東京都アレルギー疾患対策検討委員会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和4年1月24日	日本看護協会認定看護管理者制度委員会	家崎 芳恵(事業部長)	Web開催
令和4年1月25日	東京都医療安全推進協議会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和4年1月25日	東京都地域医療構想調整会議在宅療養ワーキング(北多摩南部圏域)	池亀 俊美(多摩南地区理事)	Web開催
令和4年1月27日	東京都医師会地域包括ケア委員会	渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和4年1月27日	東京都地域医療構想調整会議在宅療養ワーキング(北多摩西部圏域)	伊東 恵美子(多摩北地区理事)	Web開催
令和4年1月27日	東京都二次保健医療圏地域災害医療連携会議(区中央圏域)	仙道 かほる(危機管理室長)	Web開催
令和4年1月27日	東京都国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会	倉重 真美子(千駄木訪問看護ステーション主任)	
令和4年1月31日	東京都糖尿病医療連携協議会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和4年2月2日	東京慈恵会医科大学教育センター認定看護管理者教育課程ファーストレベル教育運営委員会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和4年2月2日	地域リハビリテーション支援体制機能強化検討部会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和4年2月3日	東京都医師会タバコ対策委員会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和4年2月3日	東京マラソン医療救護委員会	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和4年2月4日	日本看護サミット2021	山元 恵子(会長)	Web開催
令和4年2月4日	東京都地域医療構想調整部会	渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和4年2月9日	東京都在宅介護・医療協働推進部会	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和4年2月10日	東京都保健医療計画推進協議会	渡邊 千香子(専務理事)	Web開催

日程	委員会・会議名	出席者	備考
令和4年2月14日	日本看護協会看護業務の効率化・生産性向上のための支援策検討委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和4年2月14日	聖路加国際大学教育センター認定看護師教育課程委員会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和4年2月15日	東京都日本病院会支部理事会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和4年2月17日	国立病院機構認定看護管理者教育課程教育運営委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和4年2月17日	東京都医師会医療介護等人材検討委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和4年2月18日	日本病院会ホスピタルショウ委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和4年2月18日	東京都国民健康保険団体連合会介護給付費等審査部会	倉重 真美子(千駄木訪問看護ステーション主任)	
令和4年2月21日	第12回日本在宅看護学会学術集会企画委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和4年2月21日	看護職賠償責任保険制度事故審査委員会	山元 恵子(会長)	
令和4年2月21日	東京都後期高齢者医療懇談会	佐川 きよみ(常務理事)	書面開催
令和4年2月22日	東京都日本病院会支部看護部会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和4年2月22日	東京都二次保健医療圏地域災害医療連携会議(北多摩北部圏域)	仙道 かほる(危機管理室長)	Web開催
令和4年2月24日	東京都医師会地域包括ケア委員会	渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和4年2月24日	東京マラソン医療救護委員会	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和4年2月24日-25日	日本看護協会理事会	山元 恵子(会長)	
令和4年2月25日	日本看護協会法人会員会	山元 恵子(会長)	
令和4年2月25日	東京都二次保健医療圏地域災害医療連携会議(区西南部圏域)	仙道 かほる(危機管理室長)	Web開催
令和4年2月28日	東京都国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会	倉重 真美子(千駄木訪問看護ステーション主任)	
令和4年3月1日	東京都地域医療対策協議会看護人材部会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和4年3月1日	東京都二次保健医療圏地域災害医療連携会議(区西部圏域)	仙道 かほる(危機管理室長)	Web開催
令和4年3月2日	東京都医療関係施設整備費補助対象事業者審査委員会	山元 恵子(会長)	書面開催
令和4年3月3日	東京都医師会タバコ対策委員会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和4年3月4日	聖路加国際大学教育センター認定看護師教育課程委員会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和4年3月4日	東京都准看護師試験委員会	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和4年3月6日	東京都多職種連携連絡会シンポジウム	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和4年3月8日	東京都二次保健医療圏地域災害医療連携会議(区東部圏域)	仙道 かほる(危機管理室長)	Web開催
令和4年3月10日	東京都二次保健医療圏地域災害医療連携会議(北多摩西部圏域)	仙道 かほる(危機管理室長)	Web開催
令和4年3月11日	国立病院機構村山医療センター治験審査委員会	山元 恵子(会長)	
令和4年3月14日	読売光と愛の事業団理事会	山元 恵子(会長)	
令和4年3月14日	日本看護協会認定看護管理者制度委員会	家崎 芳恵(事業部長)	Web開催
令和4年3月15日	東京都日本病院会支部理事会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和4年3月17日	東京都在宅療養推進会議	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和4年3月18日	東京都福祉保健財団定時評議員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和4年3月22日	東京都地域医療対策協議会勤務環境改善部会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和4年3月22日	東京都医療情報に関する理解促進委員会	大橋 純江(常務理事)	書面開催
令和4年3月22日	東京都二次保健医療圏地域災害医療連携会議(区南部圏域)	仙道 かほる(危機管理室長)	Web開催
令和4年3月23日	東京都アルコール健康障害対策推進委員会	渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和4年3月23日	東京都二次保健医療圏地域災害医療連携会議(区東北部圏域)	仙道 かほる(危機管理室長)	Web開催
令和4年3月24日	東京都社会福祉協議会評議員会	渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和4年3月24日	東京都災害時こころのケア体制連絡調整会議	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和4年3月25日	東京都医療関係施設整備費補助対象事業者審査委員会	山元 恵子(会長)	書面開催
令和4年3月25日	東京都リハビリテーション協議会	大橋 純江(常務理事)	Web開催
令和4年3月25日	東京都二次保健医療圏地域災害医療連携会議(北多摩南部圏域)	仙道 かほる(危機管理室長)	Web開催
令和4年3月28日	東京都立病院医療安全推進委員会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和4年3月29日	東京都医療審議会	山元 恵子(会長)	Web開催
令和4年3月29日	東京都国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会	倉重 真美子(千駄木訪問看護ステーション主任)	
令和4年3月30日	東京都薬剤師会地域包括ケアシステムにおける薬局・薬剤師の機能強化事業関係者連絡会	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催
令和4年3月31日	東京都医師会地域包括ケア委員会	渡邊 千香子(専務理事)	Web開催
令和4年3月31日	東京マラソン医療救護委員会	佐川 きよみ(常務理事)	Web開催

委員会名	委員	職位	氏名
保健師職能委員会	担当理事	専務理事 副会長	渡邊 千香子 本田 浩子
	担当理事 (委員長)	職能理事	神楽岡 澄
	委員		相良 裕美 西内 千代子 関根 麻里絵 寺山 奈見 藤原 紀子 樋口 宏太
	アドバイザー		中板 育美
助産師職能委員会	担当理事	常務理事 副会長	佐川 きよみ 松本 弘子
	担当理事 (委員長)	職能理事	小檜山 敦子
	委員		安藤 美香 櫻井 明美 梅本 かおり 山中 伸美 瀬戸 愛 近藤 由理香
看護師職能委員会 領域Ⅰ	担当理事	常務理事 副会長	大橋 純江 佐野 廣子
	担当理事 (委員長)	職能理事	中野 博美
	担当理事	准看理事	伊藤 ちえ
	委員		山本 洋子 五十嵐 裕子 町田 あかね 岩崎 康子 岩田 江利子 五十嵐 文子
看護師職能委員会 領域Ⅱ	担当理事	常務理事 副会長 職能理事	佐川 きよみ 佐野 廣子 中野 博美
	委員長		佐野 優美
	委員		細谷 恵子 志賀 逸子 佐藤 十美 岡本 貴久子
	委員		細谷 恵子 志賀 逸子 佐藤 十美 岡本 貴久子
教育委員会	担当理事	常務理事	大橋 純江
	委員長		小林 宏栄
	委員		小倉 嘉子 小島 昌人 猪又 知子 磯 知恵 阿部 典子 横田 由佳 鬼澤 かおる 栗原 良子

委員会名	委員	職位	氏名
教育委員会	委員		鈴木 淳子 中村 くに子 佐藤 澄子(6月~) 細川 香代子 (8月~11月)
	担当理事	常務理事	大橋 純江
	委員長		駒形 朋子
学術推進委員会	担当理事	常務理事	大橋 純江
	委員長		駒形 朋子
	委員		岡 美雪 高井 今日子 小澤 かおり 宮崎 隆 栗原 良子 鈴木 淳子 中村 くに子 佐藤 澄子(5月~)
医療安全委員会	担当理事	常務理事	大橋 純江
	委員長		藤原 喜美子
	委員		土師 菜緒子 李代 馨香 梶 良恵 石田 亜紀 大野 耕平 小林 友幸 細川 香代子 (8月~11月)
社会経済 福祉委員会	担当理事	常務理事	大橋 純江
	委員長		澁澤 盛子
	委員		阿部 珠美 古屋 節子 渡邊 啓子 堀 充美
看護制度委員会	担当理事	常務理事 准看理事	佐川 きよみ 伊藤 ちえ
	委員長		五十嵐 登美江
	委員		成田 朋子 影山 美子 瀬戸 系子 伊勢谷 佐代子
感染対策委員会	担当理事	専務理事	渡邊 千香子
	委員長		西川 美由紀
	委員		武田 悦恵 佐藤 香理奈 中野 聖子 眞柄 雄樹 佐々木 恭兵 長井 直人 堀井 久美 仙道 かほる 浅野 恵子 鴨田 玲子

委員会名	委員	職位	氏名
災害対策委員会	担当理事	専務理事	渡邊 千香子
	委員長		宮地 富士子
	委員		椿 貴年 黒澤 和子 内木 美恵 牧野 由紀子 北澤 隆二 二階堂 名奈 久下 みどり 仙道 かほる
広報委員会	担当理事	専務理事	渡邊 千香子
	委員長		大島 久美
	委員		大田 千恵 中山 裕子 関口 和子 三浦 由美子 伊藤 麻乃 伊藤 朱実 五十嵐 直子
地域包括ケア 委員会	担当理事	専務理事	渡邊 千香子
	委員長		井上 理恵
	委員		市橋 富子 塘地 正美 長谷部 美津代 鶴ヶ崎 かほる 藤野 恭子 小原 かおる 佐久間 あゆみ 木村 加代子 久野 めぐみ 大沼 扶久子 小林 映子 川合 美穂子 武良 浩子 藤井 由加里 大城 優子 相馬 泰子 佐藤 美加 笠松 由佳 浜本 奈美江 (~12月) 梶原 洋子 鈴木 千晴 下地 秀子 中野 博美 樋口 幸子 西浜 直江 藤島 智子 大竹 トモ子 伊東 恵美子

委員会名	委員	職位	氏名
地域包括ケア 委員会	委員		樋口 早智子 松浦 典子 山崎 あゆ子 平田 真由美 伊藤 由美子 北川 ひとみ 児玉 千恵美
	担当理事	常務理事	佐川 きよみ
	委員長		大久保 嘉子
子育て支援委員会	委員		今井 洋子 尾高 大輔 志村 明子 本間 佐衣子 谷本 美保子 吉野 広美 石川 統太 伊藤 桃佳 (~6月) 須賀 己代子 (7月~) 佐々木 祥子 永澤 佳代子
	担当	事務局長	黒川 亨
	委員長		今泉 厚子
推薦委員会	委員		中井 亜季子 奥山 薫 大林 恵子 廣田 登代子 小菅 亮子 黒川 麻衣子 橋本 光江 塩島 永子
	担当	事務局長	黒川 亨
	委員長		児玉 知実
選挙管理委員会	委員		畠山 優子 松本 早苗 田中 郁子 今井 恵子 石川 朝香 廣谷 ひろみ 西井 順子 小泉 亜理沙 山口 久聖子 藤原 美幸 土本 倫子
	担当	事務局長	黒川 亨
	委員長		児玉 知実

代議員 240名 (東部：27名 西部：62名 南部：42名 中部：48名 多摩北：23名 多摩南：38名)

地区	No.	職種	会員氏名
東部	1	保健師	大松 雅美
	2	助産師	山田 咲子
	3	看護師	大森 綾子
	4	看護師	山田 教代
	5	看護師	高橋 薫
	6	看護師	関谷 直美
	7	看護師	中野 ゆかり
	8	看護師	木村 加代子
	9	看護師	竹内 小百合
	10	看護師	藤井 佳代子
	11	看護師	木村 妙子
	12	看護師	藤森 雪美
	13	看護師	前田 日登美
	14	准看護師	田村 勝枝
	15	看護師	坂田 裕子
	16	看護師	内田 ミカ
	17	看護師	岡本 幸子
	18	看護師	武子 智織
	19	看護師	小林 紅仁子
	20	看護師	木村 芳子
	21	看護師	吹田 絹恵
	22	看護師	奥 みどり
	23	看護師	二階堂 寿子
	24	看護師	黒川 和美
	25	看護師	浪川 智子
	26	看護師	森川 香織
	27	看護師	樋浦 裕里
西部	1	保健師	高宮 志織
	2	助産師	勝木 信子
	3	助産師	佐藤 奈津子
	4	助産師	奥山 薫
	5	看護師	中田 幸代
	6	看護師	藤田 広美
	7	看護師	田中 由美子
	8	看護師	渡邊 珠子
	9	看護師	田中 比呂子
	10	看護師	渡邊 開
	11	看護師	大内 理恵
	12	看護師	伊藤 朱実
	13	看護師	高橋 甲江
	14	看護師	南 ちとせ
	15	看護師	野津 佐代子
	16	看護師	中村 みゆき
	17	看護師	金子 範子
	18	看護師	美島 紀子
	19	看護師	堂下 典子
	20	看護師	江崎 香奈子
	21	看護師	佐藤 千春
	22	看護師	佐久間 喜深

地区	No.	職種	会員氏名
西部	23	看護師	小川 和子
	24	看護師	松村 恵美子
	25	看護師	塚本 真美
	26	看護師	藤江 直子
	27	看護師	野村 生起子
	28	看護師	小林 宏美
	29	看護師	内間 文香
	30	看護師	宮本 舞
	31	看護師	小峰 陽子
	32	看護師	石井 マキ子
	33	看護師	坪 祐子
	34	看護師	佐藤 道子
	35	看護師	菊岡 史子
	36	看護師	東 百代
	37	看護師	堀本 文子
	38	看護師	小島 祐子
	39	看護師	山崎 美和
	40	看護師	吉崎 順子
	41	看護師	野島 陽子
	42	看護師	大垣 二郎
	43	看護師	鈴木 康子
	44	看護師	柳瀬 守利
	45	看護師	大亀 真由美
	46	看護師	大木 嘉子
	47	看護師	山後 衣里
	48	看護師	乾 美奈子
	49	看護師	宮本 美香
	50	看護師	牛山 香織
	51	看護師	矢嶋 良昌
	52	看護師	小野 美絵
53	看護師	浅木 貴子	
54	看護師	野尻 馨	
55	看護師	渡辺 美紀	
56	看護師	矢野 由紀	
57	看護師	高橋 梨枝子	
58	看護師	鈴木 利枝	
59	看護師	早川 寛子	
60	看護師	片上 しのぶ	
61	看護師	佐藤 志乃	
62	看護師	市瀬 たみ子	
南部	1	保健師	山本 紗央美
	2	助産師	久保 知実
	3	助産師	長尾 章加
	4	看護師	圓館 真由美
	5	看護師	芳澤 正子
	6	看護師	金澤 典子
	7	看護師	マケンジ さとみ
	8	看護師	岩本 実加
	9	看護師	佐藤 美加

地区	No.	職種	会員氏名	
南部	10	看護師	中村 裕子	
	11	看護師	佐條 美保子	
	12	看護師	大内 美智子	
	13	看護師	牧田 弘美	
	14	看護師	田中 博子	
	15	看護師	川上 由香子	
	16	看護師	井口 佳子	
	17	看護師	吉中 麻美子	
	18	看護師	中尾 正寿	
	19	看護師	岩下 麻衣子	
	20	看護師	山田 チマ	
	21	看護師	清川 里香	
	22	看護師	金子 まなぶ	
	23	看護師	福島 純子	
	24	看護師	天沼 紗織	
	25	看護師	中山 且子	
	26	看護師	藤井 和美	
	27	看護師	高島 絵理子	
	28	看護師	丹下 幸子	
	29	看護師	大城 みゆき	
	30	看護師	井口 麻衣子	
	31	看護師	清水 美津子	
	32	看護師	大泉 昌也	
	33	看護師	板垣 久美子	
	34	看護師	星野 弘子	
	35	看護師	牟田 由美子	
	36	看護師	藤原 美佐江	
	37	看護師	大竹 順子	
	38	看護師	佐藤 可理絵	
	39	看護師	音田 三奈子	
	40	看護師	地主 こず恵	
	41	看護師	定成 知恵	
	42	看護師	黒澤 真奈美	
	中部	1	看護師	吉永 貴世美
		2	看護師	望月 朋美
		3	看護師	小宮山 明美
		4	看護師	荒井 由美子
		5	看護師	間原 徹
		6	看護師	一色 裕美
		7	看護師	石田 亜紀
		8	看護師	武田 聡子
		9	看護師	柳沢 ちづる
		10	看護師	合澤 葉子
		11	看護師	出山 智美
		12	看護師	池田 貴代子
		13	看護師	中川 暢子
		14	看護師	佐久間 安代
		15	看護師	高橋 亜由美
16		看護師	石川 実穂	

地区	No.	職種	会員氏名	
中部	17	看護師	忍田 祐美子	
	18	看護師	本田 佳子	
	19	看護師	大矢 智美	
	20	看護師	毛利 美礼	
	21	看護師	中村 美和	
	22	看護師	宗形 晴美	
	23	看護師	小清水 ゆかり	
	24	看護師	澤田 美絵	
	25	看護師	関根 一美	
	26	看護師	高瀬 真由美	
	27	看護師	但木 祥子	
	28	看護師	上原 佳代子	
	29	看護師	山崎 やよい	
	30	看護師	山下 直美	
	31	看護師	森 綾乃	
	32	看護師	田宮 優子	
	33	助産師	鶴塚 麻紀子	
	34	看護師	橋川 明子	
	35	看護師	宮田 七重	
	36	看護師	阿部 めぐみ	
	37	看護師	鈴木 三千代	
	38	看護師	並木 佳世	
	39	看護師	千田 英理子	
	40	看護師	稲田 浩美	
	41	看護師	椋本 郁子	
	42	看護師	久保 麻子	
	43	助産師	西村 梨紗	
	44	看護師	金子 恵美	
	45	看護師	新家 瑞恵	
	46	看護師	伊藤 香奈江	
	47	看護師	天木 弘子	
	48	看護師	矢吹 典子	
	多摩北	1	保健師	深作 千恵
		2	助産師	福岡 麻子
		3	看護師	長島 愛子
		4	看護師	相田 房子
		5	看護師	工藤 節子
		6	看護師	伊藤 真弓
		7	看護師	佐々木 留美
		8	看護師	山下 小百合
		9	看護師	田吹 弘子
		10	看護師	大越 裕子
		11	看護師	篠田 愛子
		12	看護師	福田 富士美
		13	看護師	牧山 ルミ子
		14	看護師	関谷 優子
		15	看護師	関根 克典
		16	看護師	藤木 真由美
17		看護師	傳田 美佳	

地区	No.	職種	会員氏名	
多摩北	18	看護師	中所 絹代	
	19	看護師	齊藤 清子	
	20	看護師	熊谷 洋子	
	21	看護師	田代 正春	
	22	看護師	後藤 希	
	23	看護師	龍崎 弘美	
	多摩南	1	保健師	勝間 隆光
		2	助産師	神谷 桂
		3	看護師	高崎 由佳理
		4	看護師	串山 正枝
		5	看護師	土田 美枝子
6		看護師	下山 理恵	
7		看護師	渡部 雅代	
8		看護師	小宮 園子	
9		看護師	栗田 美紀	
10		看護師	松下 朋子	
11		看護師	知名 定治	
12	看護師	西山 郁子		
13	看護師	黒田 加陽子		
14	看護師	小澤 聡貴		
15	看護師	松永 知子		
16	看護師	野村 千春		
17	看護師	内海 玉恵		
18	看護師	古澤 恭子		
19	看護師	末永 裕代		
20	看護師	佐々木 亜希		
21	看護師	大力 和子		
22	看護師	高木 直子		
23	看護師	畔柳 なほ江		
24	看護師	藤吉 京子		
25	看護師	村上 一代		
26	看護師	川上 順二		
27	看護師	辻本 敦子		
28	看護師	藤井 美保		
29	看護師	塚本 かよ子		
30	看護師	小島 浩美		
31	看護師	小池 洋子		
32	看護師	福地 洋子		
33	看護師	秋吉 聖美		
34	看護師	近野 雅代		
35	看護師	小林 不二枝		
36	看護師	杉田 友春		
37	看護師	田島 政野		
38	看護師	寺井 由美		

予備代議員 25名

地区	No.	職種	会員氏名
東部	1	看護師	森 美佐子
	2	看護師	久野 めぐみ
	3	看護師	高 由美
	4	看護師	大森 昭子
西部	5	看護師	片桐 幹子
	6	看護師	伊藤 華名子
	7	看護師	芳賀 路恵
	8	看護師	嶋貫 久美子
	9	看護師	栗山 美樹
南部	10	看護師	青木 有紀子
	11	看護師	大橋 広美
中部	12	看護師	西山 美咲
	13	看護師	稲木 和佳奈
	14	看護師	渡辺 朋子
	15	看護師	川田 有美子
多摩北	16	看護師	中島 弘樹
	17	看護師	加藤 園江
	18	看護師	糟谷 貴子
	19	看護師	定常 裕子
	20	看護師	黒澤 美香
多摩南	21	看護師	小松 雅子
	22	看護師	渡邊 陽子
	23	看護師	釜田 幸
	24	看護師	高岡 京子
	25	看護師	稲吉 礼子

※公益社団法人日本看護協会の会員情報管理体制「ナースシップ」導入に伴い、当協会も外字の使用を廃止し第2水準までの漢字での表記とさせていただきます。そのため氏名等に外字等表示できない文字のある方につきましては「代替文字」で表示されておりますので、あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。  
代替文字例) 高→高 崎→崎 柳→柳

**看護職の資質向上に関する事業**

- 生涯学習の実施に関する事業
- 学会開催・看護研究に関する事業
- 図書室の運営
- その他看護職の資質向上に関する事業



- 実務実践研修 (教育・指導、マネジメント研修等)
- 医療安全管理者養成研修
- 看護研究学会・看護学生看護研究学会
- 図書関連のレファレンスサービス



新人から看護管理者まで幅広い看護職を対象に、看護職が実践する看護業務の質を向上させる

**看護業務の開発・改善及び情報提供に関する事業**

- 看護業務の開発・改善に関する事業
- 医療安全推進事業
- 看護管理者・教育責任者交流事業
- 各職能に関連する情報提供と交流事業
- 広報活動に関する事業



- 各種調査・研究
- 職能交流集会開催
- 准看護師交流、進学支援
- 会報「看護とうきょう」発行
- 協会活動の情報発信



看護に係る調査・研究を行う。また、職能交流集会等を通じ、看護制度に関する政策提言や最新の情報提供及び看護業務の開発や改善・普及啓発を図ることで、看護の質を向上させる

**看護職の人材確保と定着推進に関する事業**

- 就労促進と働きやすい職場環境改善支援に関する事業
- 普及啓発事業



- 無料職業紹介 (ナースバンク東京・立川)
- 届け出制度の周知及び登録推進
- 東京都看護職員地域確保支援事業
- 東京都看護職員定着促進支援事業
- プラチナナース就業継続支援事業
- 訪問看護師・実習指導者育成研修
- 一日看護体験学習の実施
- 東京都島しょ看護職員定着促進事業
- 看護フェスタ開催



都内の看護職員の確保及び定着に関する事業を実施するほか、看護の普及啓発を図る取り組みを実施する

**在宅ケアの推進と支援に関する事業**

- 地域包括ケアシステムの推進
- 訪問看護・居宅介護支援事業等



- 高齢者ケア施設看護管理者交流会
- 協会立訪問看護ステーションの安定的運営と機能強化



ケアを必要とする人々が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、訪問看護・居宅介護支援・介護福祉施設等と地域の自治体や関係機関との連携を図り、推進する

**地域住民の保健福祉に関する事業**

- 地域住民の健康支援に関する事業
- 災害時の看護支援活動に関する事業



- 次世代育成事業 (プレファミリー講座・すくすく広場・出前授業)
- 健康講座、まちの保健室開催
- 感染症予防に関する情報提供と普及啓発
- 災害支援ナース育成と支援活動
- 災害発生時支援活動
- 感染症等のパンデミック発生時の支援活動



地域住民の健康維持・増進の普及啓発を目的に活動する。また災害等発生時に被災地の住民及び医療施設等が必要とする支援内容を把握し、組織的な支援体制で災害時等の医療・看護支援を行う

**その他この法人の目的を達成するために必要な事業**

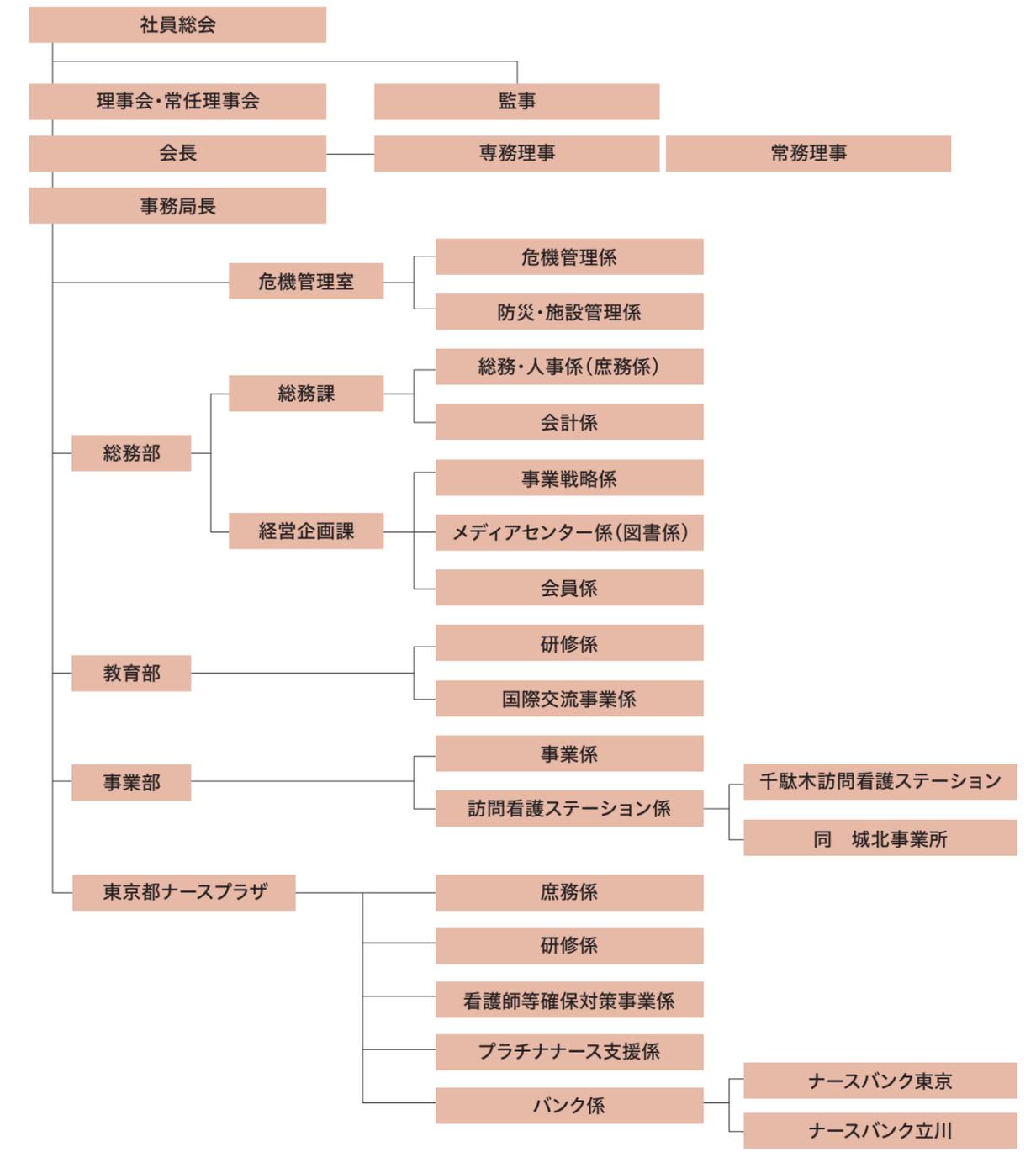
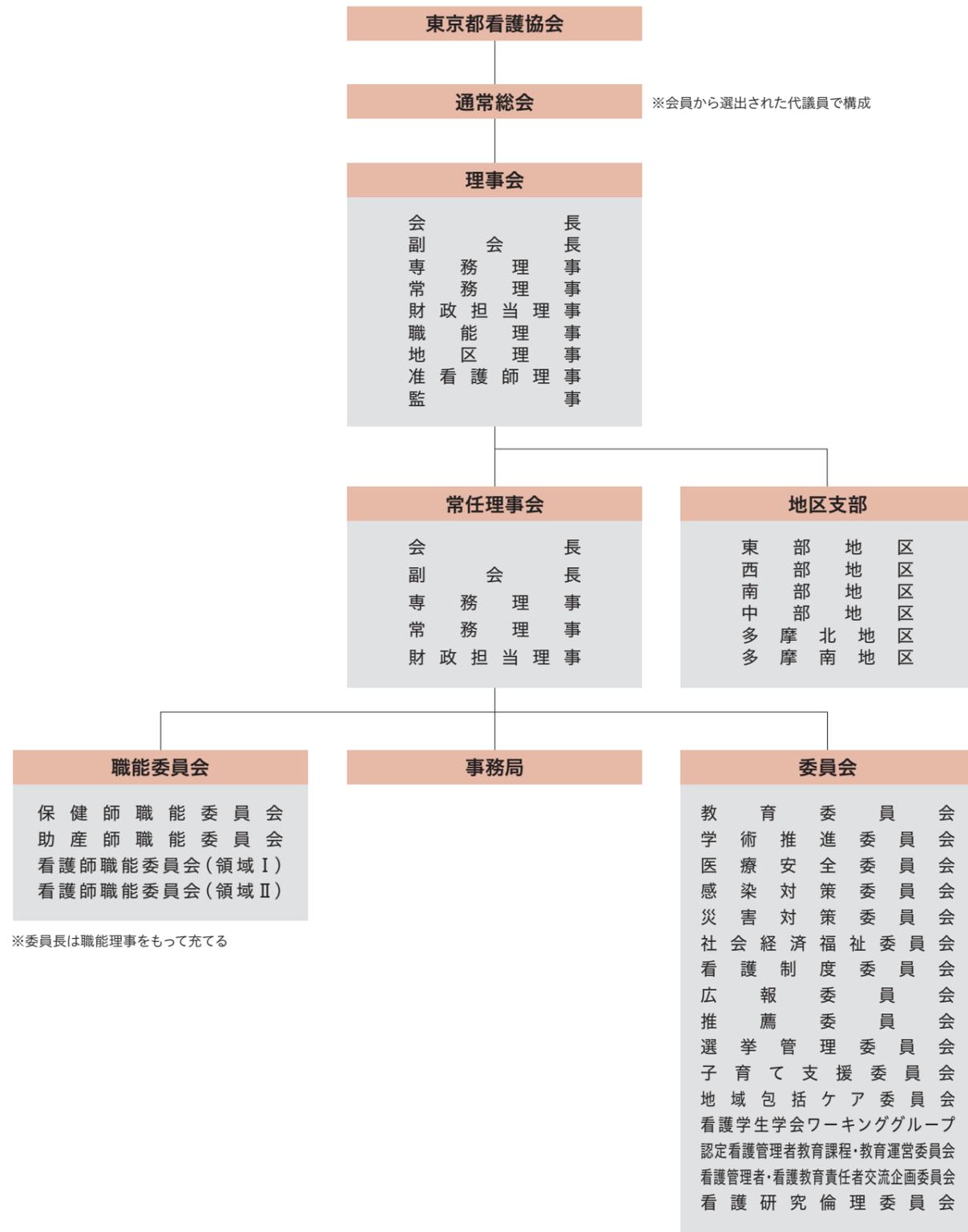
- 円滑な組織運営
- 関連機関との連携と政策提言に関する事業
- 施設の貸与事業



- 会員サービス
- 地区支部活動支援
- 公益社団法人日本看護協会等関連機関との連携と政策提言
- 施設の貸与事業



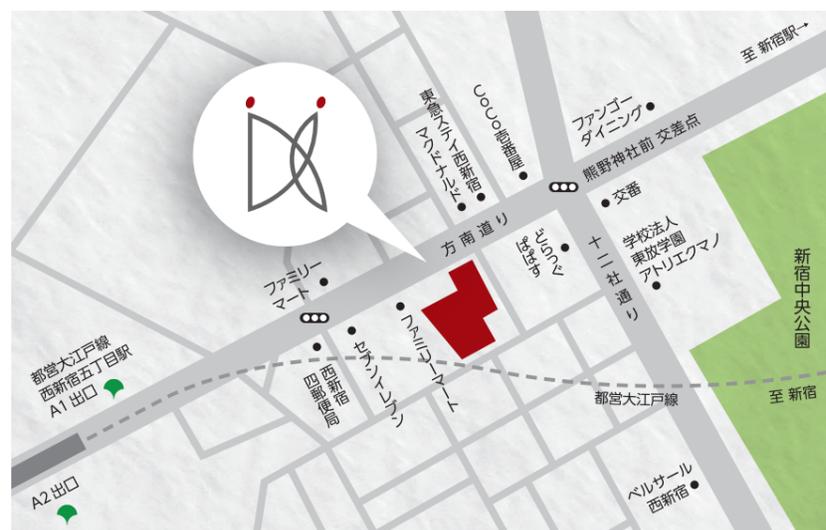
円滑な組織運営、組織強化を図るため、行政機関及び医療関係他団体の実施する活動に協力するとともに、当協会が実施する公益活動への協力を要請し、関連機関との情報交換や連携を図る



法人名	公益社団法人東京都看護協会	事業所	東京都看護協会立城北看護ステーション※
設立	1947年(昭和22年)		東京都練馬区北町八丁目37番22号 第5相原ビル202
所在地	東京都新宿区西新宿四丁目2番19号		
職員数	112名		※令和4年8月1日、千駄木訪問看護ステーションと 同城北事務所を統合して開設
決算日	3月31日		
通常総会	6月		
会計監査法人	有限責任あずさ監査法人		

## アクセス

都営大江戸線「西新宿五丁目駅」A1またはA2出口から徒歩約4分  
東京メトロ丸ノ内線「西新宿駅」2番出口から徒歩約10分



### 編集方針

東京都看護協会では、当協会の取り組みについて、会員をはじめとする幅広いステークホルダーの皆さまにご紹介し、対話の促進を図るため、令和2年度より新たな編集方針による「年次報告」を発行しております。

新型コロナウイルス感染症は未だ予断を許さない状況ですが感染拡大により生じたさまざまな課題への対応やまん延の収束にむけた取り組みを踏まえて、皆さまとともに新しい将来像を描けるよう、さまざまなご意見をいただければと考えております。

今後とも多くの皆さまの共感と賛同に支えられた事業展開を図ってまいりますので、引き続き、公益社団法人東京都看護協会へのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 令和3年度(2021年)公益社団法人東京都看護協会 年次報告

発行	令和4年9月
編集発行者	公益社団法人東京都看護協会 〒160-0023 東京都新宿区西新宿四丁目2番19号 電話 03(6300)0730(代表)
印刷	凸版印刷株式会社

本書の無断複写・転載を禁じます。